

小野町

小中学生アンケート調査（保護者・小学5年生・中学2年生向け）

若者アンケート調査（18～39 歳向け）

－調査結果報告書－

令和8年1月

小 野 町

目次

I	調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査内容	1
3	調査概要	2
4	調査結果の見方	2
II	調査結果（小中学生アンケート調査 保護者向け）	3
1	あなた自身のことや家族の状況について	3
(1)	こどもとの関係	3
(2)	お住まいの地域	4
(3)	家族の人数	4
(4)	こどもの人数	5
(5)	家族の続柄	5
(6)	親の婚姻状況	6
(7)	養育費の取り決め	7
(8)	住居の状況	7
2	保護者の方のことや考えについて	8
(1)	親の最終学歴	8
(2)	親の就労状況	9
(3)	働いていない理由	10
(4)	通っていた教育・保育施設等で最も期間が長いもの（0～2歳）	11
(5)	通っていた教育・保育施設等で最も期間が長いもの（3～5歳）	11
(6)	こどもとの関わり方	12
(7)	学校行事や地域活動への参加頻度	14
(8)	こどもの進学希望	15
(9)	こどもの進学希望の理由	16
(10)	頼れる人の有無	17
(11)	家庭で行っていること	20
(12)	こどもについて思っていること	22
(13)	子育てに関する心配事や悩み事	23
(14)	将来についてこどもと考えたり、話したりすることの有無	24
3	あなたの気持ちについて	25
(1)	この1か月間の気持ち	25
4	家計の状況について	27
(1)	暮らしの状況	27
(2)	世帯全体の可処分所得（手取り）総額	28
(3)	過去1年間に、お金が足りなくて食料が買えないことがあったか	29
(4)	過去1年間に、お金が足りなくて衣服が買えないことがあったか	29

(5) 過去1年間に経済的な理由で未払い経験がある料金	30
(6) 経済的理由で世帯にないもの	31
(7) 生活への満足度	32
5 支援制度の利用状況や必要な支援などについて	33
(1) 各種支援制度の利用状況	33
(2) 支援制度を利用していない理由	35
(3) 各支援制度の利用経験	37
(4) 必要・重要だと思う支援	39
(5) 日頃感じていること	41
Ⅲ 調査結果（小中学生アンケート調査 小学5年生・中学2年生向け）	44
1 あなた自身のことについて	44
(1) 性別	44
2 勉強や学校のことについて	45
(1) ふだんの勉強の状況	45
(2) 1日の勉強時間	46
(3) クラスでの成績	47
(4) 学校の授業の理解度	48
(5) 授業がわからなくなった時期	49
3 進学への考えについて	50
(1) 進学希望	50
(2) 進学希望の理由	51
(3) 将来の夢や目標、なりたい職業、やりたい仕事の有無	52
(4) 夢がない理由	52
4 部活動や地域クラブへの参加状況について	53
(1) 部活動や地域クラブへの参加状況	53
(2) 参加していない理由	53
5 ヤングケアラーについて	54
(1) 「ヤングケアラー」という言葉の認知度	54
(2) 「ヤングケアラー」への該当状況	54
(3) 「ヤングケアラー」の相談窓口の認知度	55
6 普段の生活やあなたの思いについて	56
(1) 食事の頻度	56
(2) 就寝時間	57
(3) 悩んでいることや心配なこと	58
(4) 相談できる人	59
(5) 生活への満足度	60
(6) 自身について	61
(7) 今の状況について	63
(8) 自身の実感について	65

(9) 持っているものや、自由に使うことができるもの	66
(10) 居場所の状況について	67
(11) 放課後の過ごし方	69
(12) 健康状態について	71
7 様々な支援の利用状況について	72
(1) 各種支援の利用経験・利用希望	72
(2) 各種支援利用後の変化について	74
8 こどもの権利について	75
(1) 「こどもの権利」の認知度	75
(2) 自身の「こどもの権利」は守られているか	75
9 こどもまんなか社会について	76
(1) こどもまんなか社会についてどのように思うか	76
(2) 居住地域の状況について	78
(3) ふだん感じていること	80
IV 調査結果（若者アンケート調査 18～39 歳向け）	81
1 あなた自身のことや家族の状況について	81
(1) 性別	81
(2) 年齢	81
(3) 同居している人	82
(4) 暮らし向きについて	83
(5) 最終学歴・在学している学校	83
(6) 現在の職業	84
(7) 就労に関して利用したい支援	85
2 あなたの日頃の意識と生活について	86
(1) 自己肯定感について	86
(2) 自身が幸せだと思うか	86
(3) 自身の生活の満足度	87
(4) 孤独感について	87
(5) 「社会のために役立つことをしたい」と思うか	88
(6) 自身の将来への希望の有無	88
(7) 自宅での時間の使い方	89
(8) 居場所について	90
(9) 困りごとを助けてくれる相手	91
(10) 他の人とのかわり	92
(11) 外出の頻度	93
(12) 外出状況が現在の状態となった理由	94
(13) 家族以外の人との会話の状況	95
(14) 社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験（困難経験）の有無	95
(15) 困難経験をした（経験している）原因	96

(16) 社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態の改善経験の有無.....	96
(17) 困難状態が改善したきっかけ	97
(18) 悩みや困りごとの内容	98
(19) 家族や知り合い以外に相談したいと思う相手や場所	99
(20) 相談したくないと思う理由	100
(21) 相談支援機関等の認知度	101
(22) 相談支援機関等の利用経験の有無	102
(23) 相談支援機関等の利用希望	102
3 ヤングケアラー・若者ケアラーについて	103
(1) ヤングケアラー・若者ケアラーの認知度	103
(2) 若者ケアラーへの該当状況	103
(3) ヤングケアラー・若者ケアラーの相談機関や窓口の認知度	104
4 結婚に対する考え方について	105
(1) 結婚の状況について	105
(2) 結婚に対する考え	105
(3) 結婚するつもりがない理由	106
(4) 結婚に対してのイメージ	107
(5) 結婚に繋がると思う出会いのシーン	107
5 子育てに対する考え方について	108
(1) 小野町での子育て希望	108
(2) 持ちたいこどもの人数について	109
(3) どのような環境が整えばもう1人以上のこどもを持ちたいと思うか.....	110
(4) こどもを持つことや子育てに前向きになれる要素や支援施策.....	111
6 住まいにについて	112
(1) 今後も小野町に住みたいと思うか	112
(2) 将来の居住地を決める際に重要視すること	112
7 小野町の施策やこどもまんなか社会について	113
(1) こどもまんなか社会に対しての意識等について	113
(2) 地域における若者の遊び・娯楽や体験活動の機会が十分と感じるか.....	113
(3) 地域において、女性の社会参画が進んでいると思うか	114
(4) 町や学校、地域の取り組みに対しての意思決定の参加希望	114
(5) 町の施策やまちづくりに反映されるため、あるとよい取り組み.....	115
(6) 小野町のこども・若者に対する施策についての意見・提案	116
V 資料編.....	119
(1) 小野町 小中学生アンケート調査（保護者向け）調査票	119
(2) 小野町 小中学生アンケート調査（こども向け）調査票	125
(3) 小野町 若者アンケート調査（18～39 歳の方向け）調査票.....	137

I 調査概要

1 調査の目的

すべての子ども・若者が生き生きと活躍し、幸せな生活を送れる社会をつくるため、取組の方向性や目標をまとめた「小野町子ども計画」を策定するに当たっての基礎資料収集のため以下の調査を実施した。

2 調査内容

国が示す標準的な調査項目を基本としつつ、小野町子ども計画の策定に当たって、新たな課題や施策へのニーズを把握するため、以下の内容についてアンケート調査を実施した。

小中学生 アンケート調査	小学5年生 中学2年生 (保護者)	1. あなた自身のことや家族の状況について 2. 保護者の方のことや考えについて 3. あなたの気持ちについて 4. 家計の状況について 5. 支援制度の利用状況や必要な支援などについて
	小学5年生 中学2年生 (子ども)	1. あなた自身のことについて 2. 勉強や学校のことについて 3. 進学への考えについて 4. 部活動や地域クラブへの参加状況について 5. ヤングケアラーについて 6. 普段の生活やあなたの思いについて 7. 様々な支援の利用状況について 8. こどもの権利について 9. こどもまんなか社会について
若者アンケート調査 (18～39歳)		1. あなた自身のことや家族の状況について 2. 日頃の意識と生活について 3. ヤングケアラー・若者ケアラーについて 4. 結婚に対する考え方について 5. 子育てに対する考え方について 6. 住まいについて 7. 小野町の施策やこどもまんなか社会について

3 調査概要

調査種別	対象者	調査方法	調査期間	配布数	有効回収数 (率)
小中学生アンケート調査	小学5年生保護者	学校配布 ・学校回収	令和7年9月24日～ 令和7年10月10日	54件	44件(81.5%)
	中学2年生保護者			76件	43件(56.6%)
	小学5年生			54件	43件(79.6%)
	中学2年生			76件	44件(57.9%)
若者アンケート調査	18～39歳	郵送配布・ 郵送回収		1,493件	299件(20.0%)

4 調査結果の見方

- ① グラフの「n (number of cases)」はアンケートの有効回収数を示している。
- ② 割合はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100.0%にならない場合もある。
- ③ 複数回答の場合、回答の合計割合が100.0%を超える場合がある。
- ④ 設問文・選択肢の文章を、意味が変わらない程度に簡略化している場合がある。
- ⑤ 調査結果において表記されている« »は、類似した複数の選択肢を合算した場合に使用している。

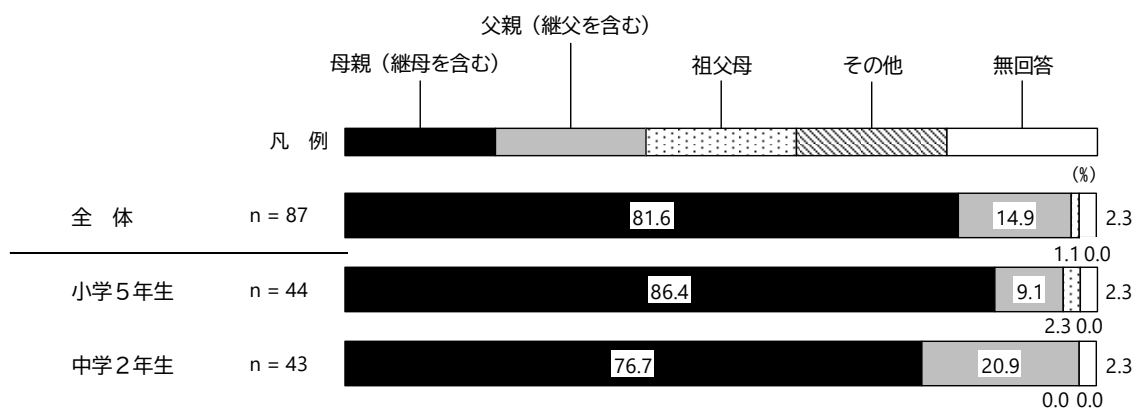
Ⅱ 調査結果（小中学生アンケート調査 保護者向け）

1 あなた自身のことや家族の状況について

（1）こどもとの関係

- ▶ こどもとの関係について、全体では「母親（継母を含む）」が 81.6%と 8 割以上を占めており、小学 5 年生、中学 2 年生ともに、概ね同様の傾向となっている。

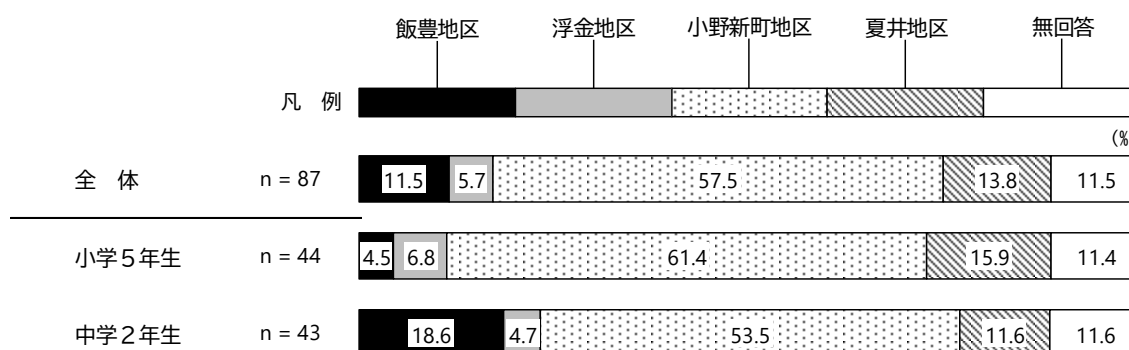
問1 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。（○は1つ）



（２）お住まいの地域

- ▶ お住まいの地域について、全体では「小野新町地区」が 57.5%と最も高く、次いで「夏井地区」（13.8%）、「飯豊地区」（11.5%）となっている。中学 2 年生では「飯豊地区」が 18.6%と小学 5 年生（4.5%）に比べ 14.1 ポイント高くなっている。

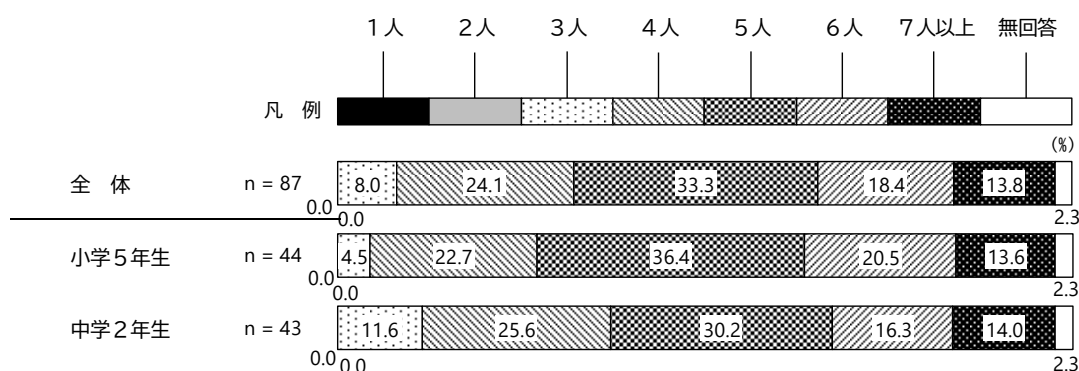
問２ どちらの地区にお住まいですか。（○は１つ）



（３）家族の人数

- ▶ 家族の人数について、全体では「５人」が 33.3%と最も高く、次いで「４人」（24.1%）、「６人」（18.4%）となっており、小学 5 年生、中学 2 年生ともに概ね同様の傾向となっている。

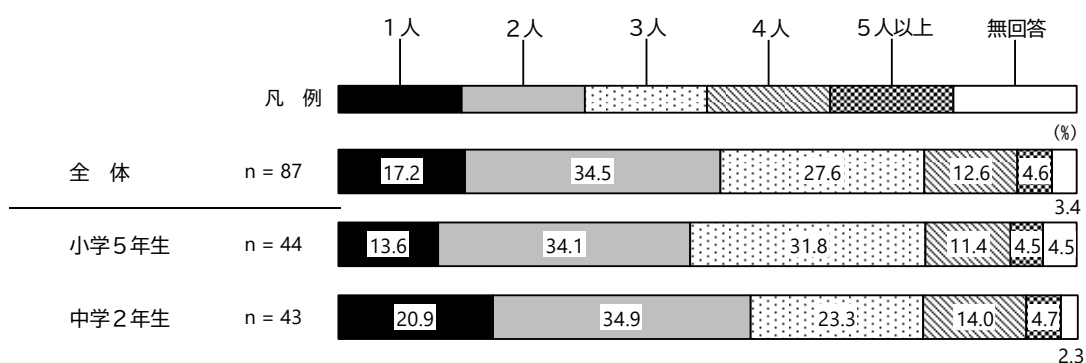
問３ お子さんと生計を同一にしているご家族の人数（お子さんを含む）をお答えください。
※生計が同一であれば、同居していない方（例：単身赴任中の方、学業等で世帯を離れているお子さんなど）も人数に含めてください（数字でご入力ください）



（４）こどもの人数

- ▶ こどもの人数について、全体では「２人」が 34.5%と最も高く、次いで「３人」（27.6%）、「１人」（17.2%）となっており、小学５年生では「３人」が 31.8%と、中学２年生（23.3%）に比べ 8.5 ポイント高くなっている。

問４ 問３で回答した「ご家族」のうち、こども（令和７年４月１日現在、０歳から１７歳以下の方）の人数をお答えください。※生計が同一であれば、同居していない方（例：学業等で世帯を離れているお子さんなど）も人数に含めてください（数字でご記入ください）

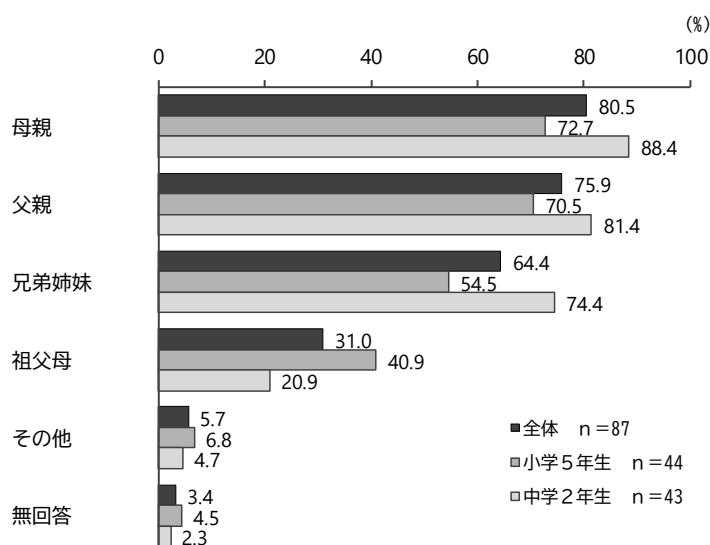


（５）家族の続柄

- ▶ 家族の続柄について、全体では「母親」が 80.5%と最も高く、次いで「父親」（75.9%）、「兄弟姉妹」（64.4%）となっており、小学５年生では「母親」が 72.7%と中学２年生（88.4%）に比べ 15.7 ポイント低くなっている。

問５ 問３で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。

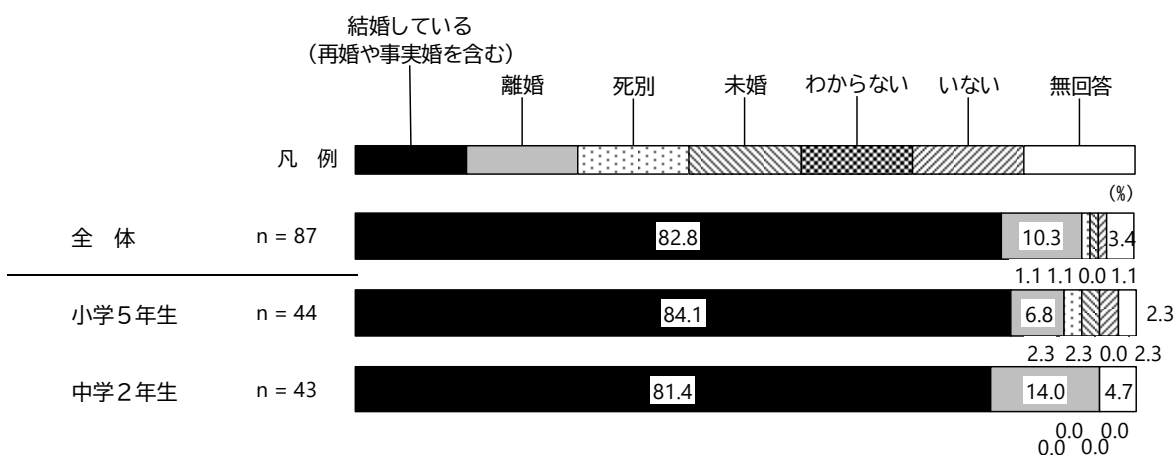
（○はいくつでも）



（６）親の婚姻状況

- ▶ 親の婚姻状態について、全体では「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が82.8%と最も高く、次いで「離婚」（10.3%）、「死別」、「未婚」、「いない」（いずれも1.1%）となっており、中学2年生では「離婚」が14.0%と小学5年生に比べ7.2ポイント高くなっている。

問6 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況をお答えください。（○は1つ）

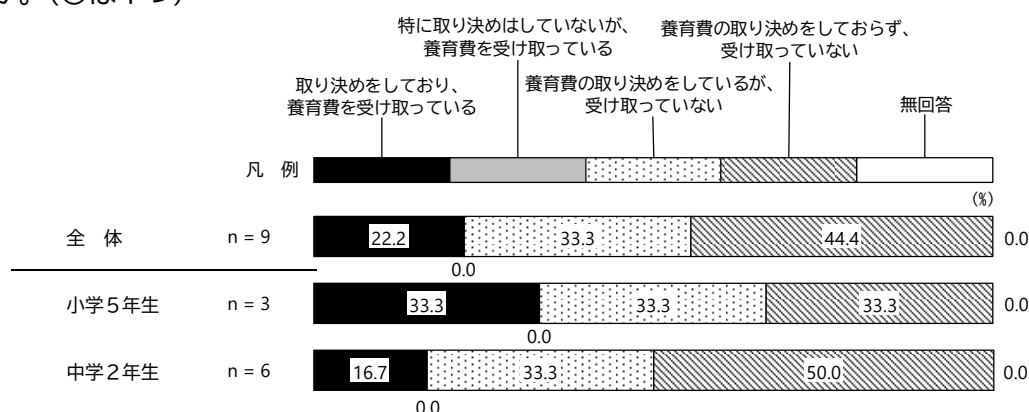


（７）養育費の取り決め

- ▶ 養育費の取り決めについて、全体では「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が 44.4%と最も高く、次いで「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」（33.3%）、「取り決めをしてあり、養育費を受け取っている」（22.2%）となっており、中学 2 年生では概ね同様の傾向となっている。小学 5 年生では「取り決めをしており、養育費を受け取っている」、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」がいずれも 33.3%となっています。

【問 6 で「2 離婚」を選んだ方のみお答えください。】

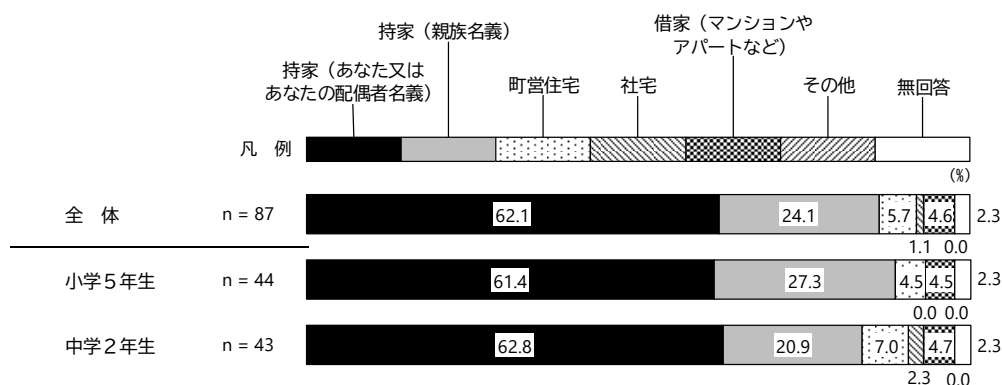
問 7 離婚相手とこどもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。（○は 1 つ）



（８）住居の状況

- ▶ 住居の状況について、全体では「持家（あなた又はあなたの配偶者名義）」が 62.1%と最も高く、次いで「持家（親族名義）」（24.1%）、「町営住宅」（5.7%）となっており、小学 5 年生、中学 2 年生ともに概ね同様の傾向となっている。

問 8 現在の住居の状況についてお答えください。（○は 1 つ）



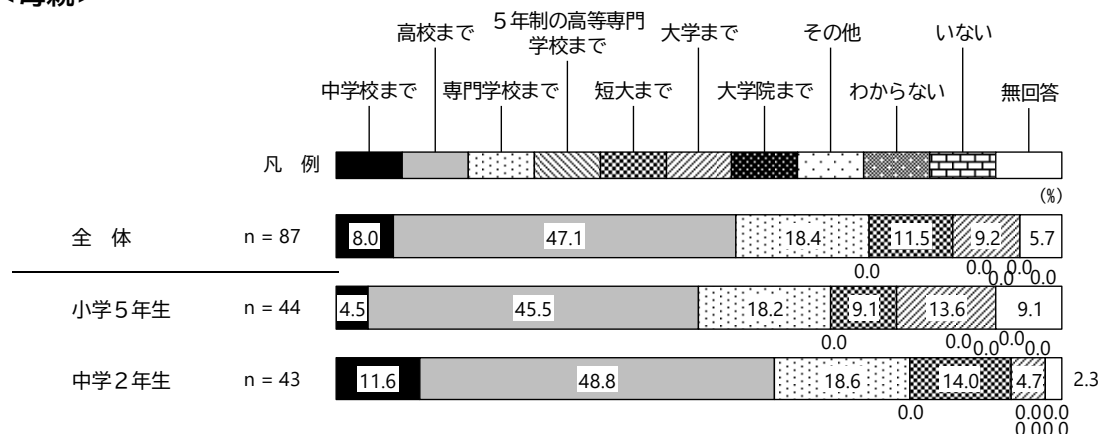
2 保護者の方のことや考えについて

（１）親の最終学歴

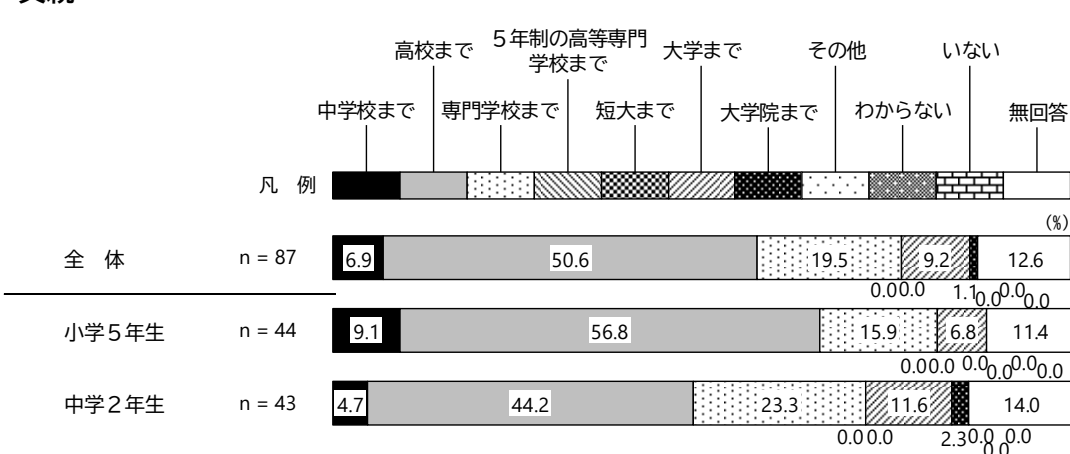
- ▶ 母親の最終学歴について、全体では「高校まで」が47.1%と最も高く、次いで「専門学校まで」（18.4%）、「短大まで」（11.5%）となっており、中学2年生では概ね同様の傾向となっている。小学5年生では「高校まで」が45.5%と最も高く、次いで「専門学校まで」（18.2%）、「大学まで」（13.6%）となっている。
- ▶ 父親の最終学歴について、全体では「高校まで」が50.6%と最も高く、次いで「専門学校まで」（19.5%）、「大学まで」（9.2%）となっており、中学2年生では概ね同様の傾向となっている。小学5年生では「高校まで」が56.8%と最も高く、次いで「専門学校まで」（15.9%）、「中学校まで」（9.1%）となっている。

問8 保護者の方の最終学歴（卒業した学校）をお答えください。（それぞれ1つに○）

<母親>



<父親>



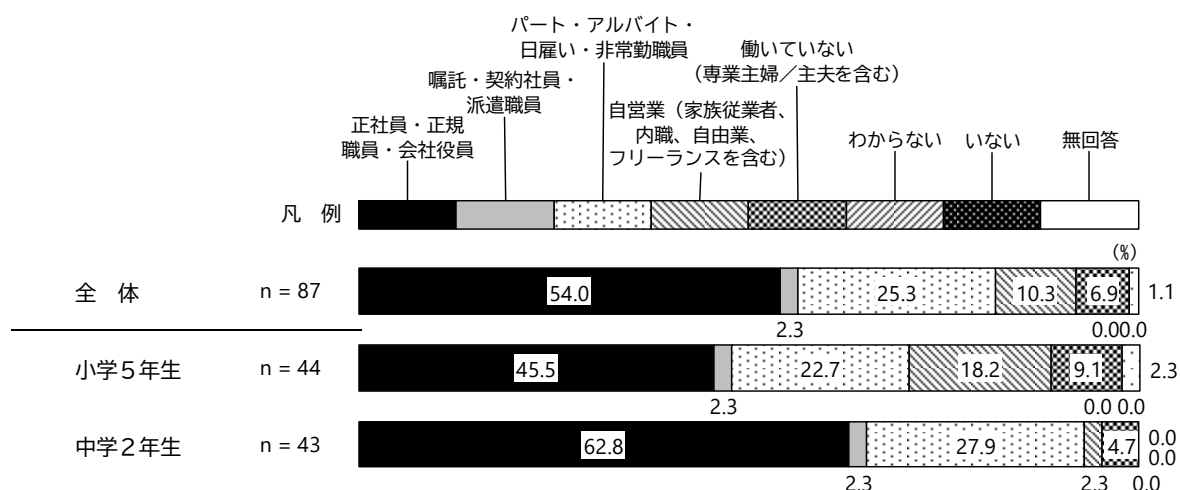
（２）親の就労状況

- ▶ 母親の就労状況について、全体では「正社員・正規職員・会社役員」が 54.0%と最も高く、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」（25.3%）、「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む）」（10.3%）となっており、小学 5 年生では「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む）」が 18.2%と中学 2 年生（2.3%）に比べて 15.9 ポイント高くなっている。
- ▶ 父親の就労状況について、全体では「正社員・正規職員・会社役員」が 69.0%と約 7 割を占めており、中学 2 年生では、「正社員・正規職員・会社役員」が 72.1%と小学 5 年生（65.9%）に比べ 6.2 ポイント高くなっている。

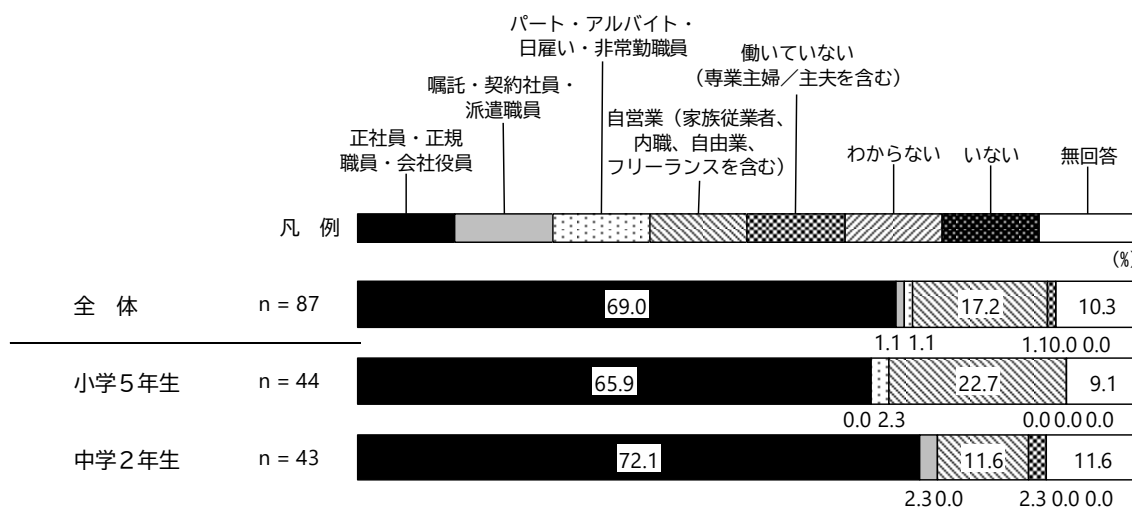
問 10 保護者の方の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

（それぞれ○は1つ）

<母親>



<父親>



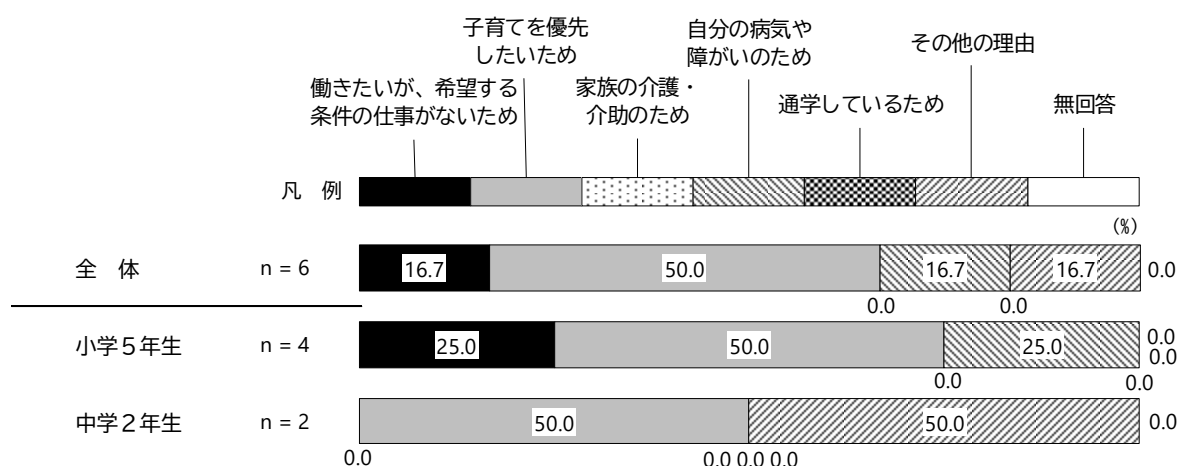
（３）働いていない理由

- ▶ 母親の働いていない理由について、全体では「子育てを優先したいため」が 50.0%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」、「自分の病気や障害のため」、「その他の理由」がいずれも 33.3%となっている。小学 5 年生では「子育てを優先したいため」が 50.0%と最も高く、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」、「その他の理由」がともに 25.0%となっている。一方、中学 2 年生では「子育てを優先したいため」、「自分の病気や障がいのため」がともに半数を占めている。
- ▶ 父親の働いていない理由について、中学 2 年生で「その他の理由」となっている。

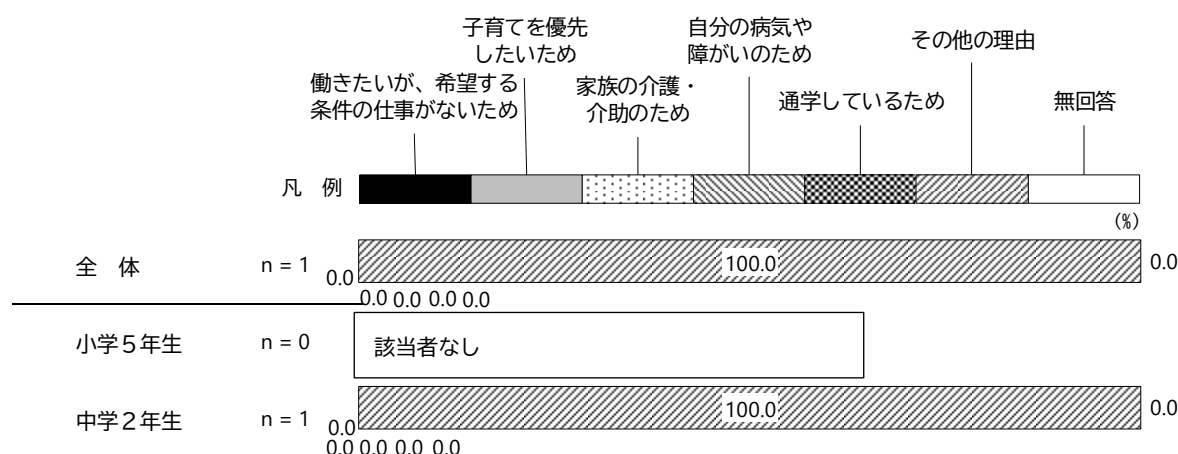
【問 10 で「⑤ 働いていない（専業主婦／主夫を含む）」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 11 働いていない最も主な理由をお答えください。（それぞれ○は 1 つ）

<母親>



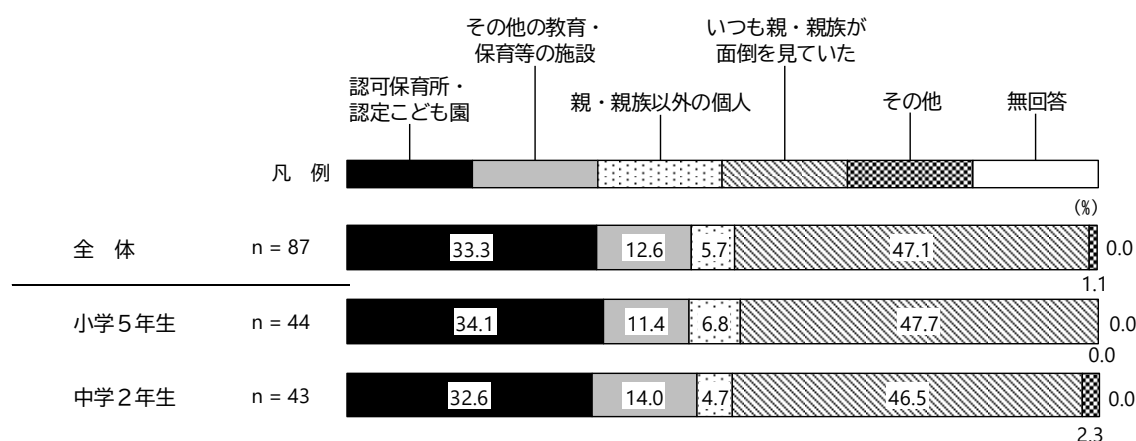
<父親>



（４）通っていた教育・保育施設等で最も期間が長いもの（０～２歳）

- ▶ 通っていた教育・保育施設等で最も期間が長いもの（０～２歳）について、全体では「いつも親・親族が面倒を見ていた」が 47.1%と最も高く、次いで「認可保育所・認定こども園」（33.3%）、「その他の教育・保育等の施設」（12.6%）となっており、小学５年生、中学２年生ともに概ね同様の傾向となっている。

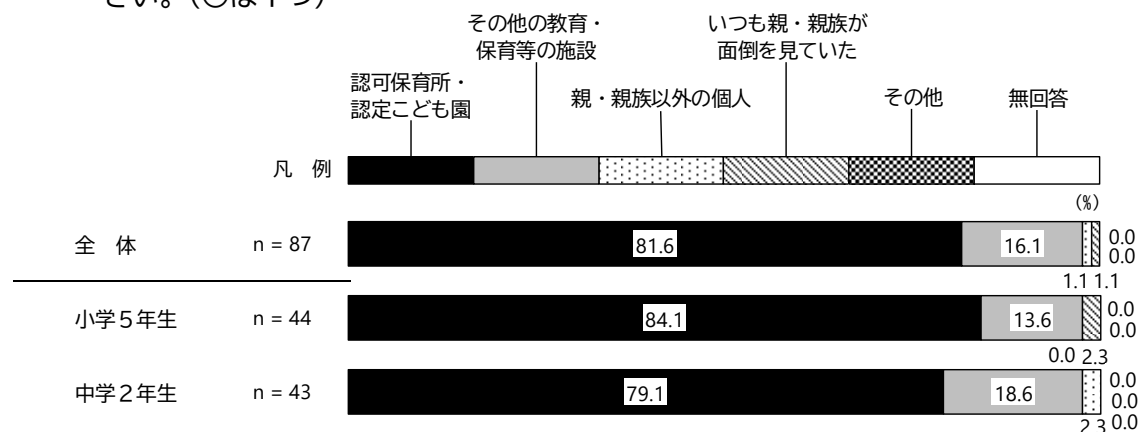
問 12 お子さんが０～２歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も期間が長いものをお答えください。（○は１つ）



（５）通っていた教育・保育施設等で最も期間が長いもの（３～５歳）

- ▶ 通っていた教育・保育施設等で最も期間が長いもの（３～５歳）について、全体では「認可保育所・認定こども園」が 81.6%と最も高く、次いで「その他の教育・保育等の施設」（16.1%）、「親・親族以外の個人」、「いつも親・親族が面倒を見ていた」（ともに 1.1%）となっている。「認可保育所・認定こども園」、「その他の教育・保育等の施設」に次いで、小学５年生では「いつも親・親族が面倒を見ていた」（2.3%）、中学２年生では「親・親族以外の個人」（2.3%）となっている。

問 13 お子さんが３～５歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も期間が長いものをお答えください。（○は１つ）

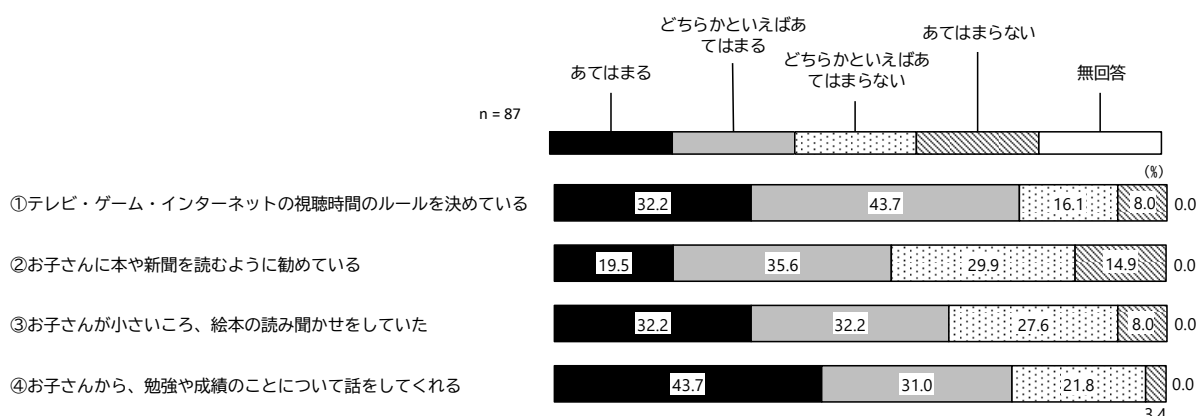


（６）こどもとの関わり方

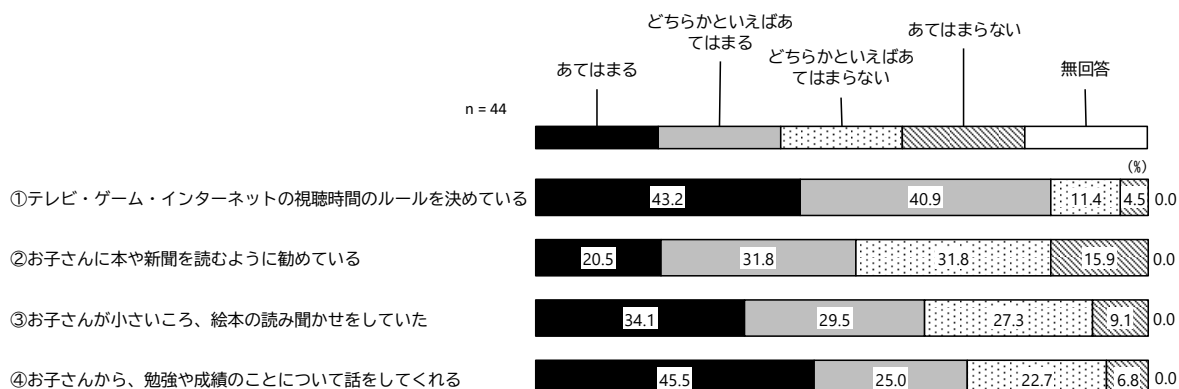
▶こどもとの関わり方について、全体ではすべての項目で「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた《あてはまる》が５割を上回っており、特に『①テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている』、『④お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる』では７割以上と高くなっている。小学５年生、中学２年生ともに概ね同様の傾向だが、『①テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている』では、小学５年生の《あてはまる》が８４.１%と、中学２年生（６７.４%）に比べて１６.７ポイント高くなっている。

問 14 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。
（それぞれ○は１つ）

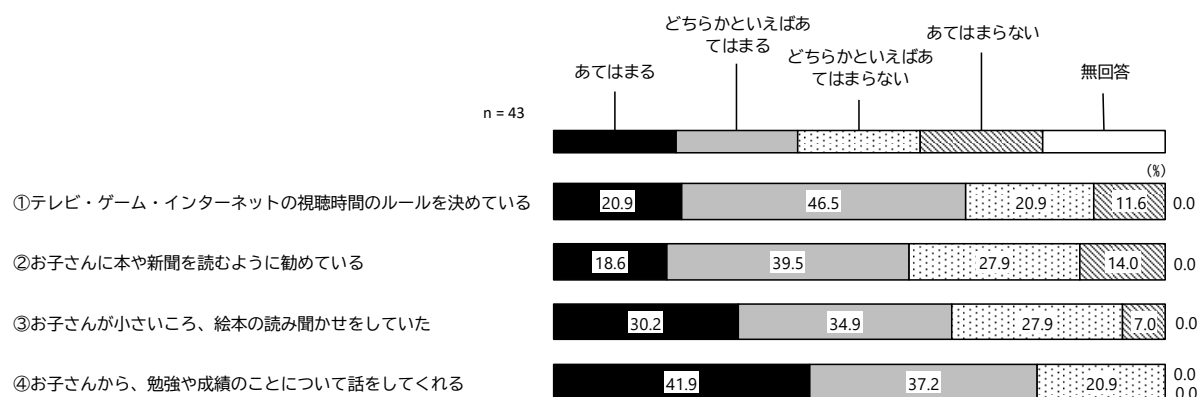
全体



小学５年生



中学2年生



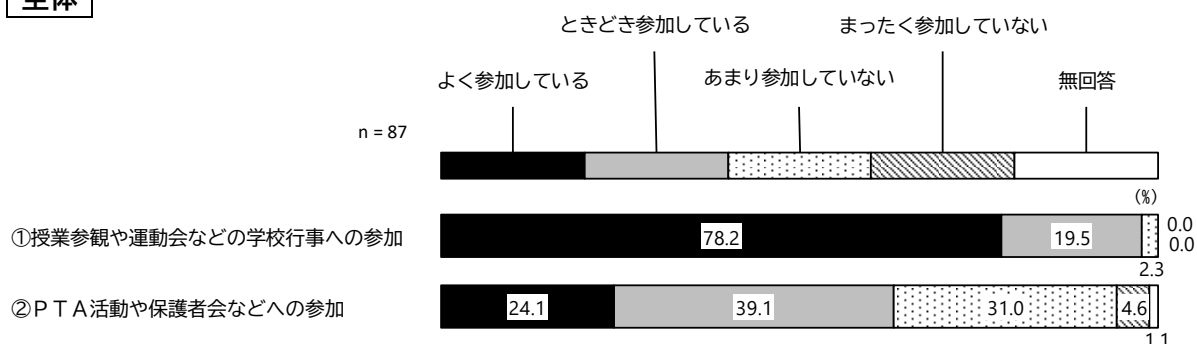
（７）学校行事や地域活動への参加頻度

- ▶ 学校行事や地域活動への参加頻度について、全体では『①授業参観や運動会などの学校行事への参加』で「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた《参加している》が9割以上と高くなっている。小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向だが、『②PTA活動や保護者会などへの参加』では、中学2年生の《参加している》が69.7%と、小学5年生（56.8%）に比べて12.9ポイント高くなっている。

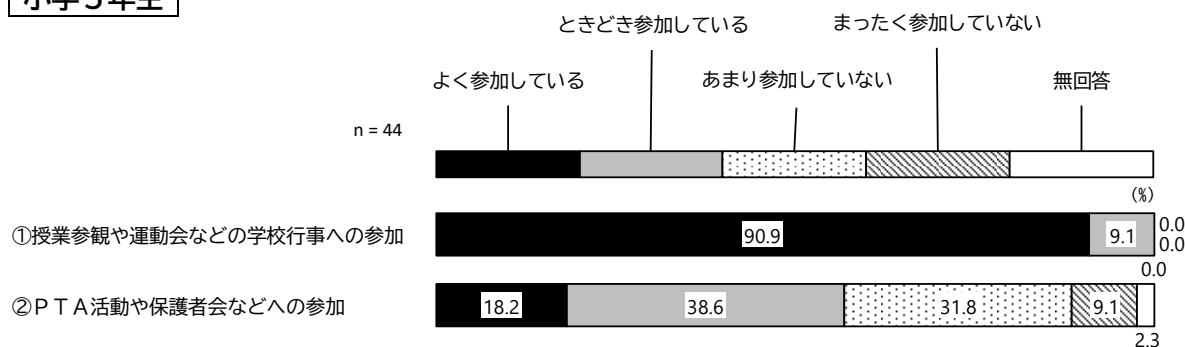
問 15 あなたは、次のような学校行事や地域活動にどの程度参加していますか。

（それぞれ○は1つ）

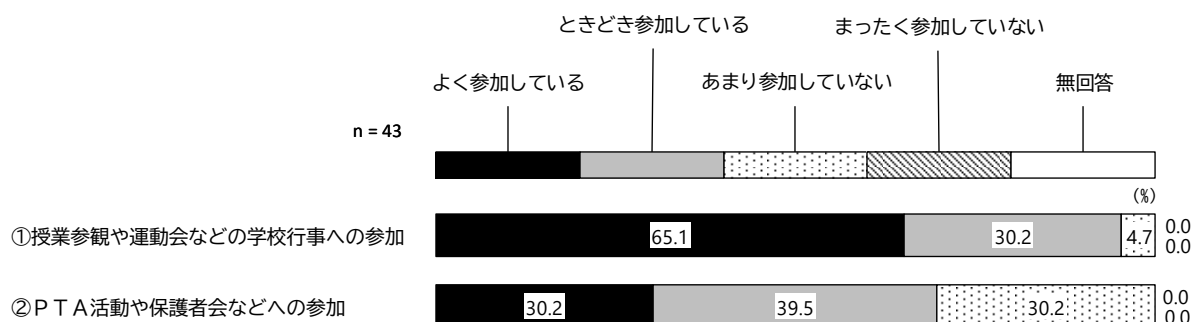
全体



小学5年生



中学2年生

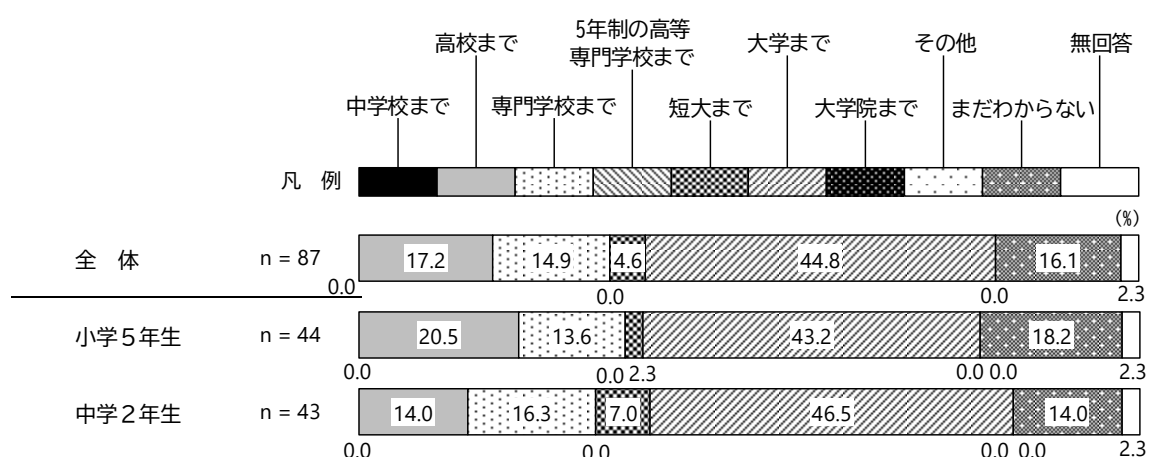


（８）こどもの進学希望

- ▶ こどもの進学希望について、全体では「大学まで」が44.8%と最も高く、次いで「高校まで」（17.2%）、「まだわからない」（16.1%）となっており、小学5年生では概ね同様の傾向となっている。中学2年生では「大学まで」が46.5%と最も高く、次いで「専門学校まで」（16.3%）、「高校まで」、「まだわからない」（ともに14.0%）となっている。

問 16 現実的にみて、お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。

（○は1つ）

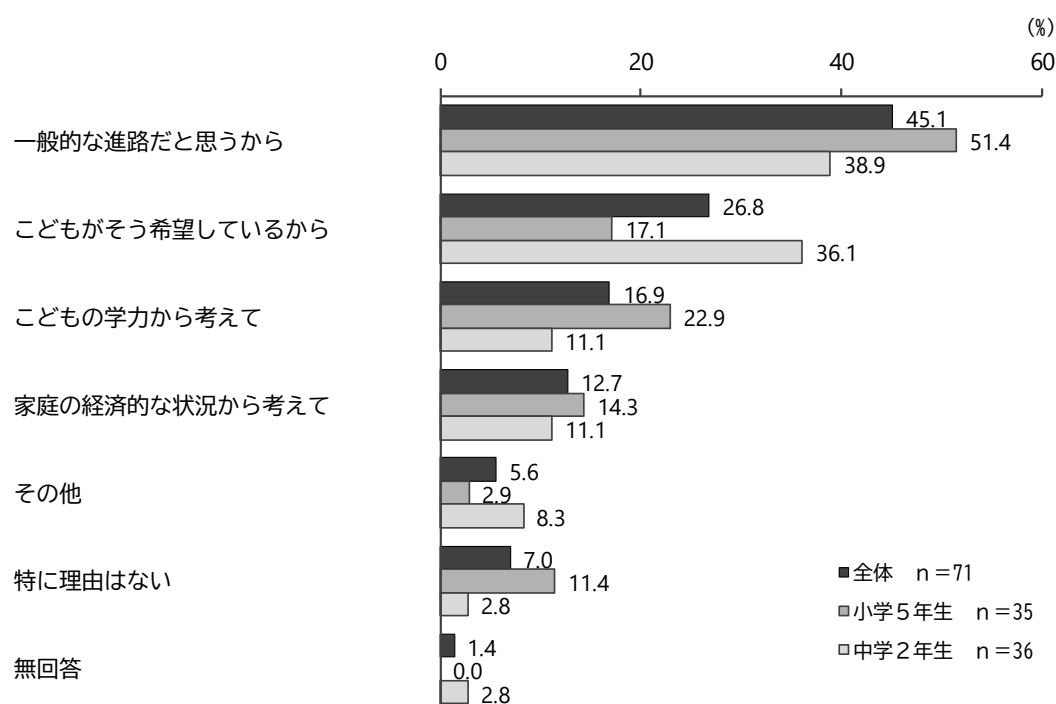


（９）こどもの進学希望の理由

- ▶ こどもの進学希望の理由について、全体では「一般的な進路だから」が 45.1%と最も高く、次いで「こどもがそう希望しているから」（26.8%）、「こどもの学力から考えて」（16.8%）となっており、中学２年生では概ね同様の傾向となっている。小学５年生では「一般的な進路だから」が 51.4%と最も高く、次いで「こどもの学力から考えて」（22.9%）、「こどもがそう希望しているから」（17.1%）となっている。

【問 16 で「１」～「８」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 17 問 16 の理由は何ですか。（○はいくつでも）

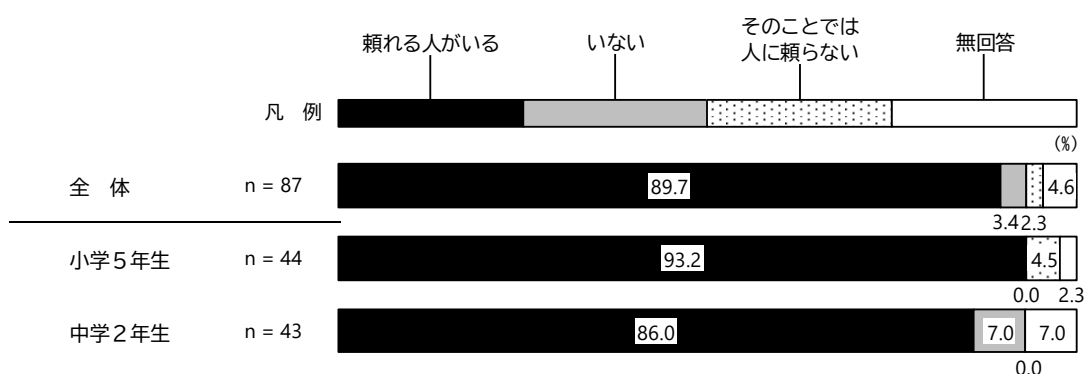


（10）頼れる人の有無

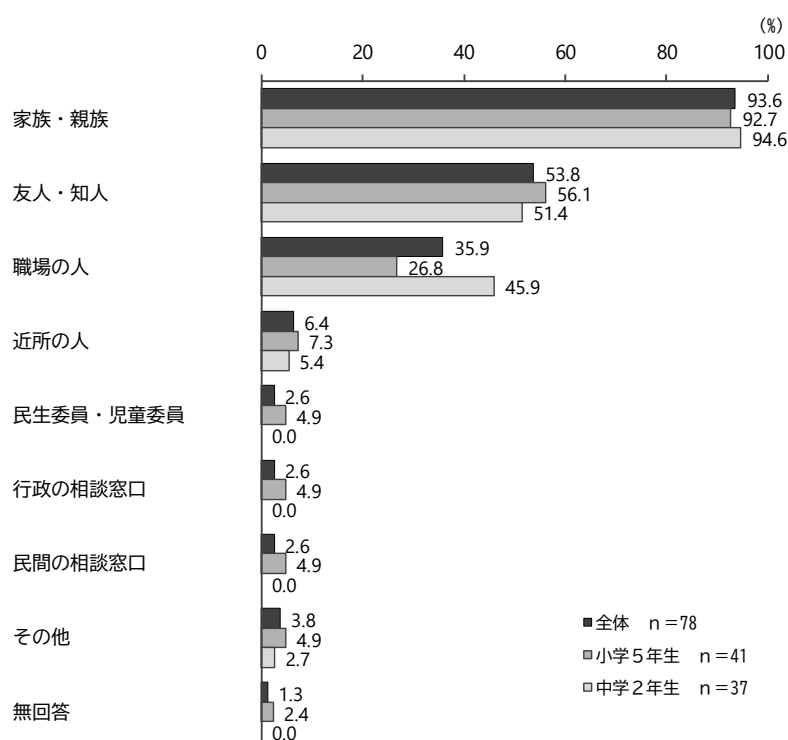
- ▶ 頼れる人の有無について、全体ではすべての項目で「頼れる人がいる」が最も高いが、＜C いざという時のお金の援助＞では約 7 割と、項目 A・B（約 9 割）に比べて低くなっており、小学 5 年生保護者・中学 2 年生保護者ともに概ね同様の傾向となっている。
- ▶ また、頼れる人についてはすべての項目で「家族・親族」が最も高く、次いで「友人・知人」となっている。＜A 子育てに関する相談＞では「友人・知人」が 53.8%と高い一方で、＜C いざという時のお金の援助＞では 5.0%と低く、相談内容による頼れる人の違いがみられる。

問 18 あなたには次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。（A～C それぞれについて、1～3のあてはまるもの 1 つに○） また、頼れる人がいる場合、それは誰ですか。（ア～クへ○はいくつでも）

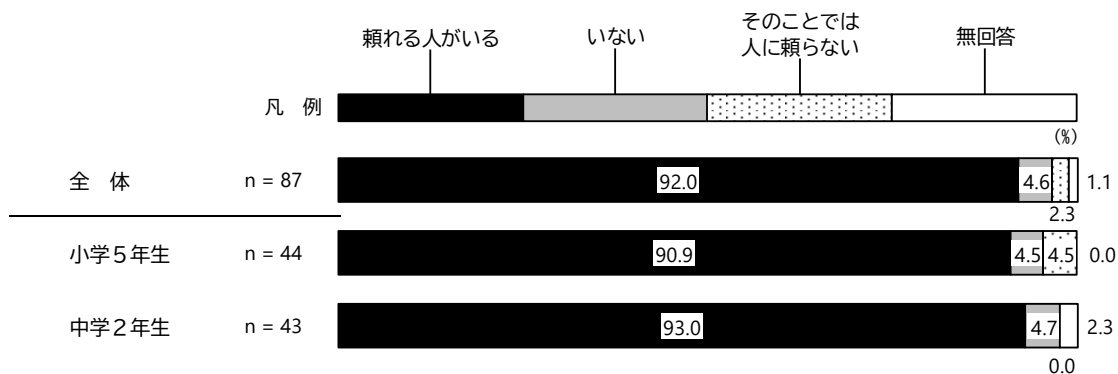
＜A 子育てに関する相談＞



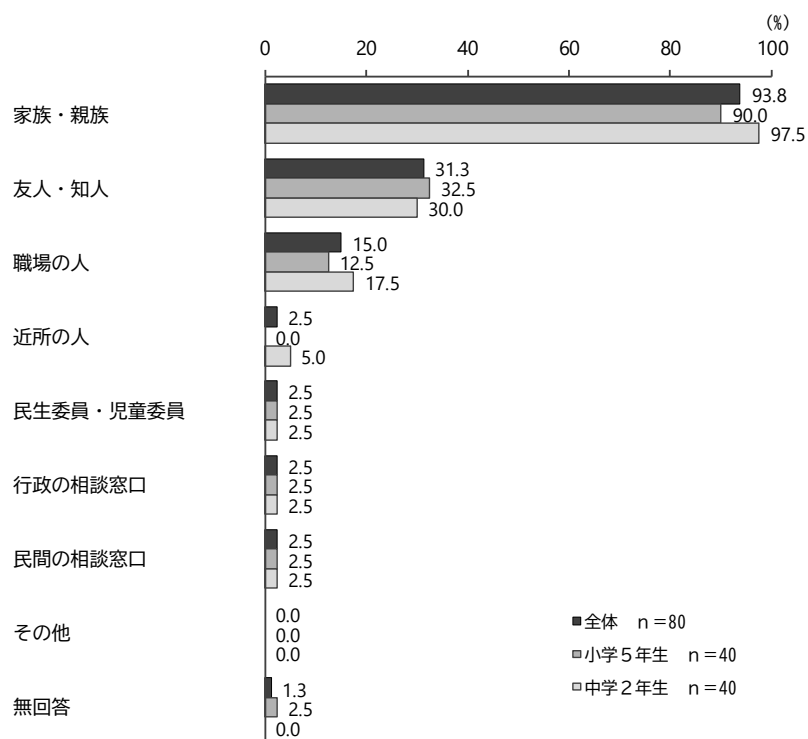
＜A 頼れる人＞



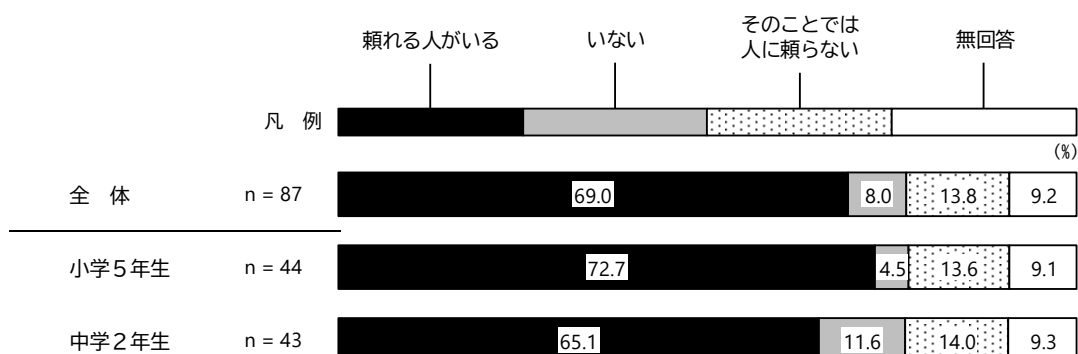
<B 重要な事柄の相談>



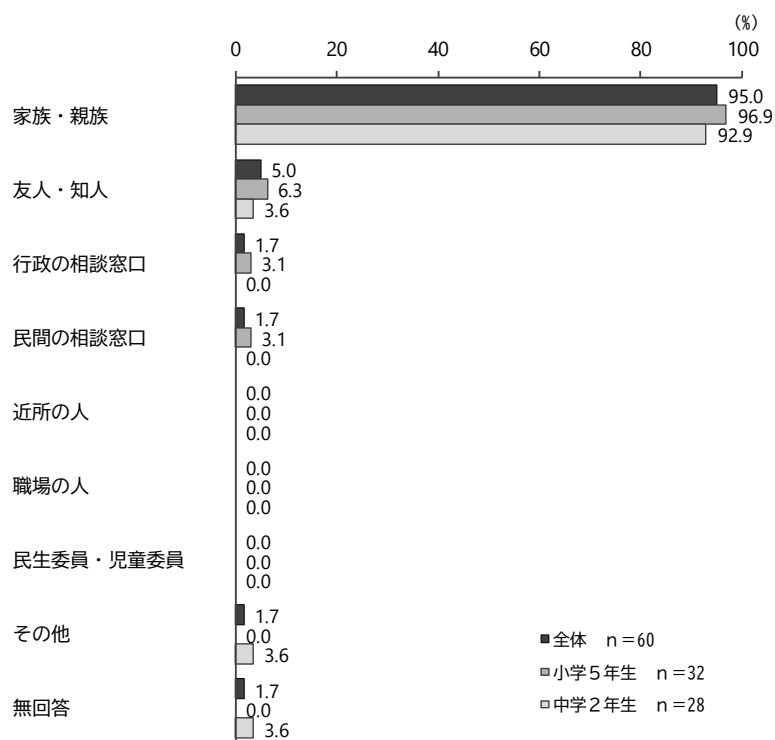
<B 頼れる人>



<C いざという時のお金の援助>



<C 頼れる人>

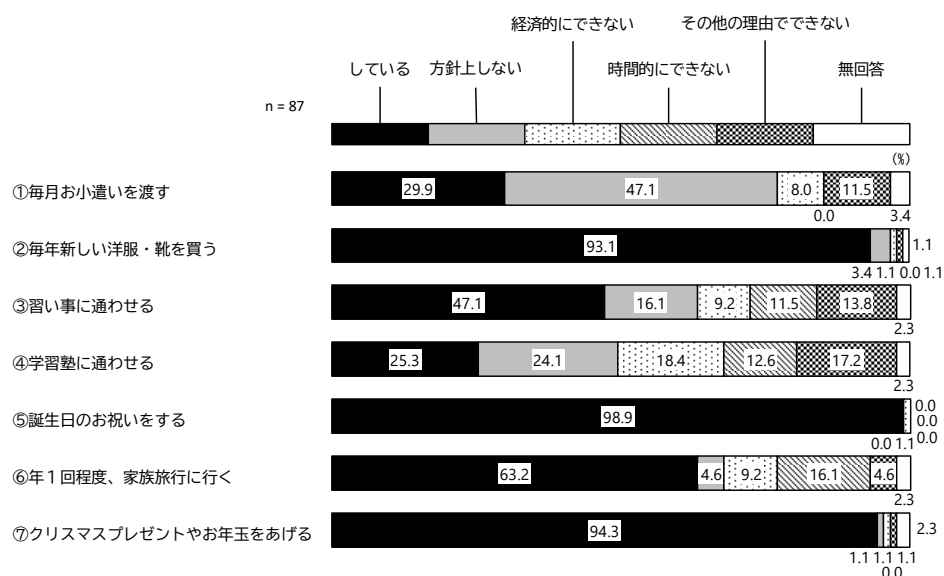


(11) 家庭で行っていること

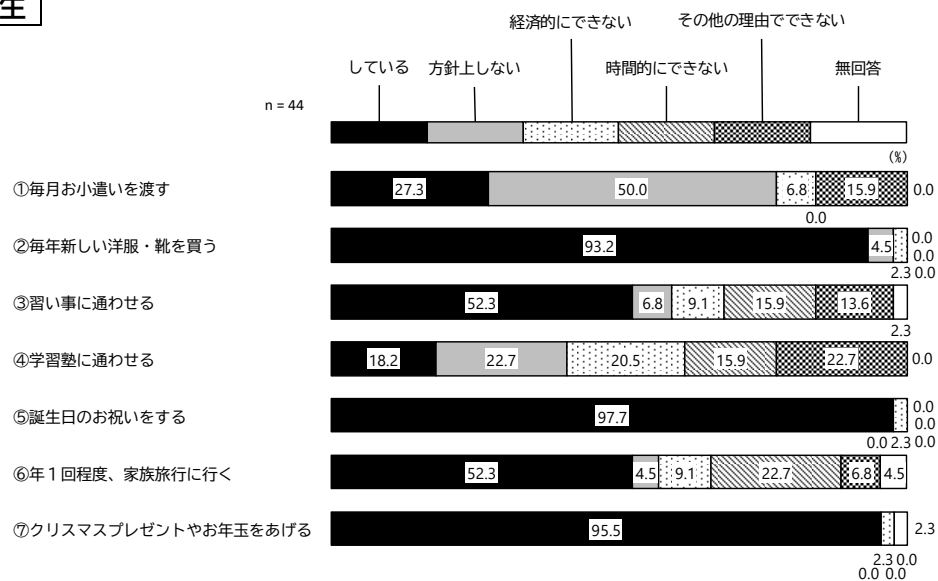
- ▶ 家庭で行っていることについて、全体では概ねの項目で「している」が最も高く、特に『②毎年新しい洋服・靴を買う』、『⑤誕生日のお祝いをする』、『⑦クリスマスプレゼントやお年玉をあげる』では9割を超えている。中学2年生では、『④学習塾に通わせる』で「している」が32.6%、『⑥年1回程度、家族旅行に行く』が74.4%と小学5年生（④18.2%、⑥52.3%）に比べて大幅に高くなっている。

問 19 あなたのご家庭ではお子さんに次のようなことをしていますか。（それぞれ○は1つ）

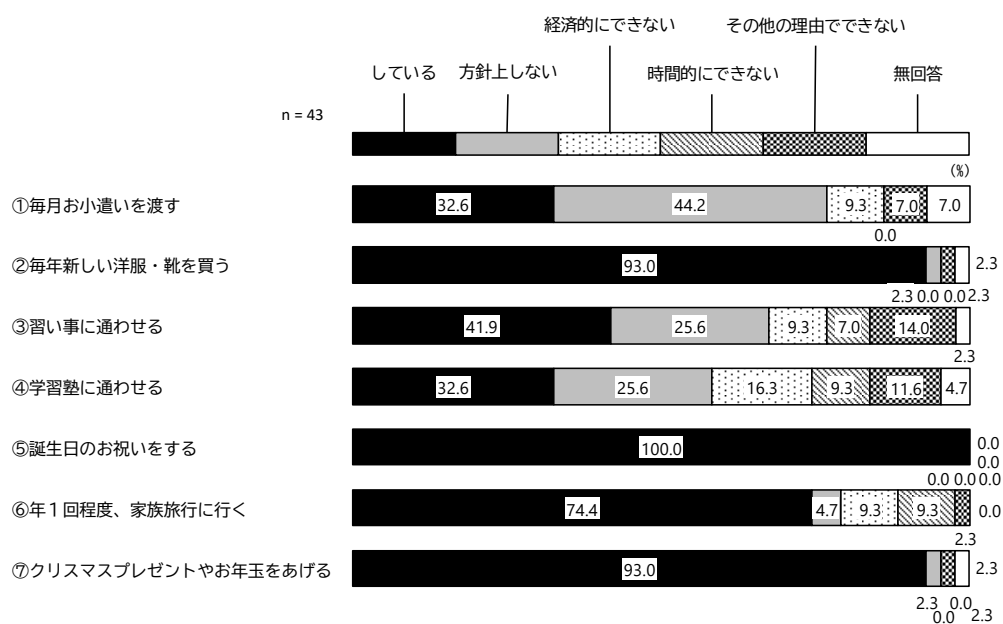
全体



小学5年生



中学2年生

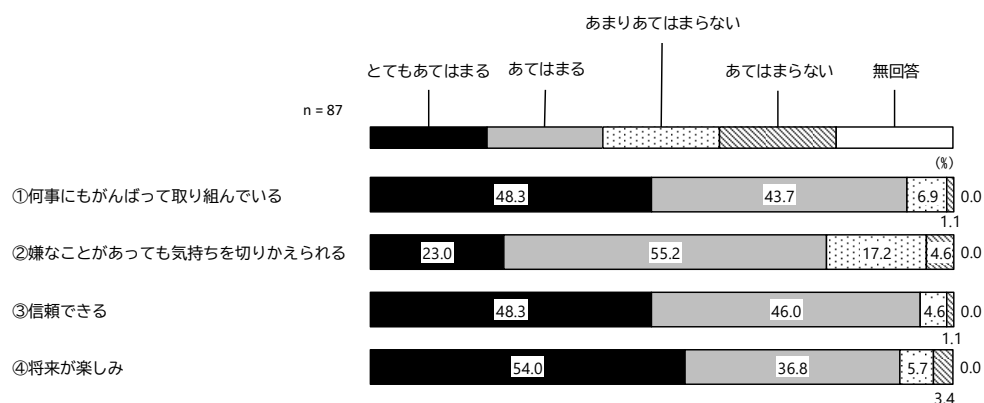


（12）子どもについて思っていること

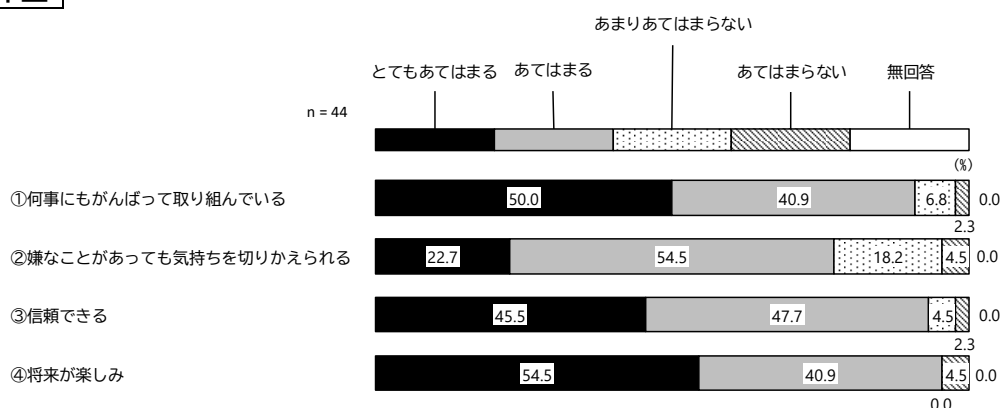
- ▶ 子どもについて思っていることは、全体ではすべての項目で「とてもあてはまる」と「あてはまる」を合わせた《あてはまる》が7割以上となっており、特に『①何事にもがんばって取り組んでいる』、『③信頼できる』、『④将来が楽しみ』では9割を超えている。小学5年生では概ね同様の傾向となっており、中学2年生では『④将来が楽しみ』で《あてはまる》が86.1%小学5年生（95.4%）に比べ9.3ポイント低くなっている。

問 20 あなたはお子さんについてどのように思っていますか。（それぞれ○は1つ）

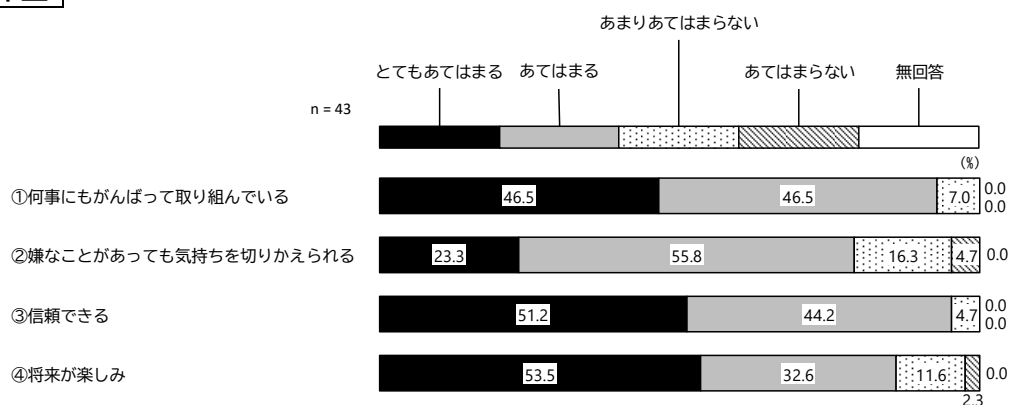
全体



小学5年生



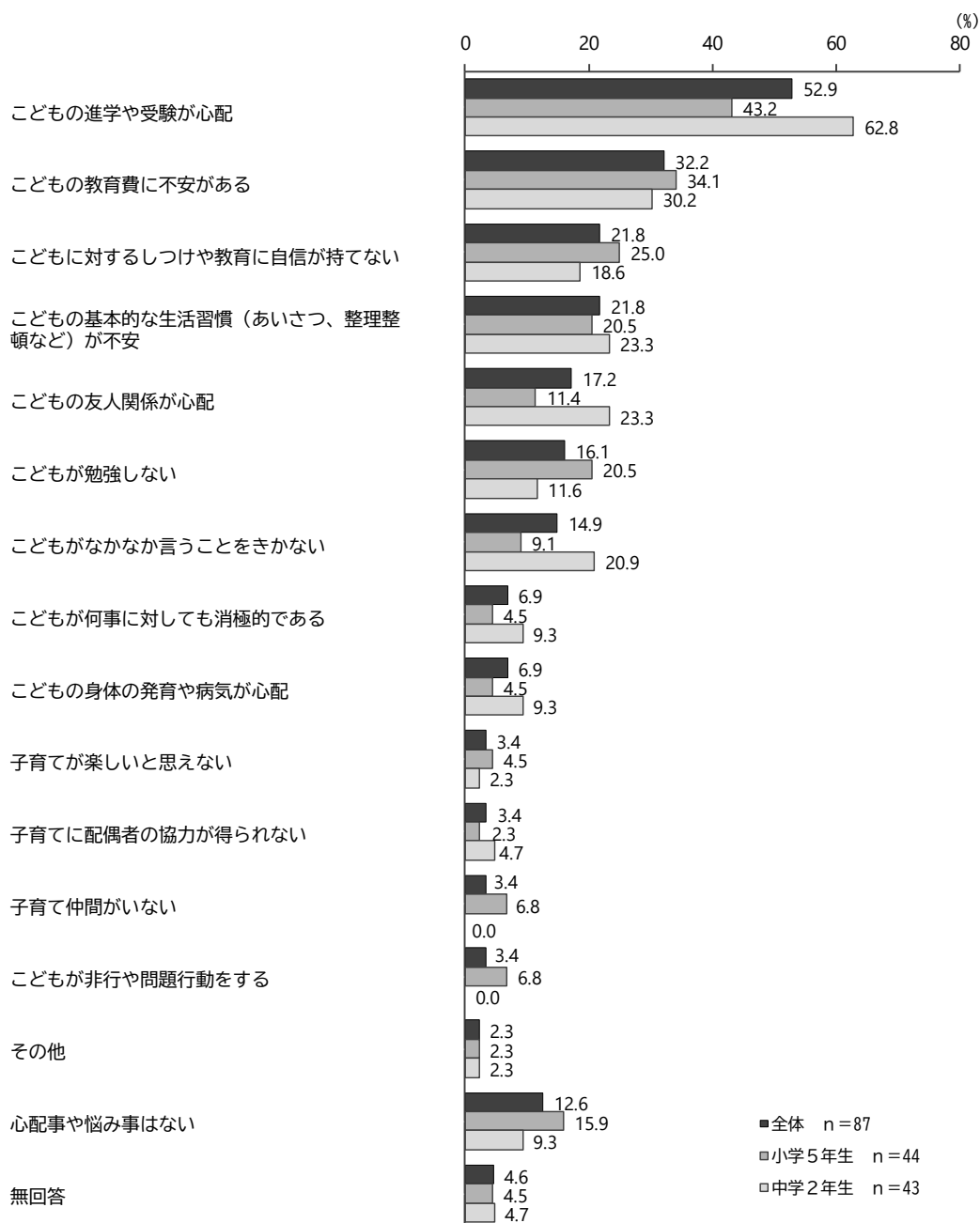
中学2年生



（13）子育てに関する心配事や悩み事

- ▶ 子育てに関する心配事や悩み事について、全体では「こどもの進学や受験が心配」が52.9%と最も高く、次いで「こどもの教育費に不安がある」（32.2%）、「こどもに対するしつけや教育に自信が持てない」（21.8%）となっている。中学2年生では「こどもの進学や受験が心配」が62.8%と、小学5年生（43.2%）に比べて19.6ポイント高くなっている。

問 21 あなたは、子育てに関して次のような心配事や悩み事がありますか。（○はいくつでも）

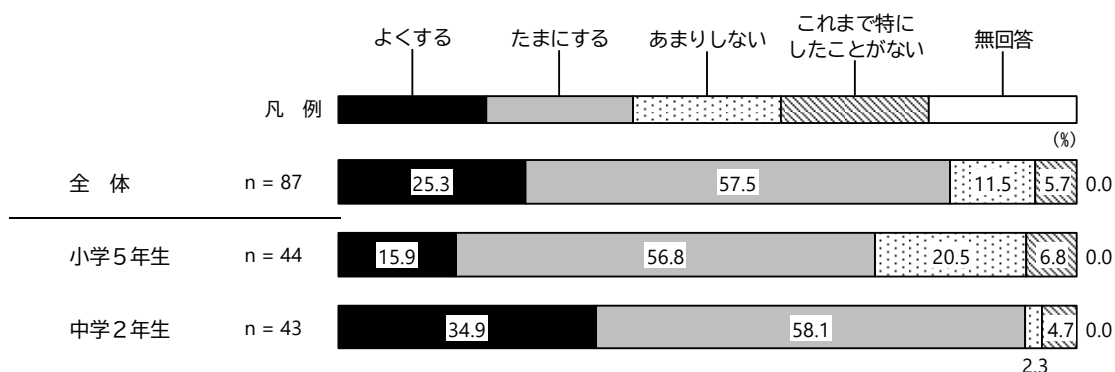


（14）将来について子どもと考えたり、話したりすることの有無

- ▶ 将来について子どもと考えたり、話したりすることの有無について、全体では「たまにする」が57.5%と最も高く、「よくする」と「たまにする」を合わせた《する》は8割以上を占めている。中学2年生では《する》が93.0%と小学5年生（72.7%）に比べ20.3ポイント高くなっている。

問 22 お子さんの将来について、お子さんと一緒に考えたり、話したりすることがありますか。

（○は1つ）



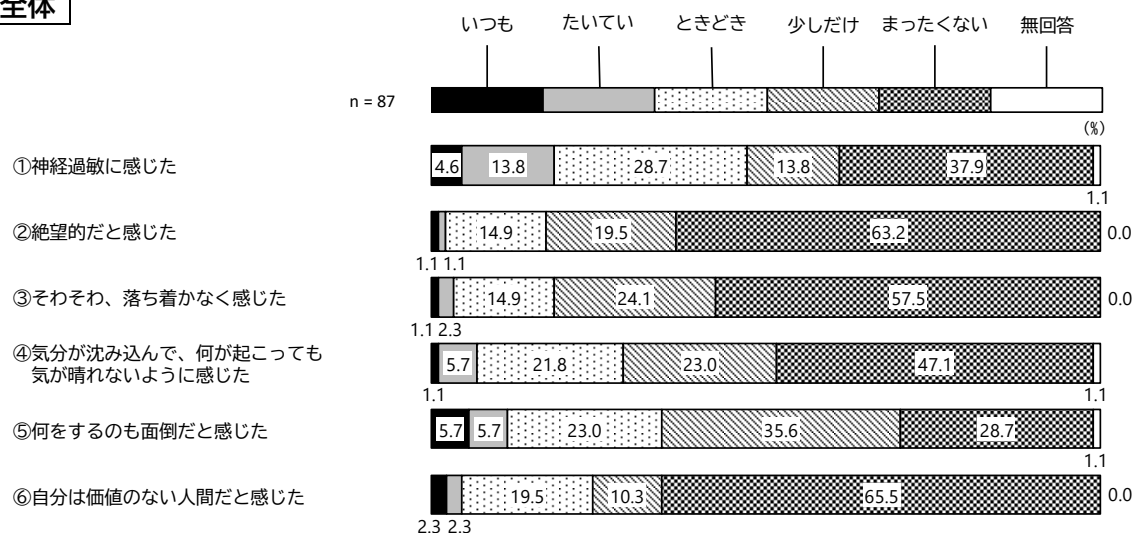
3 あなたの気持ちについて

（１）この１か月間の気持ち

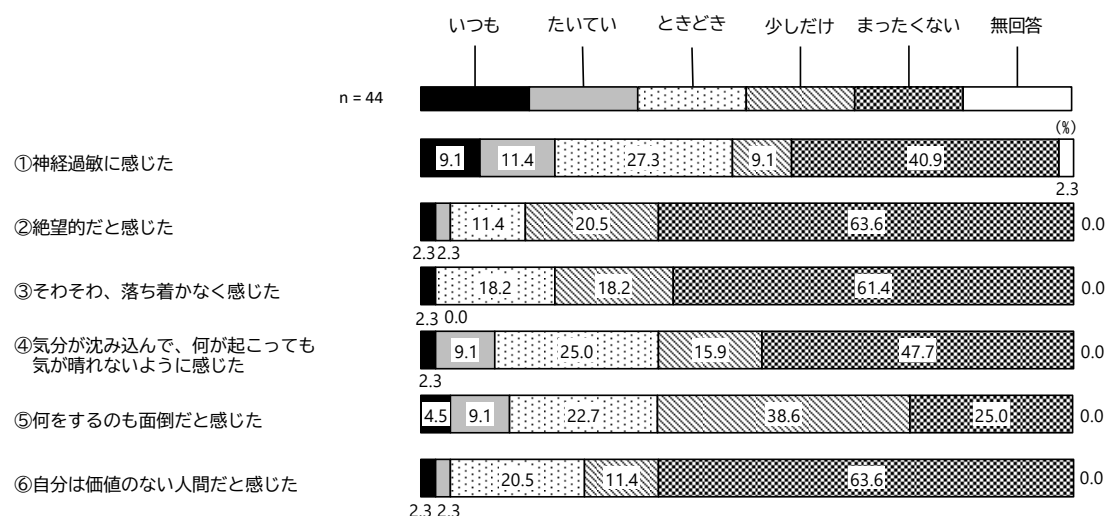
- ▶ この１か月間の気持ちについて、全体では概ねの項目で「まったくない」が５割を超えているが、『①神経過敏に感じた』では「まったくない」が 37.9%、『⑤何をするもの面倒だと感じた』では 28.7%と低く、小学５年生、中学２年生ともに、概ね同様の傾向となっている。
- ▶ こころの健康状態（K6）でみると、要観察の目安となる『５点以上』が４割以上となっています。

問 23 次の①～⑥の質問について、この１か月間のあなたの気持ちはどのようなでしたか。
(それぞれ○は１つ)

全体

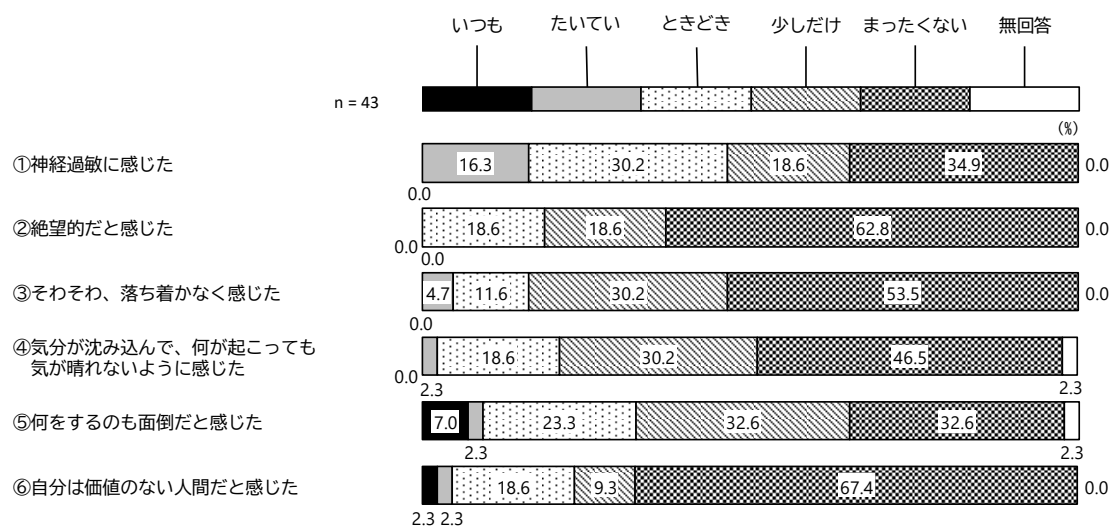


小学５年生

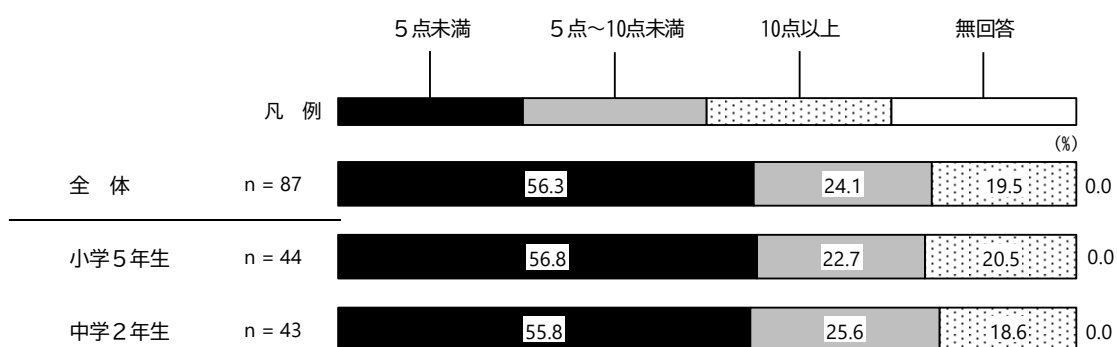


Ⅱ 調査結果（小中学生アンケート調査 保護者向け）

中学2年生



精神的得点（K6）

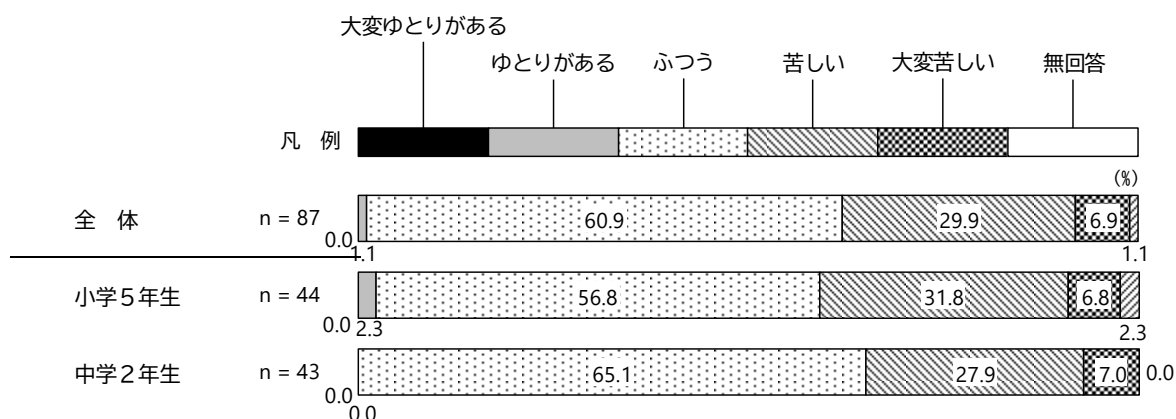


4 家計の状況について

（１）暮らしの状況

- ▶ 暮らしの状況について、全体では「ふつう」が 60.9%と最も高く、「大変ゆとりがある」と「ゆとりがある」を合わせた《ゆとりがある》が 1.1%であるのに対し、「大変苦しい」と「苦しい」を合わせた《苦しい》は 36.8%となっている。小学5年生保護者・中学2年生保護者ともに概ね同様の傾向となっている。

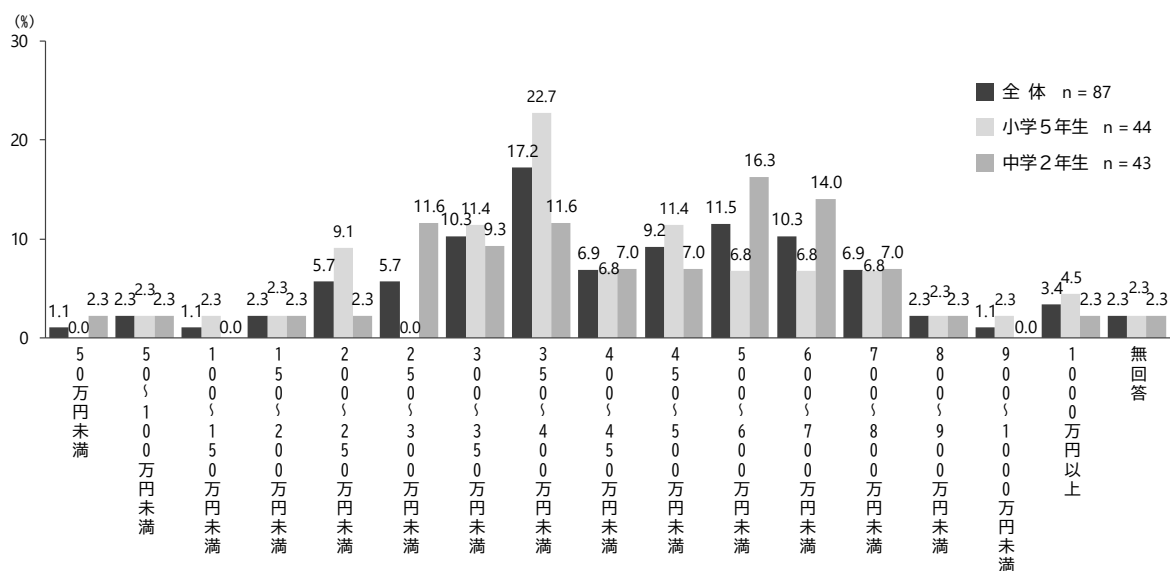
問 24 現在の暮らしの状況をどう感じていますか。（○は1つ）



（２）世帯全体の可処分所得（手取り）総額

- ▶ 世帯全体の可処分所得（手取り）総額について、全体では「350～400 万円未満」が 17.2%と最も高く、次いで「500～600 万円未満」（11.5%）、「300～350 万円未満」、「600～700 万円未満」（ともに 10.3%）となっている。小学 5 年生では「350～400 万円未満」が 22.7%と最も高く、次いで「300～350 万円未満」、「450～500 万円未満」（ともに 11.4%）となっており、中学 2 年生では「500～600 万円未満」が 16.3%と最も高く、次いで「600～700 万円未満」（14.0%）、「250～300 万円未満」、「350～400 万円未満」（ともに 11.6%）となっている。

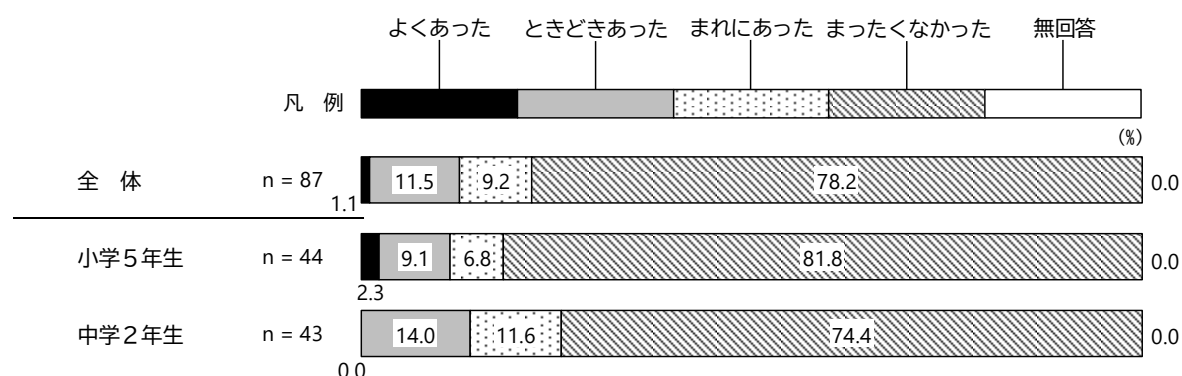
問 25 前年（2024 年 1 月～12 月）のあなたの世帯全体の可処分所得（手取り）総額は、合計でおよそいくらですか。以下の図を参考に、就労による所得（会社員の方等は社会保険料、所得税、住民税を引く）に加え、児童手当や公的年金等の受給額に、雇用保険等の支給額や親族等からの仕送りを足した金額でお答えください。（○は 1 つ）



（３）過去１年間に、お金が足りなくて食料が買えないことがあったか

- ▶ 過去１年間に、お金が足りなくて食料が買えないことがあったかについて、全体では「まったくなかった」が78.2%と約８割となっているが、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた《あった》は21.8%となっている。小学５年生、中学２年生ともに概ね同様の傾向だが、中学２年生保護者は《あった》が25.6%と、小学５年生保護者（18.2%）に比べ7.4ポイント高くなっている。

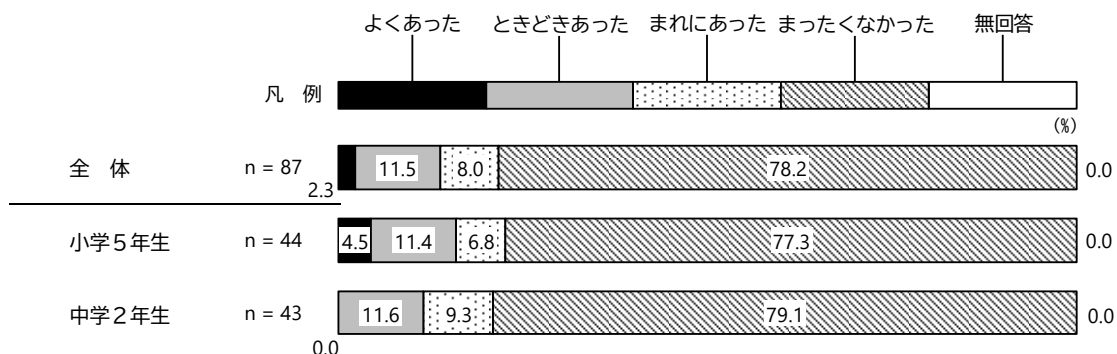
問 26 あなたの世帯では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。（ただし、嗜好品は含みません。）（○は１つ）



（４）過去１年間にお金が足りなくて衣服が買えないことがあったか

- ▶ 過去１年間に、お金が足りなくて衣服が買えないことがあったかについて、全体では「まったくなかった」が78.2%と約８割となっているが、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた《あった》は21.8%となっている。小学５年生、中学２年生ともに概ね同様の傾向となっている。

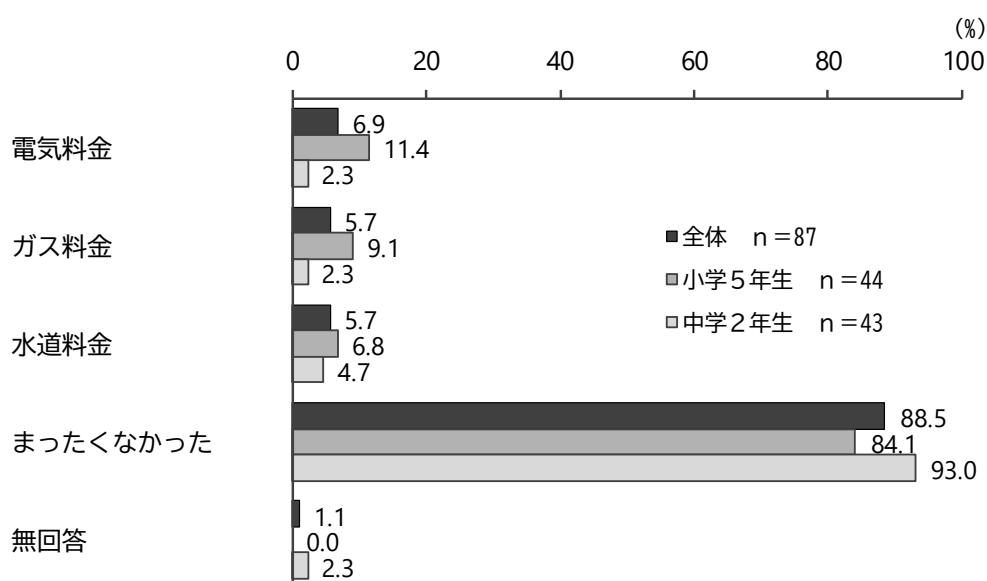
問 27 あなたの世帯では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、（高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。）（○は１つ）



（５）過去１年間に経済的な理由で未払い経験がある料金

- ▶ 過去１年間に経済的な理由で未払い経験がある料金について、全体では「まったくなかった」が 88.5% と最も多く、小学５年生、中学２年生ともに概ね同様の傾向だが、中学２年生は「電気料金」が 11.4%、「ガス料金」が 9.1%と小学５年生（電気料金 6.9%、ガス料金 5.7%）に比べて僅かに高くなっている。

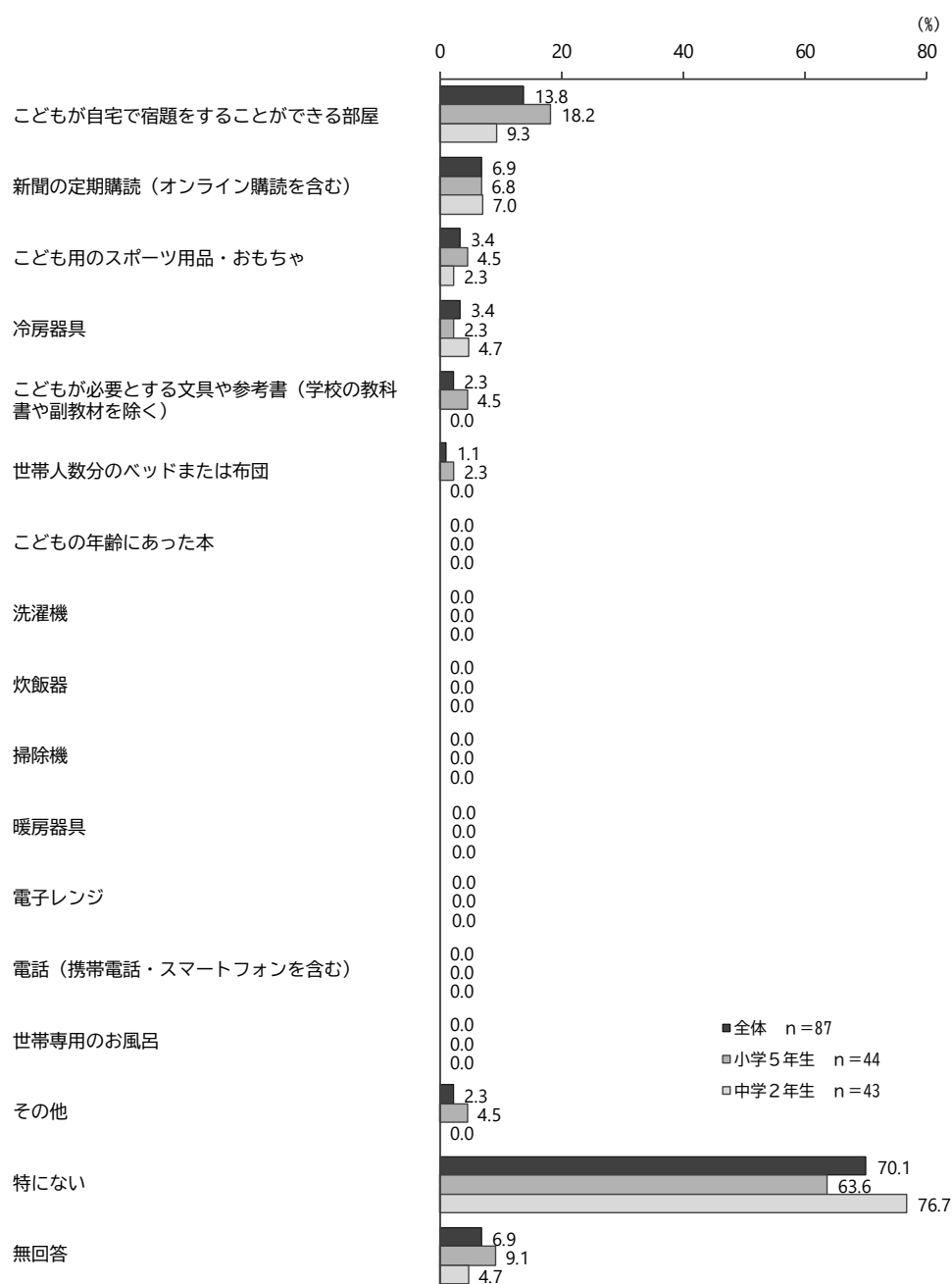
問 28 あなたの世帯では、過去１年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。（○はいくつでも）



（６）経済的理由で世帯にないもの

- ▶ 経済的理由で世帯にないものについて、全体では「特にない」が 70.1%と 7 割以上となっているものの、「こどもが自宅で宿題をすることができる部屋」、「新聞の定期購読（オンライン購読を含む）」、「こども用のスポーツ用品・おもちゃ」、「冷房器具」、「こどもが必要とする文具や参考書（学校の教科書や副教材を除く）」、「世帯人数分のベッドまたは布団」の項目で回答があり、特に「こどもが自宅で宿題をすることができる部屋」は 13.8%と高くなっている。小学 5 年生、中学 2 年生ともに、概ね同様の傾向だが、小学 5 年生では「特にない」が 63.6%と、中学 2 年生（76.7%）に比べて 13.1 ポイント低くなっている。

問 29 次のうち、経済的理由であなたの世帯にないものはありますか。（○はいくつでも）

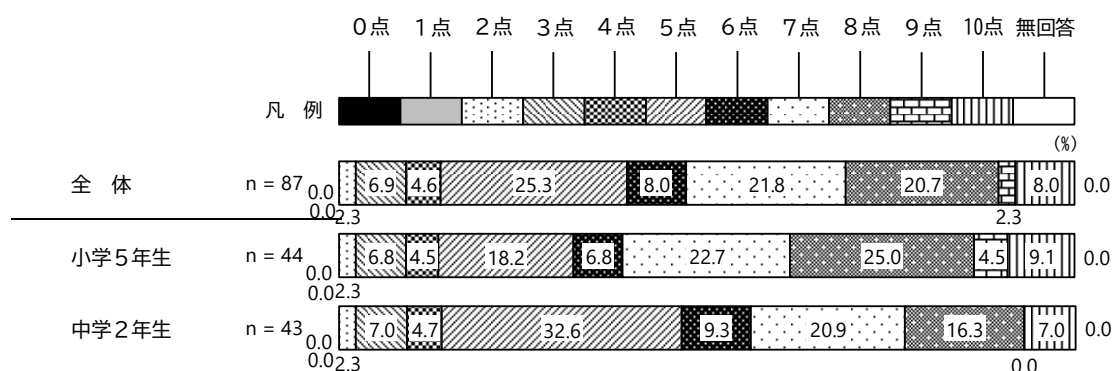


（7）生活への満足度

- ▶ 生活への満足度について、全体では「5点」が25.3%と最も高く、次いで「7点」（21.8%）、「8点」（20.7%）となっている。小学5年生では「8点」が25.0%と最も高く、6点以上が約7割と高くなっている一方、中学2年生では「5点」が32.6%と最も高く、6点以上が約5割と小学5年生に比べ低くなっている。

問 30 あなたは、あなたの生活にどのくらい満足していますか。

（「まったく満足していない」を0点、「十分に満足している」を10点として、○は1つ）



5 支援制度の利用状況や必要な支援などについて

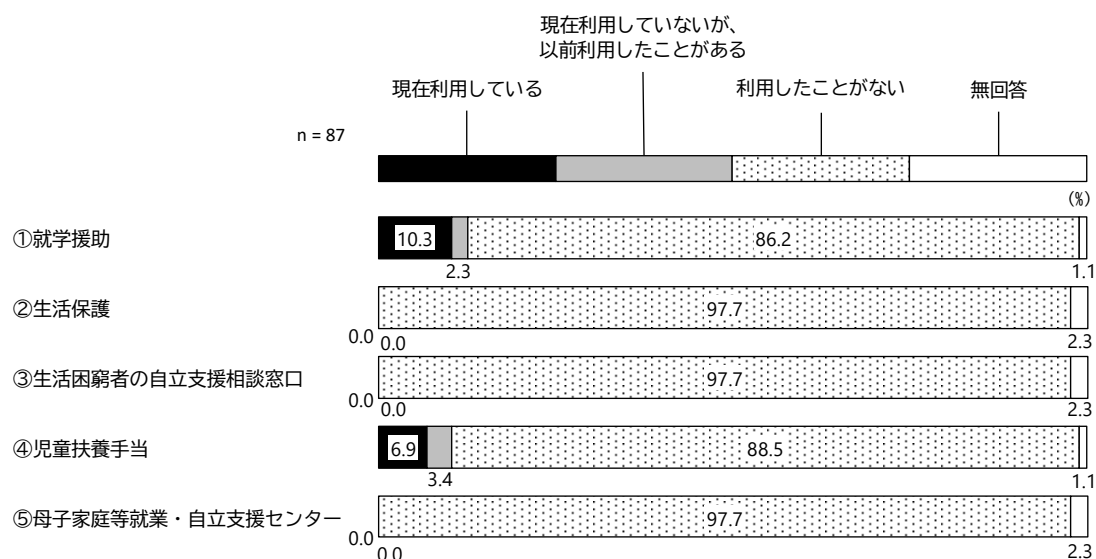
（１）各種支援制度の利用状況

- ▶ 各種支援制度の利用希望について、全体ではすべての項目で「利用したことがない」が8～9割を占めているものの、『①就学支援』では10.3%、『④児童扶養手当』では6.9%が「現在利用している」と回答している。小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっている。

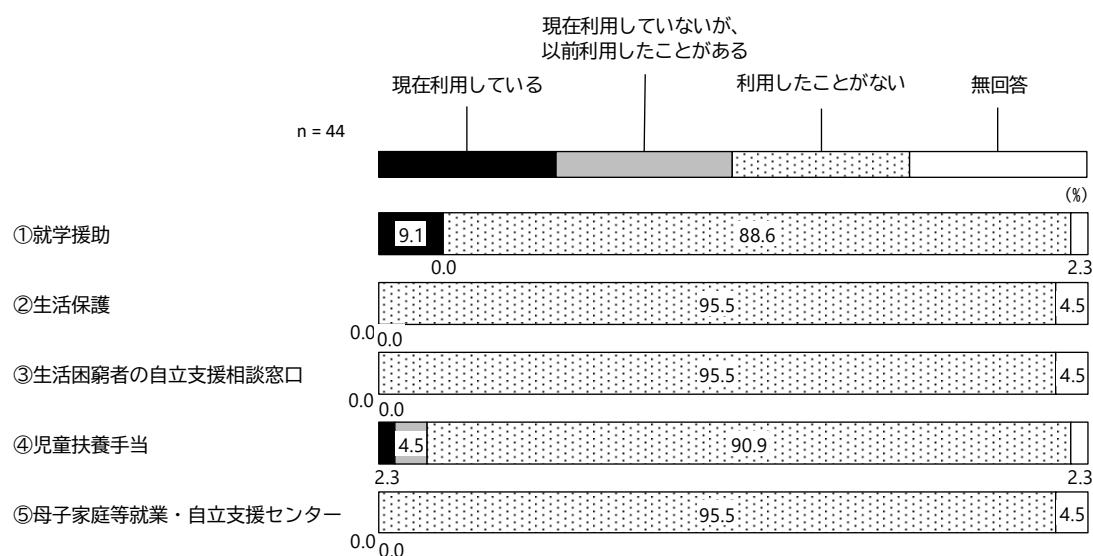
問 31 あなたの世帯では、以下の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。

（それぞれ○は1つ）

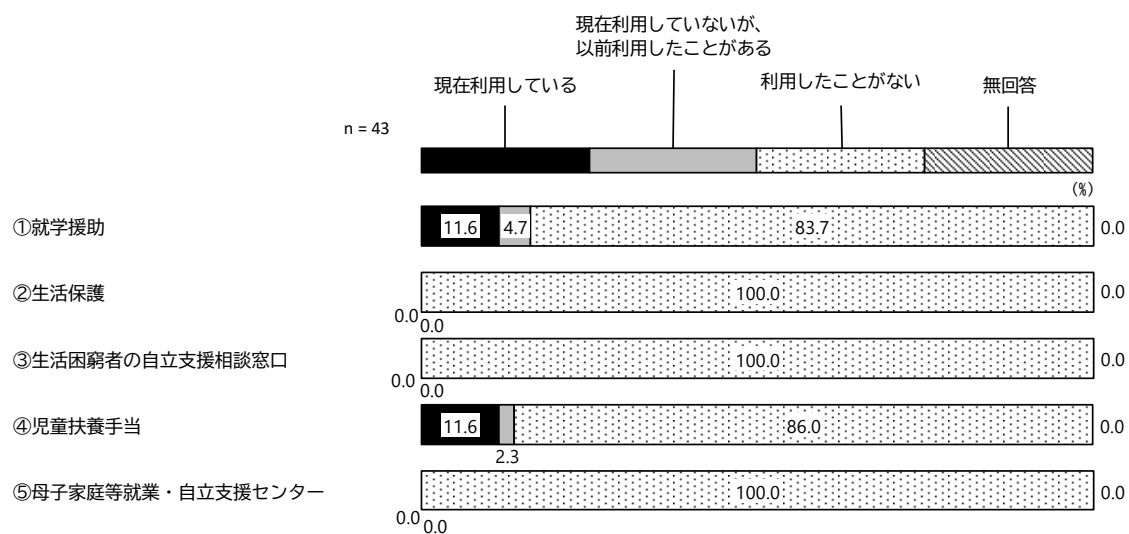
全体



小学5年生



中学2年生



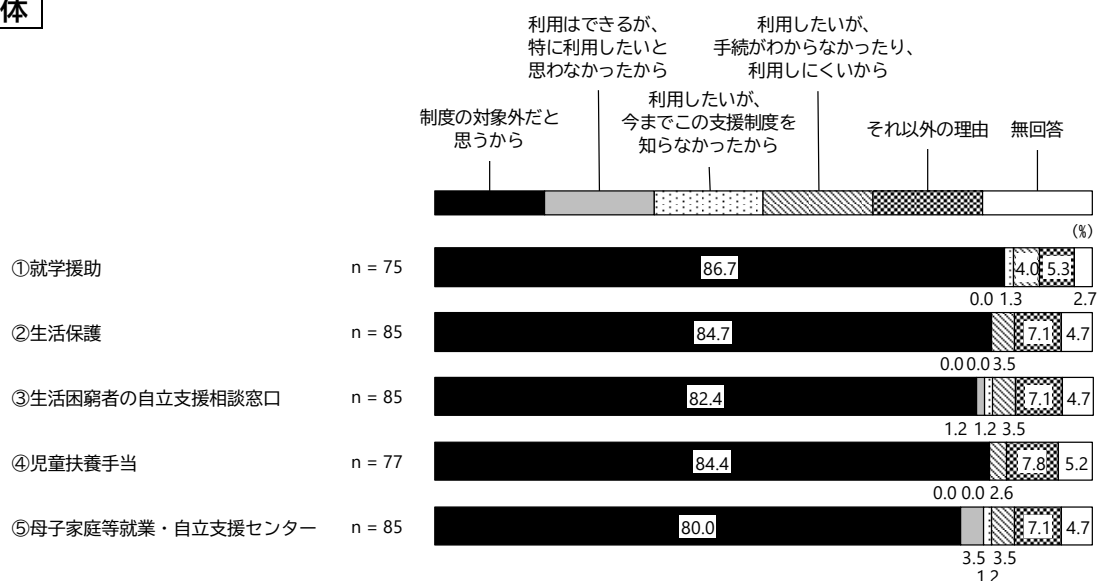
（２）支援制度を利用していない理由

- ▶ 支援制度を利用していない理由について、全体ではすべての項目で「制度の対象外だと思うから」が8割以上と高くなっている。『①就学援助』では、中学2年生で94.4%と小学5年生（79.5%）に比べ、14.9ポイント高くなっている。

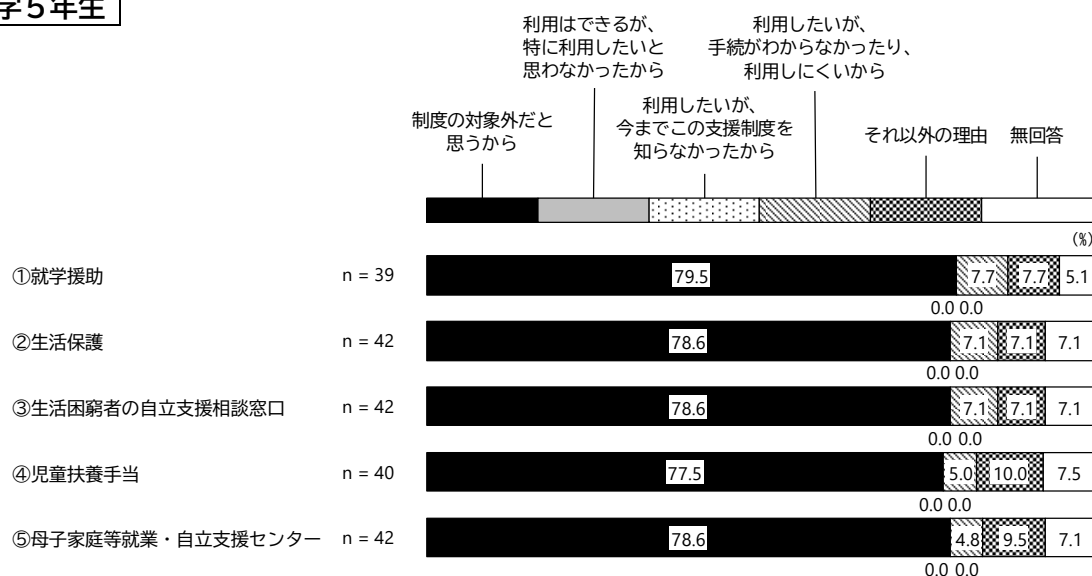
【問 31 ①～⑤で「利用したことがない」を選んだ方のみお答えください。】

問 32 その理由は何ですか。（それぞれ○は1つ）

全体

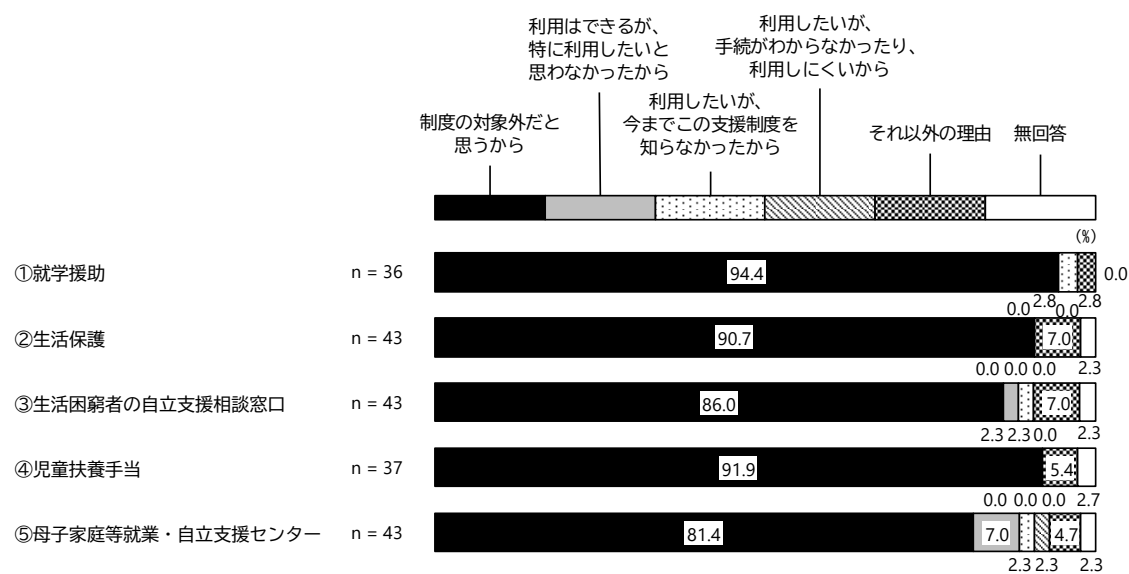


小学5年生



Ⅱ 調査結果（小中学生アンケート調査 保護者向け）

中学2年生



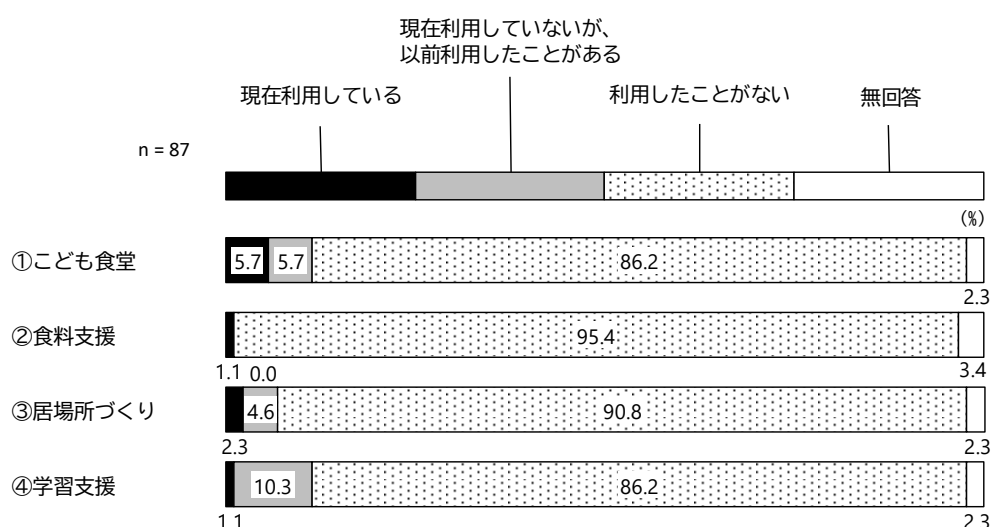
（３）各支援制度の利用経験

- ▶ 各種支援制度の利用経験について、全体ではすべての項目で「利用したことがない」約 8 ～ 9 割を占めている一方で、「現在利用している」と「現在利用していないが、以前利用したことがある」を合わせた《利用経験がある》が『①こども食堂』、『④学習支援』とともに 11.4%と他の項目に比べて高くなっている。『①こども食堂』では、《利用経験がある》が小学 5 年生で 18.2%と中学 2 年生（4.6%）に比べ 14.6 ポイント高くなっている。

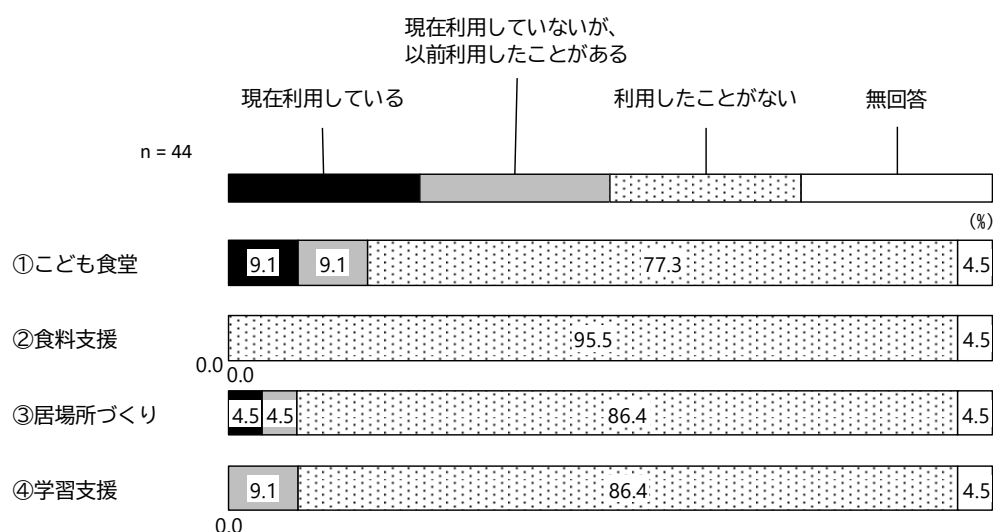
問 33 あなたの世帯では、以下の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。

（それぞれ○は1つ）

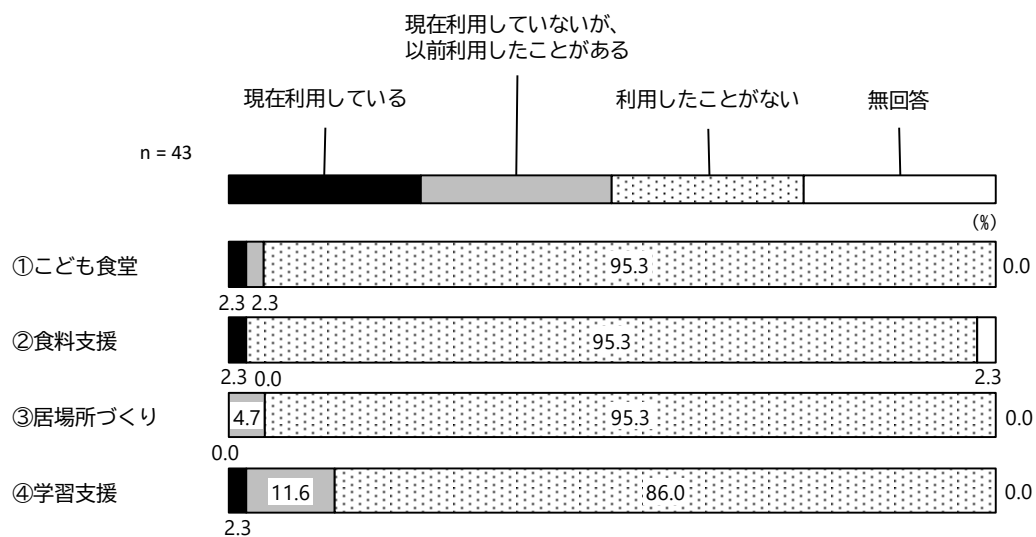
全体



小学5年生



中学2年生

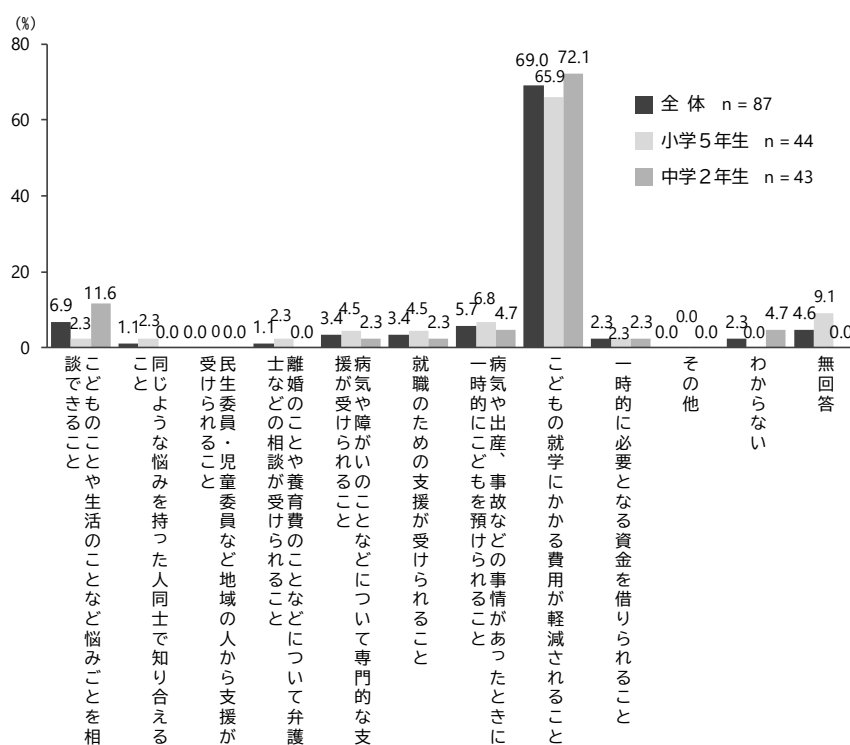


（４）必要・重要だと思う支援

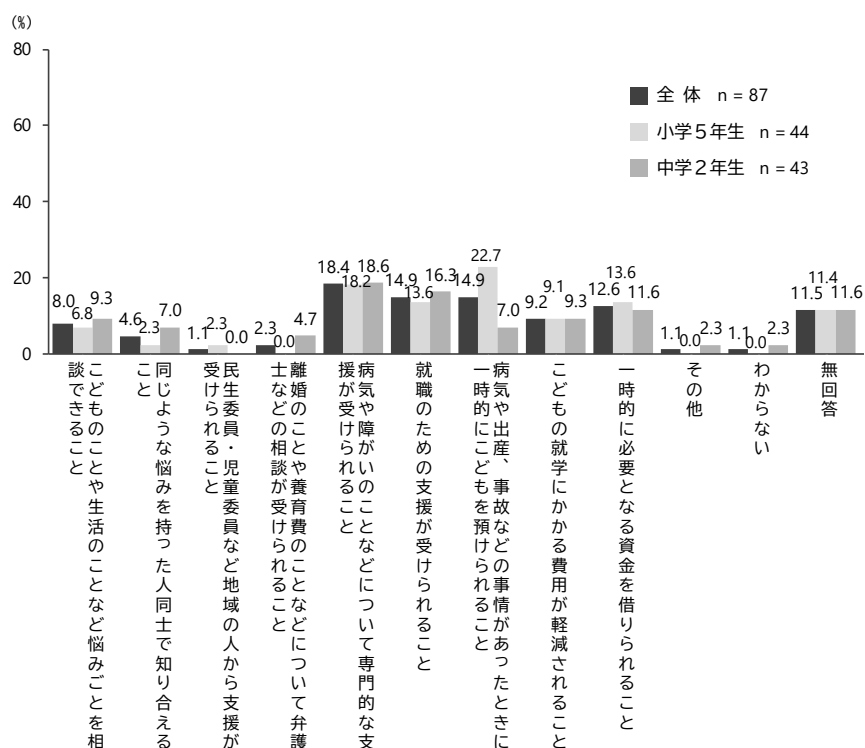
- ▶ 必要・重要だと思う支援について、全体では【１番目に重要】な支援として「こどもの就学にかかる費用が軽減されること」が69.1%と最も高く、次いで【２番目に重要】な支援では「病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること」（18.4%）、【３番目に重要】な支援では「病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること」（14.9%）となっている。中学２年生は概ね同様の傾向になっているが、小学５年生では【２番目に重要】なこととして「病気や出産、事故などの事情があったときに一時的にこどもを預けられること」（22.7%）が最も高くなっている。

問 34 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等はどのようなものですか。選択肢番号に○はつけずに、重要と思うものの上位１番～３番までを回答欄に記入してください。
（数字で記入してください）

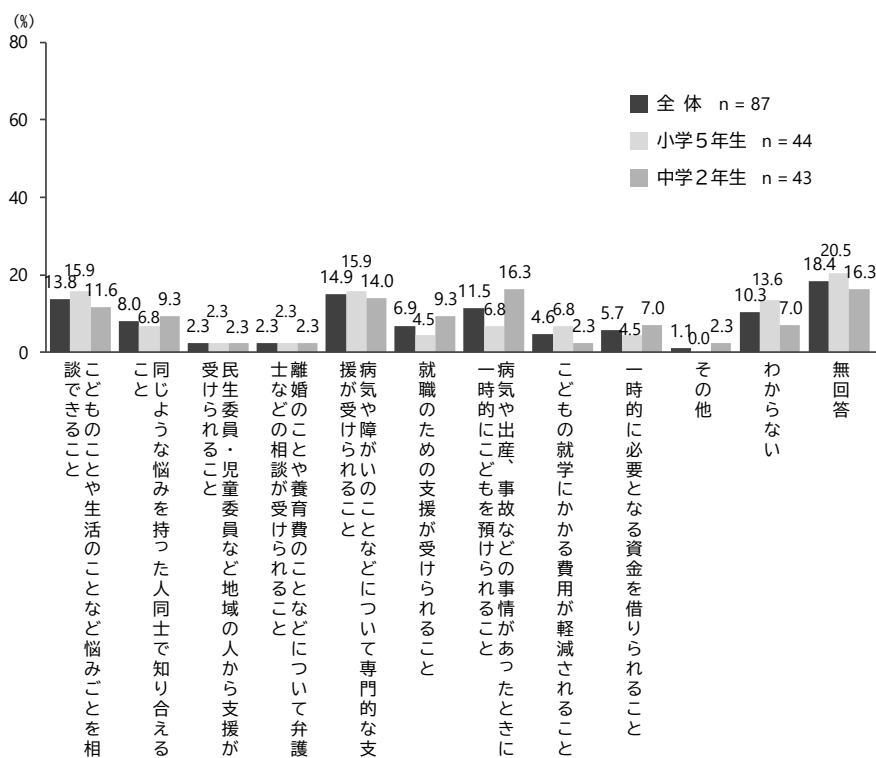
１番目に重要



2 番目に重要



3 番目に重要



（５）日頃感じていること

▶日頃感じていることについて、全体では「子育て環境・生活環境に関すること」が 10 件と最も多く、次いで「子育て（支援）に関すること」（7 件）、「金銭面に関すること」（6 件）となっている。

問 35 このアンケートでお伺いしたことにに関して、日頃お感じになっていることをご自由にお書きください。

順位	内容	全体	小学5年生 保護者	中学2年生 保護者
1	子育て環境・生活環境に関すること	10 件	6 件	4 件
2	子育て（支援）に関すること	7 件	2 件	5 件
3	金銭面に関すること	6 件	3 件	3 件
4	制度・手当・補助金に関すること	5 件	1 件	4 件
5	学校生活に関すること	3 件	1 件	2 件
5	窓口・行政に関すること	3 件	3 件	0 件
6	アンケートについて	1 件	1 件	0 件
6	医療に関すること	1 件	1 件	0 件

【自由意見（一部抜粋）】

1. 子育て環境・生活環境に関すること

- 今年児童館ができ、時々利用させて頂いております。ただ、小さい子と大きい子（高学年以上）のこどもが一つの室内で遊ぶのには無理があります。大きい子は、ボール投げも強く、そして激しく遊びたいけど、小さい子がいるから我慢しないといけない…という状況です。どうしても遊び場というと小さい子がメインになってしまいましたが、こどもはいくつになっても友達と遊びたいし、遊び方も変わってくるので、大きい子が居場所になれる所も作って欲しいです。親から離れてしまう年齢だからこそ、町の大人や地域で支えてくれる温かい町であって欲しいです。
- 熱中症対策として、小中学校の校庭に日陰がほしい。小学校は、3カ所くらいに屋根（テント）や、中学校も部活で使用する野球、ソフト、サッカーの所に屋根があると、体育でも休憩時に使用出来るのではないかな。こどものためへの寄付金は、本当にこどもたちのために使われているのか、少子化で高齢者も多い今、どちらの支援も必要だが、これからの未来のこども達に少しでも良い環境があればと思います
- 他の市町村に行かなくてもいいような公園、遊び場が欲しい。本宮みずいろ公園のようなものや鏡石ふれあいの森公園のような。

2. 子育て（支援）に関すること

- 子育て世帯への給付金など、もう少し子育てをしている人への支援が必要だと思う。こざくらちゃんの商品券のように限られたものでも良いが、町民全体だけでなく、こどもへ、その親へもう少し助けになるものがあればいいと思う。できれば年度末など、どうしても入り用の時に使えるものだとお良いのではと思う。
- 多子世帯には様々な支援があるが、1人や2人の子育て世帯にも支援してほしい。高校までは何とかなるが、大学進学となると経済的に厳しく、進学を諦めなくてはならない場合が出てくる。

3. 金銭面に関すること

- こどもがのびのびと生活するためにはお金がかかります。お金が右左される生活をしていると、こどもがやりたい事、必要な物にお金を出せず、やる気をなくさせてしまっているのが現実です。物価高なのに支援もなく、収入も上がらずで、困っています。
- 小野高校が閉校になってしまい、こども達は近くても船引高校の通学になってしまいます。近くても、遠くても、通学方法は電車になってしまいます。経済的にきびしい中で通学費は高い出費になります。少しでも通学費を軽減できる事を町でも考えて下さい…。郡山の通学を希望するこども達が多いです。行ける（郡山の高校）のに、経済的に行けないのはもったいない。通学費どうにか軽減補助を強く願っています。

4. 制度・手当・補助金に関すること

- 郡山に高校進学し、電車で通学するこどもが多いと思いますが、その際の定期代の補助があると大変助かります。

5. 学校生活に関すること

- 小学校で昔はあった高学年がやっていた部活動が今ないのが残念。陸上・自転車・合唱・トランペット部、楽器が使われず、そのまま置いた状態ではもったいない。町のスポーツ少年団にこどもがやりたいバスケットがないのが残念です。

5. 窓口・行政に関すること

- こどもの事を考えてくれているなら、町人一人一人、税金の差を無くした方が良い。高いからその人からとるのはおかしい。高い給料をもらう人も、家庭を犠牲にして働いている。その苦勞も分からず、数字だけで決めるのはおかしい。人間は皆平等で合わせてほしい。

6. アンケートについて

- アンケートに答えていく中で、日頃こども達に勉強しなさいなど沢山言っていますが、自分の思い通りにしようとして、じゅうぶんこども達は頑張っているのに、自分は贅沢な事を言っていると感じ反省しました。高校に進学するとお金がかかるのが心配です。少子化も進み人口が減っているのに小野町は大丈夫かと心配です。

6. 医療に関すること

○こどもが具合が悪くても小児科医がいないという理由で受診できないことがあった。いつでも安心して受診できる医療機関がほしい（小児科医の常勤）。小野町で働ける場所が少ない。子育てしながらと働ける条件も多々あり希望通りの所が見つからない。今後、こどもにかかる教育費に不安しかない。

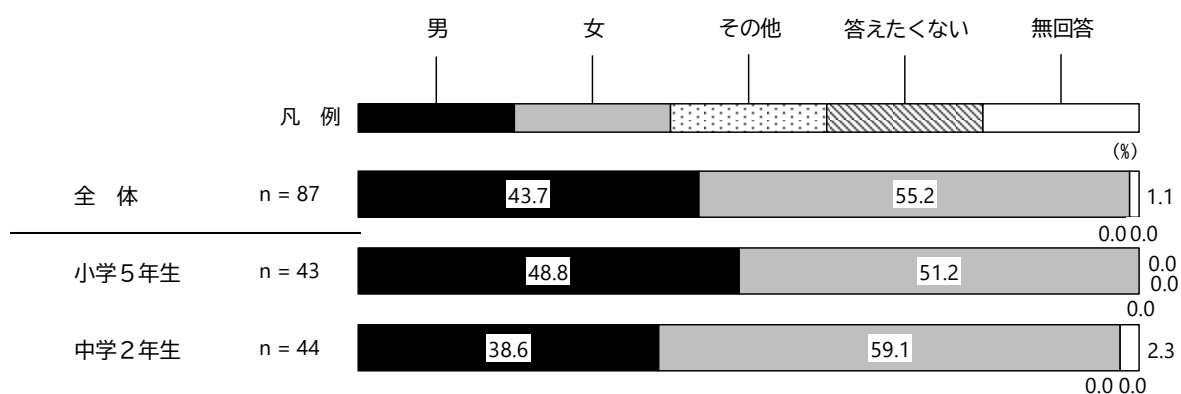
Ⅲ 調査結果（小中学生アンケート調査 小学5年生・中学2年生向け）

1 あなた自身のことについて

（1）性別

- ▶ 性別について、全体では「男」が43.7%、「女」が55.2%となっている。小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっている。

問1 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）



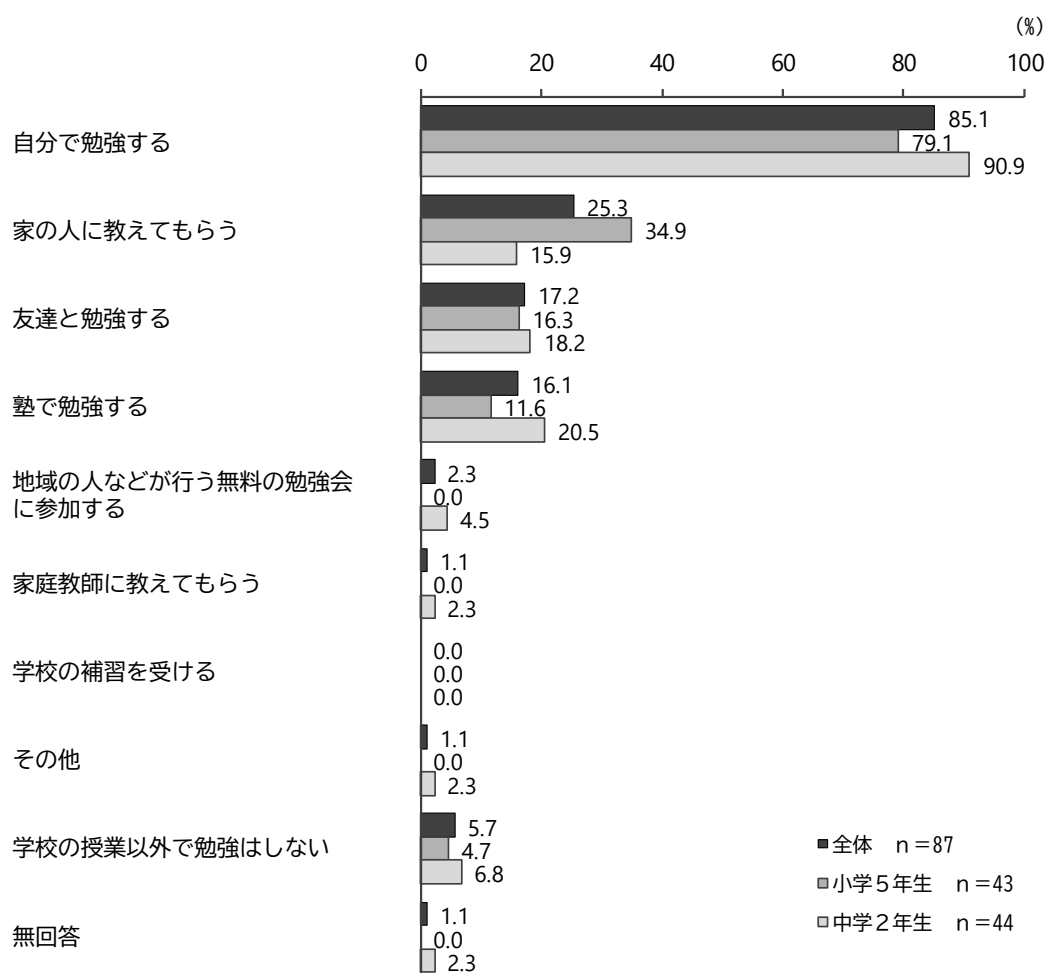
2 勉強や学校のことについて

（１）ふだんの勉強の状況

- ▶ ふだんの勉強の状況について、全体では「自分で勉強する」が85.1%と最も高く、次いで「家の人に教えてもらう」（25.3%）、「友達と勉強する」（17.2%）となっている。小学5年生、中学2年生ともに、概ね同様の傾向だが、小学5年生では「家の人に教えてもらう」が34.9%と、中学2年生（15.9%）に比べて19ポイント高くなっている。

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

※勉強には学校の宿題も含みます。（○はいくつでも）

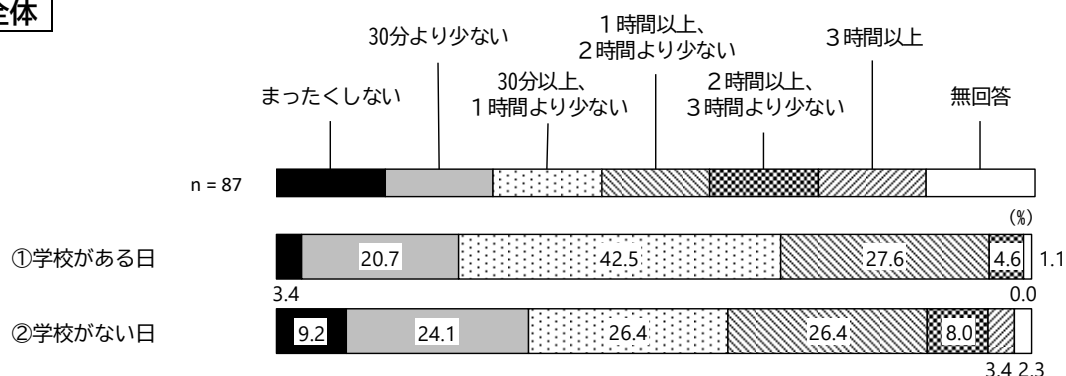


（２）１日の勉強時間

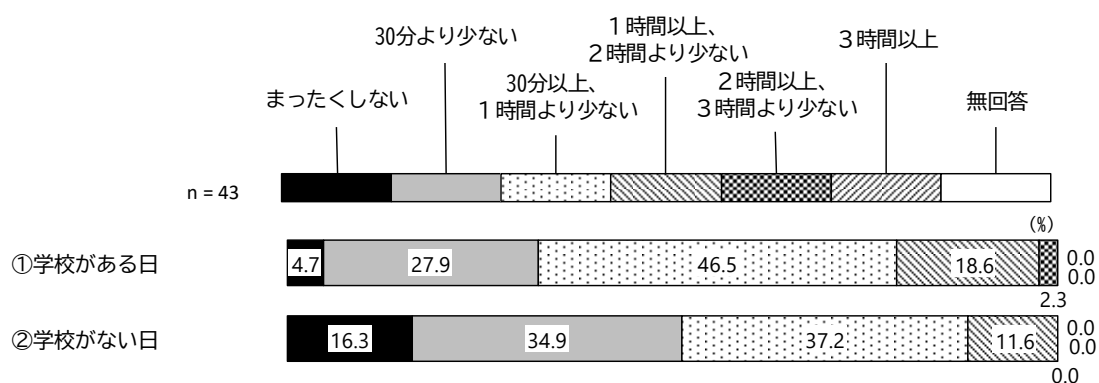
- ▶ １日の勉強時間について、全体では『①学校がある日』は「30分以上、1時間より少ない」が42.5%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」（27.6%）、「30分より少ない」（20.7%）となっている。『②学校がない日』では「30分以上、1時間より少ない」、「1時間以上、2時間より少ない」がともに26.4%、次いで「30分より少ない」（24.1%）、「2時間以上3時間より少ない」（8.0%）となっている。
- ▶ 「1時間以上、2時間より少ない」～「3時間以上」までを合わせた《1時間以上》の割合は、小学5年生では①20.9%、②11.6%、中学2年生では①43.2%、②63.6%となっており、学校の有無に関わらず、中学2年生の方が勉強時間が長い傾向がみられる。

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間も含みます。（それぞれ○は1つ）

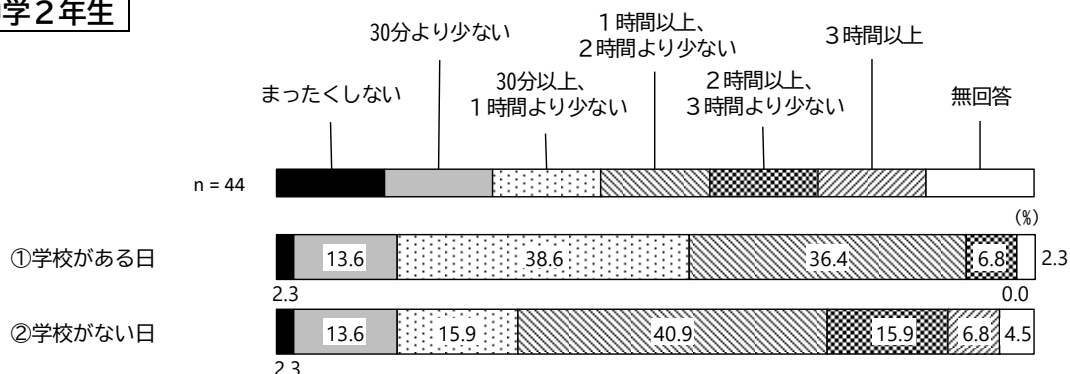
全体



小学5年生



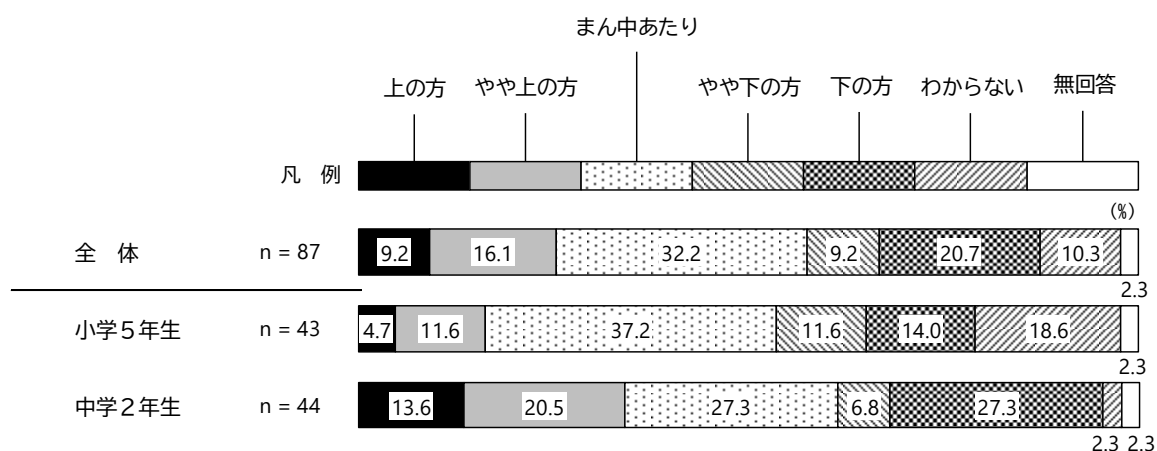
中学2年生



(3) クラスでの成績

- ▶ クラスでの成績について、全体では「まん中あたり」が 32.2%と最も高く、次いで「下のほう」(20.7%)、「やや上のほう」(16.1%)となっている。小学5年生は概ね同様の傾向だが、中学2年生では、「下の方」が 27.3%と、小学5年生 (14.0%) に比べて 13.3 ポイント高くなっている。

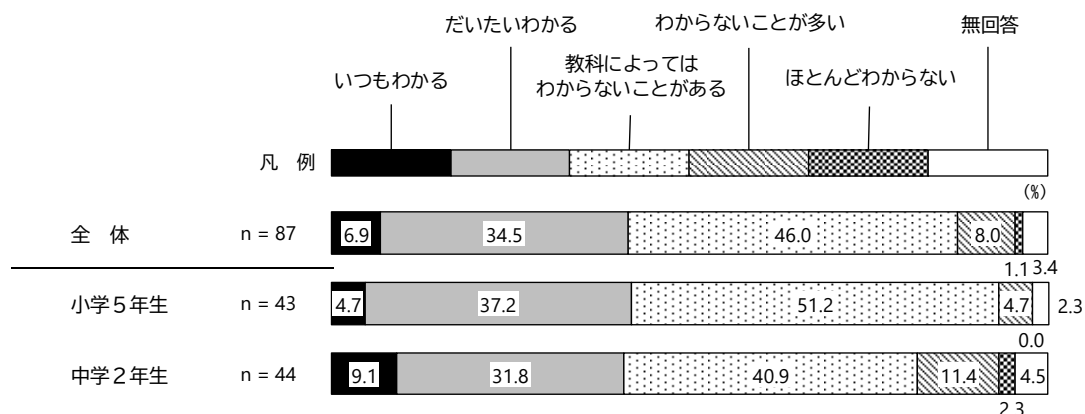
問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(○は1つ)



（４）学校の授業の理解度

- ▶ 学校の授業の理解度について、全体では「いつもわかる」と「だいたいわかる」を合わせた《わかる》が４割を超えているものの、「教科によってはわからないことがある」が46.0%と最も高くなっている。中学2年生では「ほとんどわからない」と「わからないことが多い」を合わせた《わからない》が13.7%と、小学5年生（4.7%）に比べて9ポイント低くなっている。

問５ あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。（○は１つ）



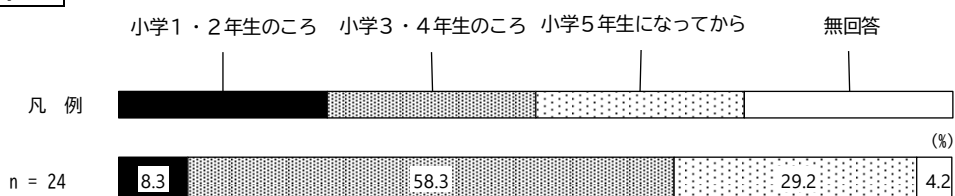
（５）授業がわからなくなった時期

- ▶ 授業がわからなくなった時期について、小学5年生では「小学3・4年生のころ」が58.3%と最も高く、次いで「小学5年生になってから」（29.2%）、「小学1・2年生のころ」（8.3%）となっている。
 中学2年生では「中学1年生のころ」が41.7%と最も高く、次いで「小学5・6年生のころ」（20.7%）、「小学3・4年生のころ」、「中学2年生になってから」（ともに16.7%）となっている。

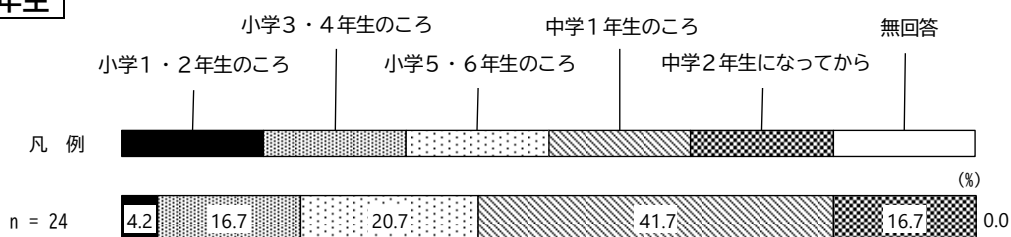
【問5で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と回答した方のみ、お答えください。】

問6 いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。（○は1つ）

小学5年生



中学2年生

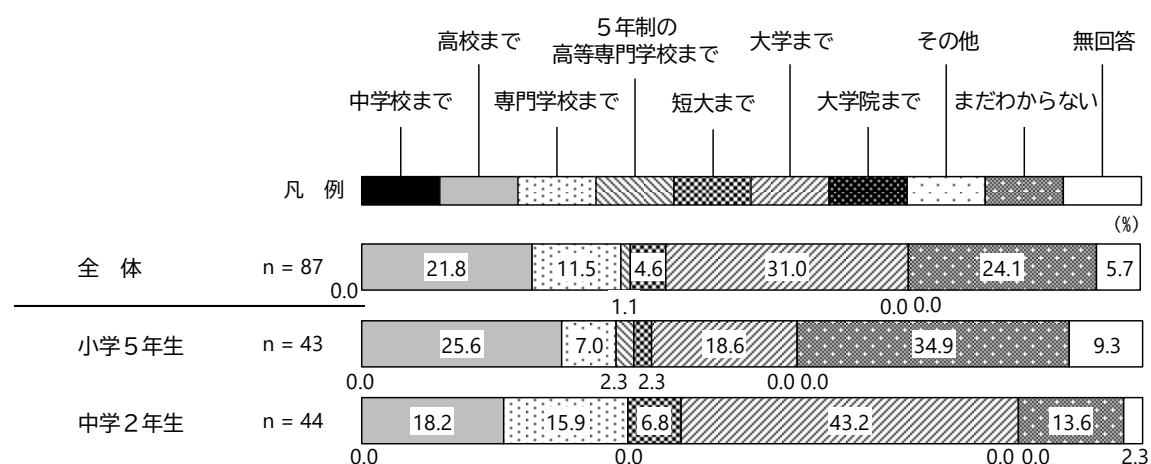


3 進学への考えについて

（1）進学希望

- ▶ 進学希望について、全体では「大学まで」が31.0%と最も高く、次いで「高校まで」（21.8%）、「専門学校まで」（11.5%）、「短大まで」（4.6%）となっている。中学2年生では「大学まで」が43.2%と小学5年生（18.6%）に比べ24.6ポイント高くなっている。

問7 あなたは、将来、どこまで進学したいですか。（○は1つ）

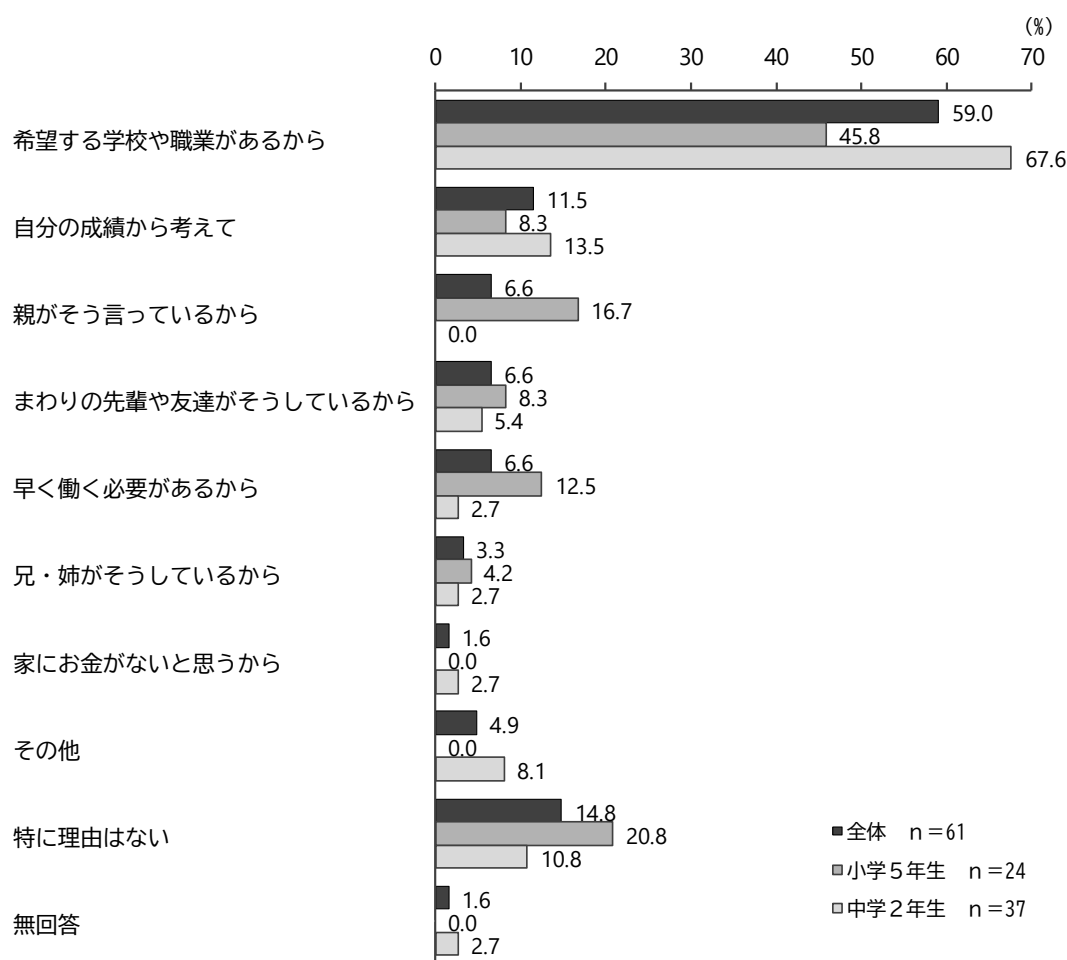


（２）進学希望の理由

- ▶ 進学希望の理由について、全体では「希望する学校や職業があるから」が 59.0%と最も高く、次いで「自分の成績から考えて」（11.5%）、「親がそう言っているから」（6.6%）となっている。小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向だが、小学5年生では「親がそう言っているから」が 16.7%と、中学2年生（0.0%）に比べて 16.7 ポイント高くなっている。

【問7で「9 まだわからない」以外と回答した方のみ、お答えください。】

問8 問7の理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

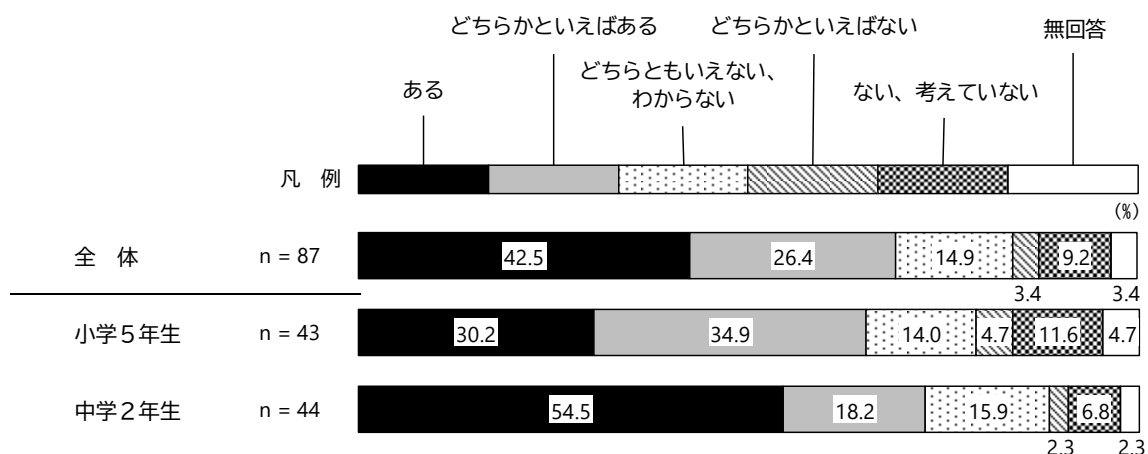


（３）将来の夢や目標、なりたい職業、やりたい仕事の有無

- ▶ 将来の夢や目標、なりたい職業、やりたい仕事の有無について、全体では「ある」と「どちらかといえばある」を合わせた《ある》が約 7 割と高く、小学 5 年生、中学 2 年生ともに、概ね同様の傾向となっている。

【全員にお聞きします。】

問 9 あなたには、将来の夢や目標、なりたい職業・やりたい仕事はありますか。（○は 1 つ）

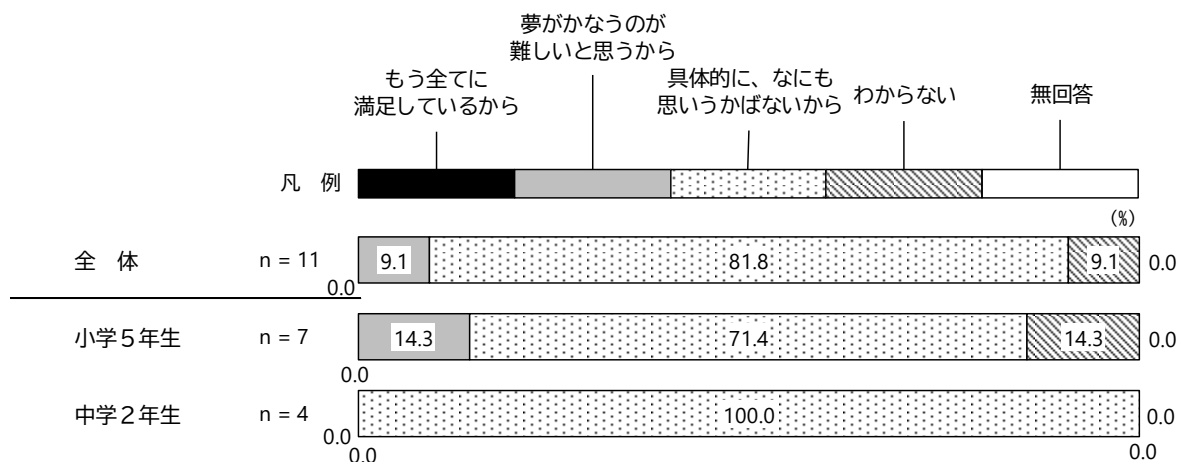


（４）夢がない理由

- ▶ 夢がない理由について、全体では「具体的に、なにも思いうかばないから」が 8 割以上と高くなっており、小学 5 年生は概ね同様の傾向となっている。小学 5 年生では「夢がかなうのが難しいと思うから」が 14.3% と中学 2 年生(0.0%)に比べ 14.3 ポイント高くなっている。

【問 9 で「4 どちらかといえばない」「5 ない、考えていない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 10 夢がない理由は何ですか。（○は 1 つ）



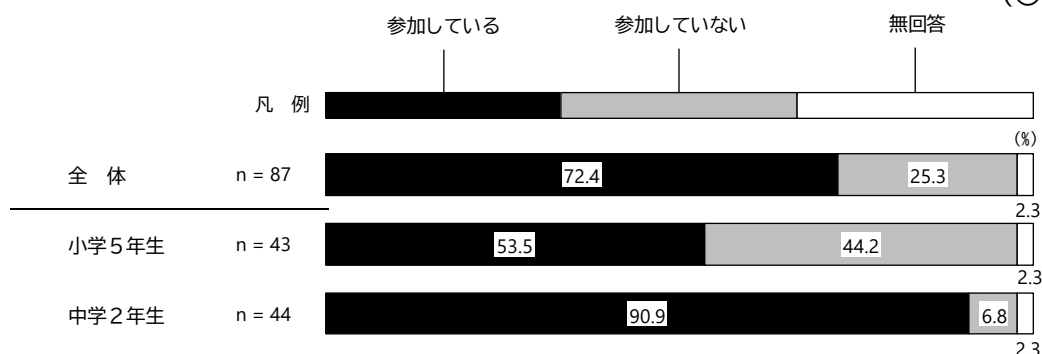
4 部活動や地域クラブへの参加状況について

（１）部活動や地域クラブへの参加状況

- ▶ 部活動や地域クラブへの参加状況について、全体では「参加している」が72.4%となっており、「参加していない」は25.3%となっている。中学2年生では「参加している」が90.9%と、小学5年生（53.5%）に比べて37.4ポイント高くなっている。

問11 あなたは、学校の部活動や地域のスポーツクラブ・文化クラブに参加していますか。

（○は1つ）

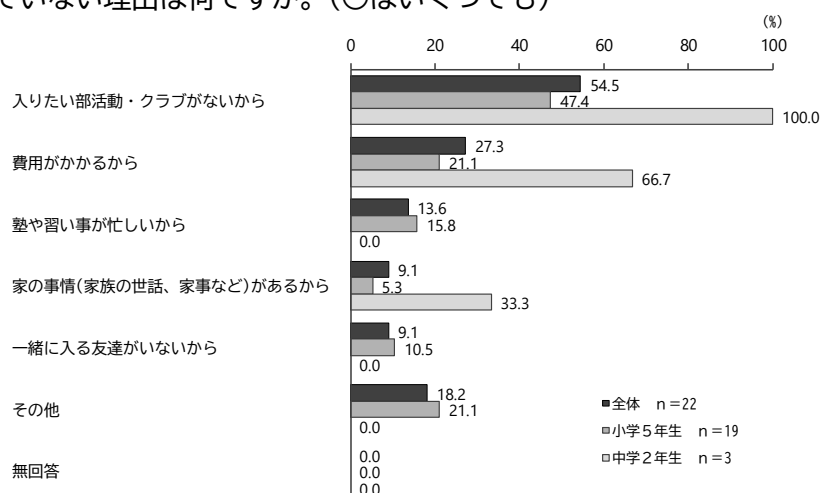


（２）参加していない理由

- ▶ 参加していない理由について、全体では「入りたい部活動・クラブがないから」が54.5%と最も高く、次いで「費用がかかるから」（27.3%）、「塾や習い事が忙しいから」（13.6%）となっている。

【問11で「2 参加していない」と選んだ方のみ、お答えください。】

問12 参加していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

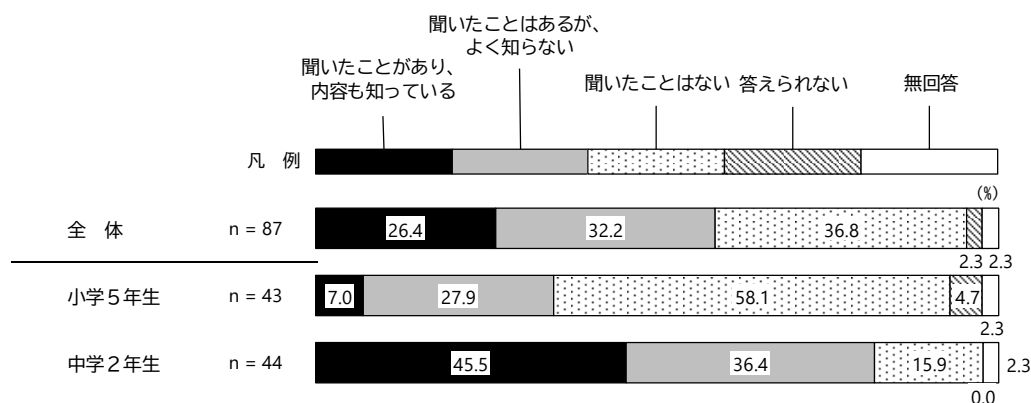


5 ヤングケアラーについて

（１）「ヤングケアラー」という言葉の認知度

- ▶ 「ヤングケアラー」という言葉の認知度について、全体では「聞いたことはない」が 36.8%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」（32.2%）、「聞いたことがあり、内容も良く知っている」（26.4%）となっている。中学2年生では「聞いたことがあり、内容も知っている」が 45.5%と、小学5年生（7.0%）に比べて 38.5 ポイント高くなっている。

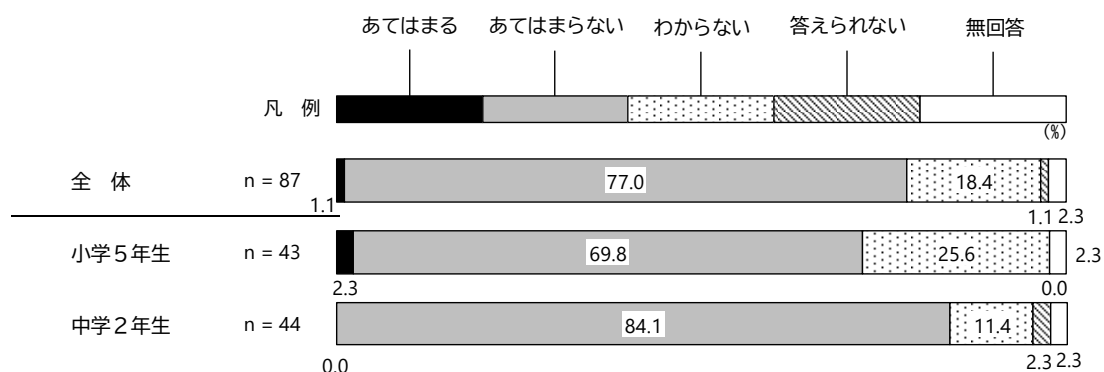
問 13 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。（○は1つ）



（２）「ヤングケアラー」への該当状況

- ▶ 「ヤングケアラー」への該当状況について、全体では「あてはまらない」が 77.0%と最も高く、「あてはまる」が 1.1%となっている。中学2年生では「あてはまらない」が 84.1%と、小学5年生（69.8%）に比べて 14.3 ポイント高くなっている。

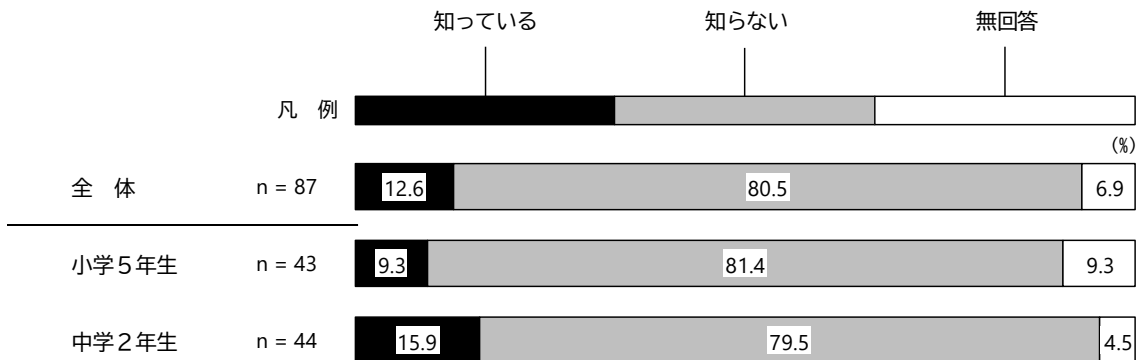
問 14 あなたは「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。（○は1つ）



（3）「ヤングケアラー」の相談窓口の認知度

- ▶ 「ヤングケアラー」の相談窓口の認知度について、全体では「知らない」が 80.5%と 8 割以上となっており、「知っている」は 12.6%となっている。小学 5 年生、中学 2 年生とも概ね同様の傾向となっている。

問 15 もしあなたが「ヤングケアラー」の場合、または「ヤングケアラー」のこどもが身の周りにいた場合、どのような機関や窓口で相談したらよいか知っていますか。（○は 1 つ）



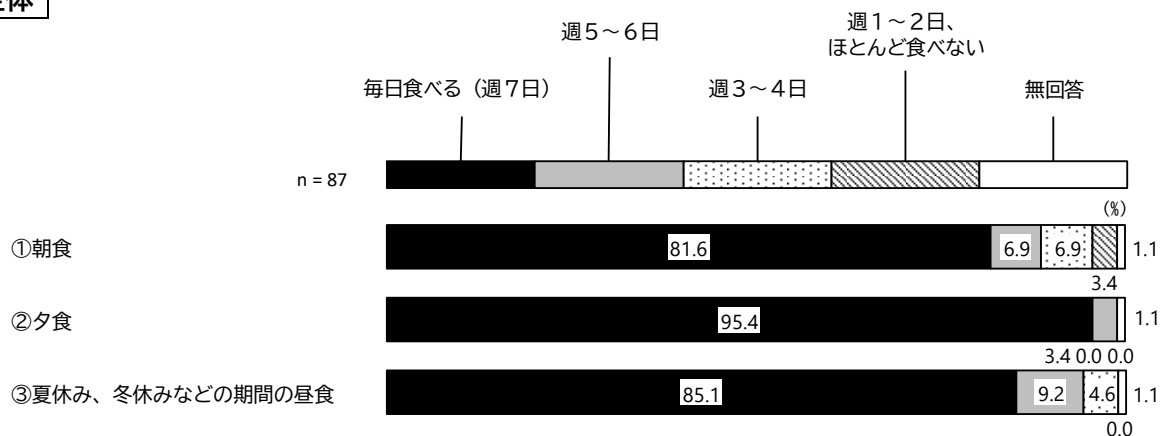
6 普段の生活やあなたの思いについて

（１）食事の頻度

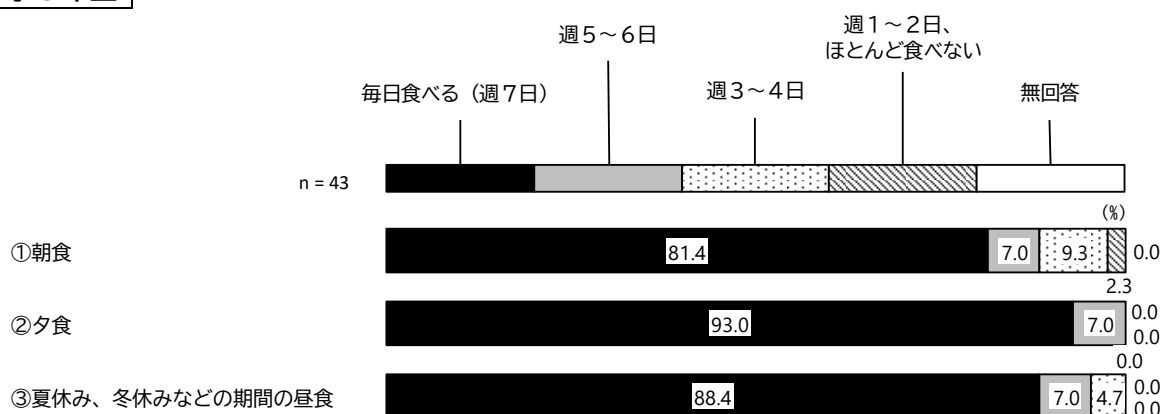
- ▶ 食事の頻度について、全体ではすべての項目で「毎日食べる（週7日）」が8割を超えており、特に『②夕食』では95.4%と最も高くなっている。一方、「毎日食べる（週7日）」以外の項目を合わせた『毎日食べない』は『①朝食』が17.2%と最も高くなっている。小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向だが、中学2年生では『③夏休みや冬休みなどの期間の昼食』で『毎日食べない』が15.9%と、小学5年生（11.7%）に比べて、4.2ポイント高くなっている。

問 16 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。（それぞれ○は1つ）

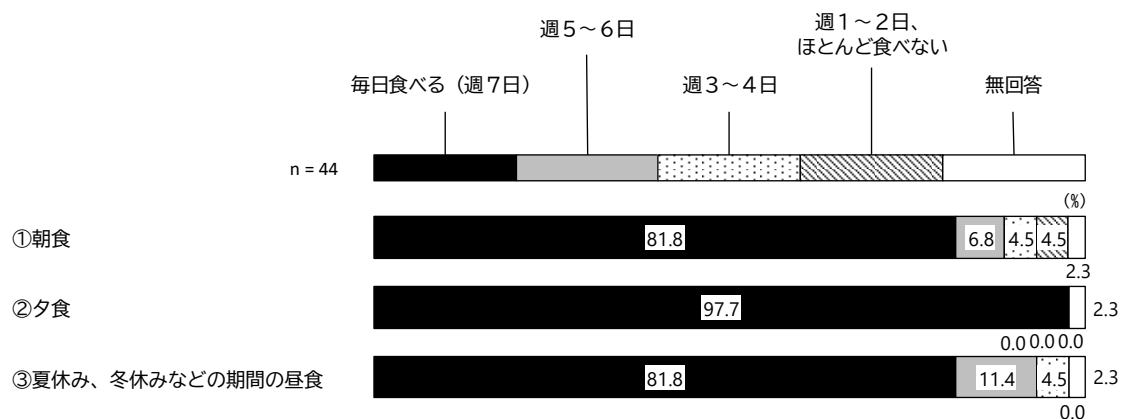
全体



小学5年生



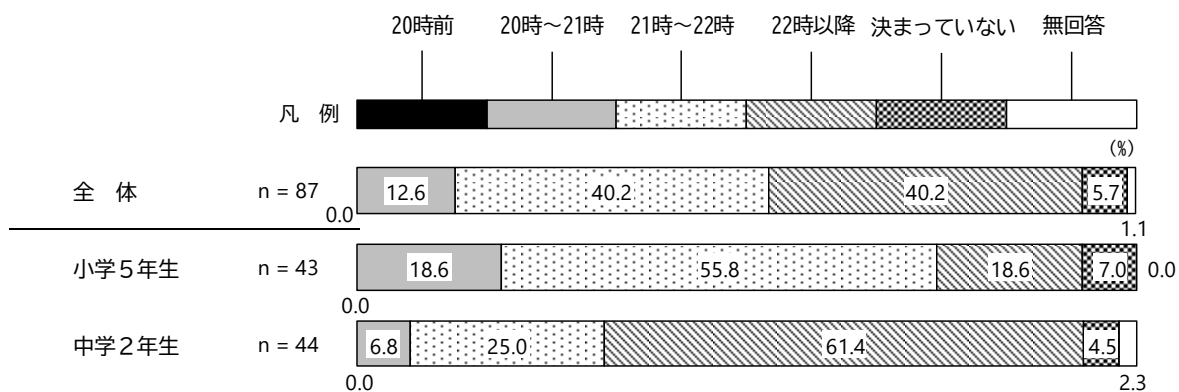
中学2年生



（2）就寝時間

- ▶ 就寝時間について、全体では「21 時～22 時」、「22 時以降」がともに 40.2%となっており、小学5年生では「21 時～22 時」（55.8%）、中学2年生では「22 時以降」（61.4%）が最も高くなっている。

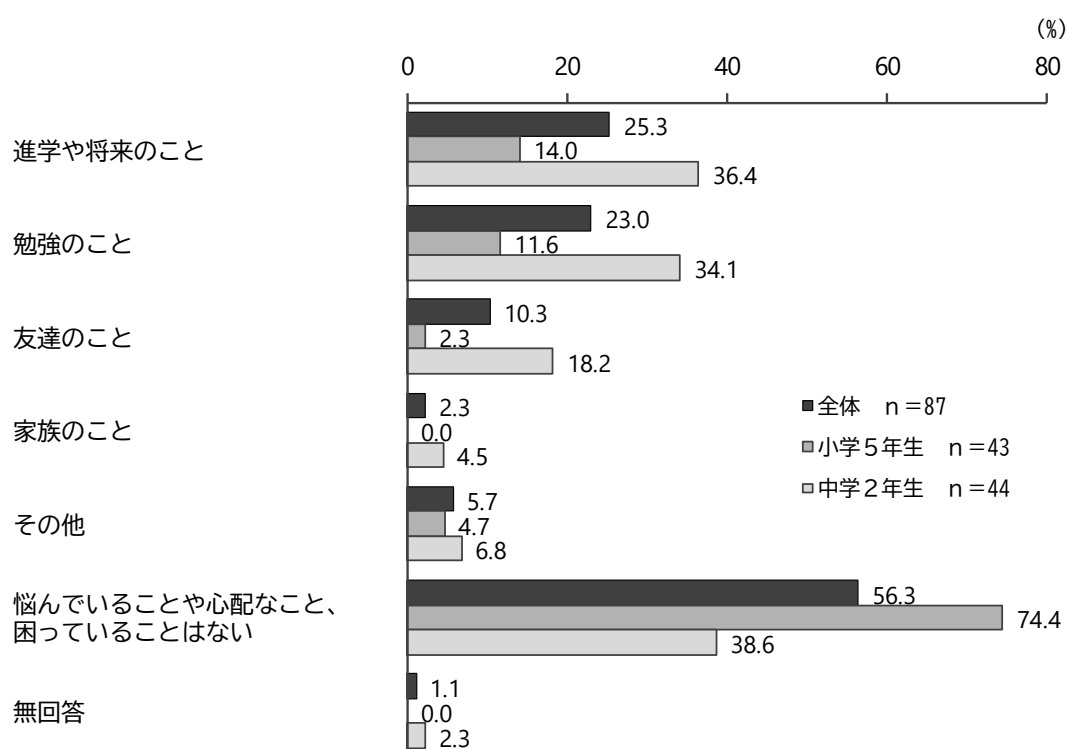
問 17 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、何時に寝ていますか。(○は1つ)



（３）悩んでいることや心配なこと

- ▶ 悩んでいることや心配なことについて、全体では「悩んでいることや心配なこと、困っていることはない」が約６割を占めているものの、「進学や将来のこと」が25.3%と最も高く、次いで「勉強のこと」（23.0%）、「友達のこと」（10.3%）となっている。小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっているが、中学2年生では小学5年生に比べて「勉強のこと」（34.1%）が22.5ポイント、「進学や将来のこと」（36.4%）が22.4ポイント高くなっている。

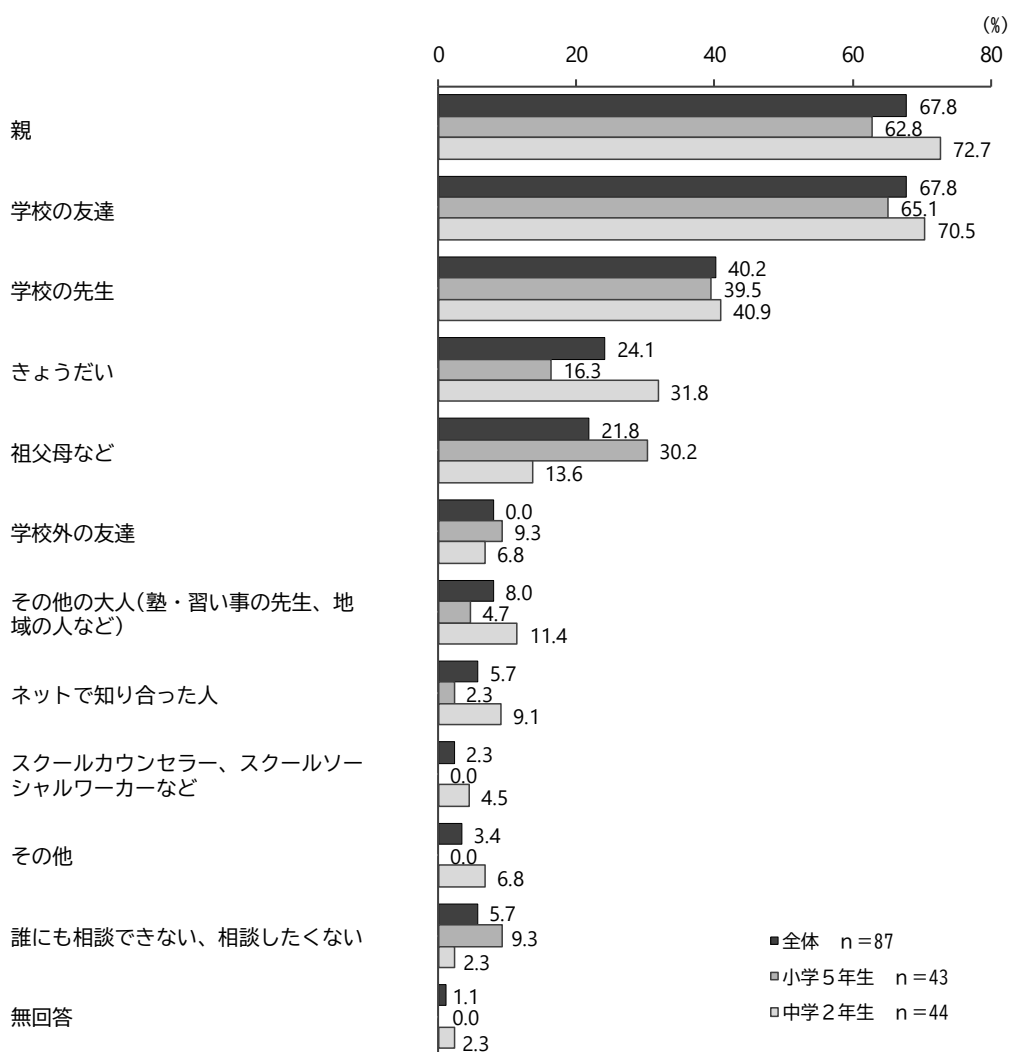
問 18 今悩んでいることや心配なこと、困っていること、誰かに相談したいことがありますか。
（○はいくいつでも）



（４）相談できる人

- ▶ 相談できる人について、全体では「親」、「学校の友達」がともに 67.8%と高く、次いで「学校の先生」（40.2%）、「きょうだい」（24.1%）となっている。小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっているが、小学5年生では「誰にも相談できない、相談したくない」が 9.3%と、中学2年生（2.3%）に比べて 7 ポイント高くなっている。

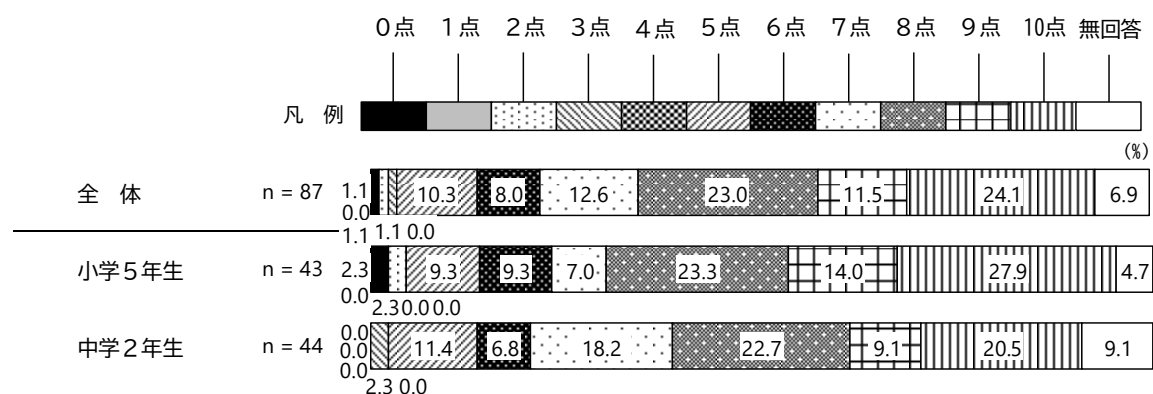
問 19 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人は誰ですか。
（○はいくつでも）



（５）生活への満足度

- ▶ 生活への満足度について、全体では「10点」が24.1%と最も高く、次いで「8点」（23.0%）、「7点」（12.6%）となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっている。

問 20 あなたは、あなたの生活にどのくらい満足していますか。（○は1つ）

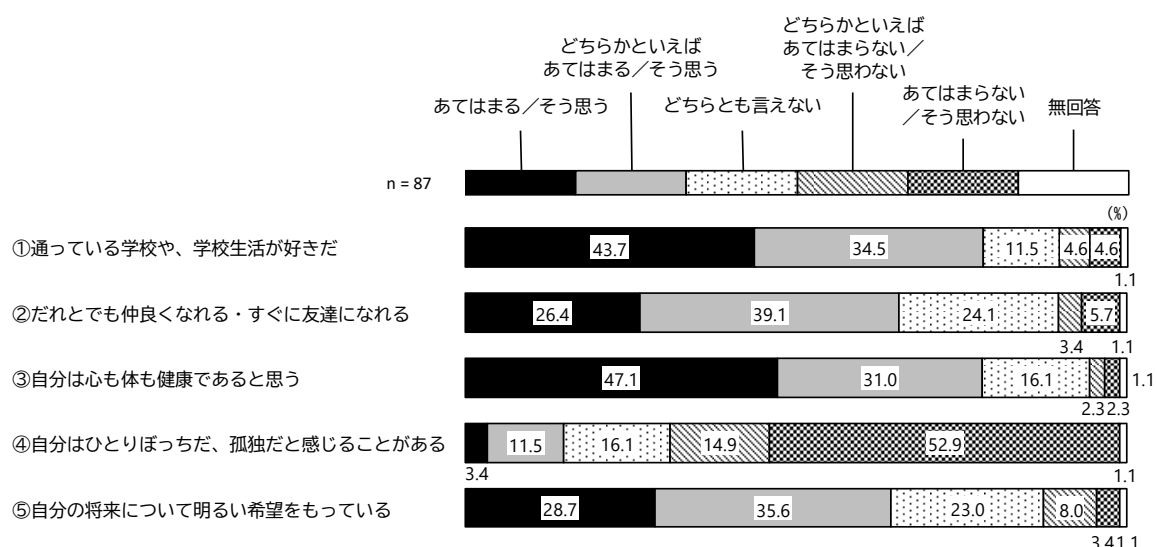


（6）自身について

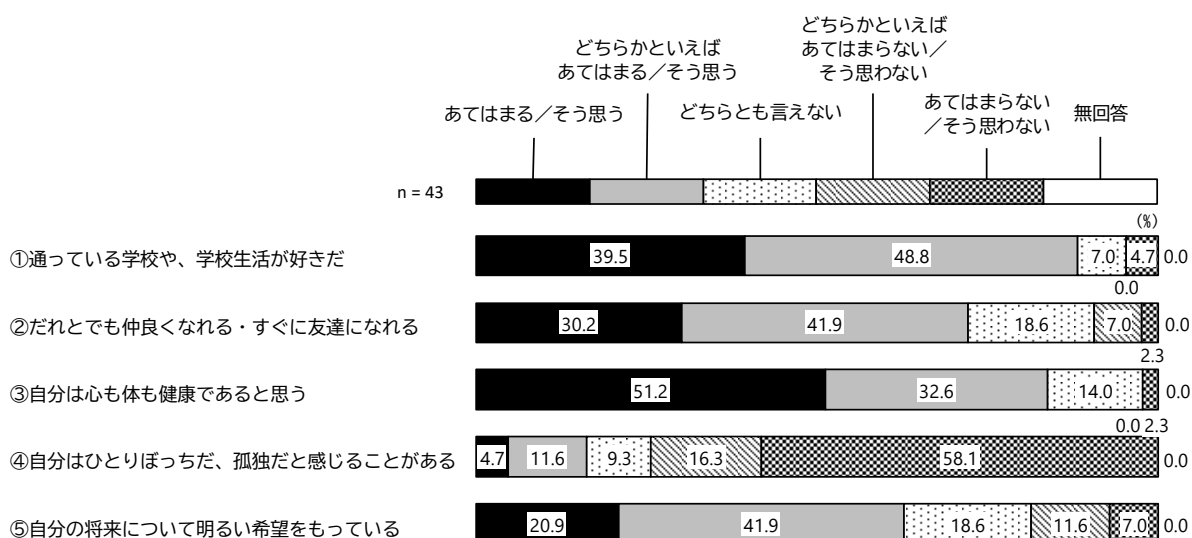
- ▶ 自身について、全体では④以外の項目で「あてはまる／そう思う」と「どちらかといえばあてはまる／そう思う」を合わせた《あてはまる／そう思う》が6割を上回っており、特に『①通っている学校や、学校生活が好きだ』では78.2%と最も高くなっている。小学5年生では『⑤自分の将来について明るい希望をもっている』で、「あてはまらない／そう思わない」と「どちらかといえばあてはまらない／そう思わない」を合わせた《あてはまらない／そう思わない》が約2割と、中学2年生（4.5%）に比べて14.1ポイント高くなっている。

問 21 あなた自身について、次のことはどのくらいあてはまりますか。（それぞれ○は1つ）

全体

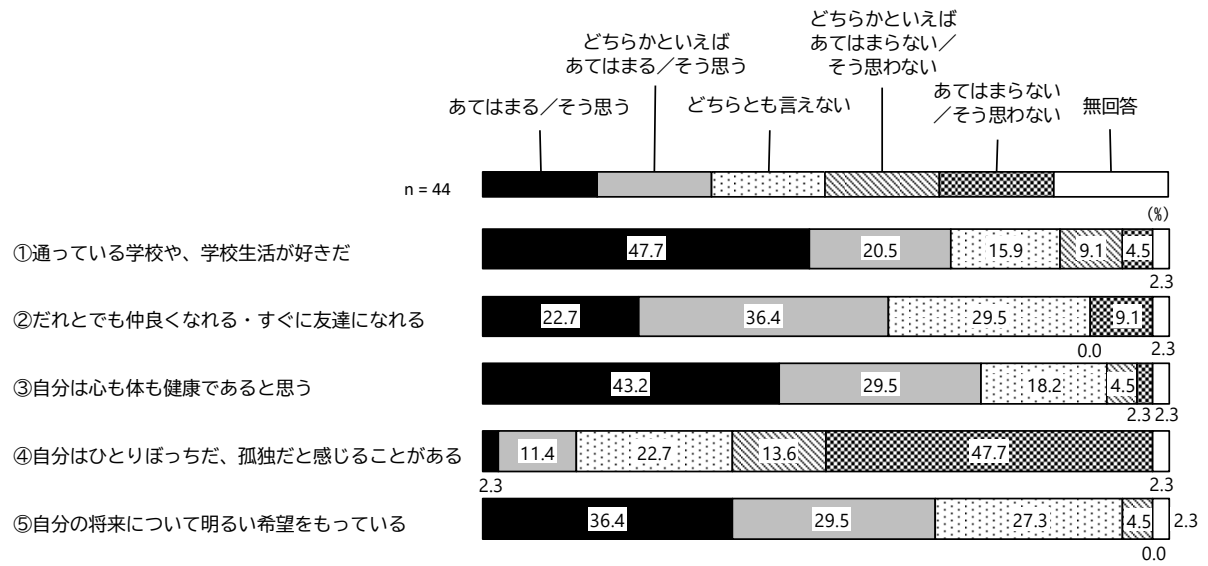


小学5年生



Ⅲ 調査結果（小中学生アンケート調査 小学5年生・中学2年生向け）

中学2年生

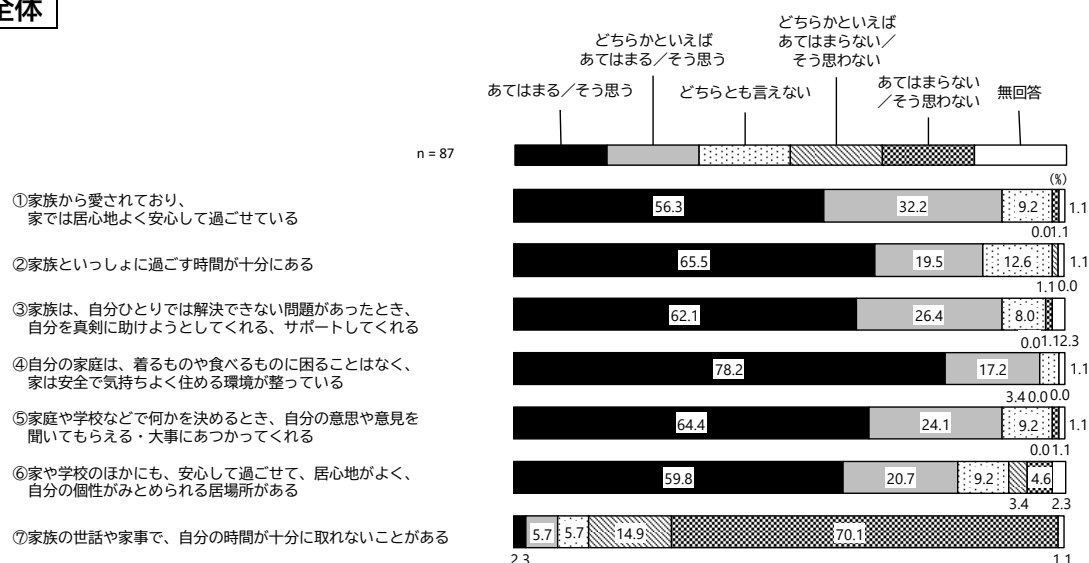


（7）今の状況について

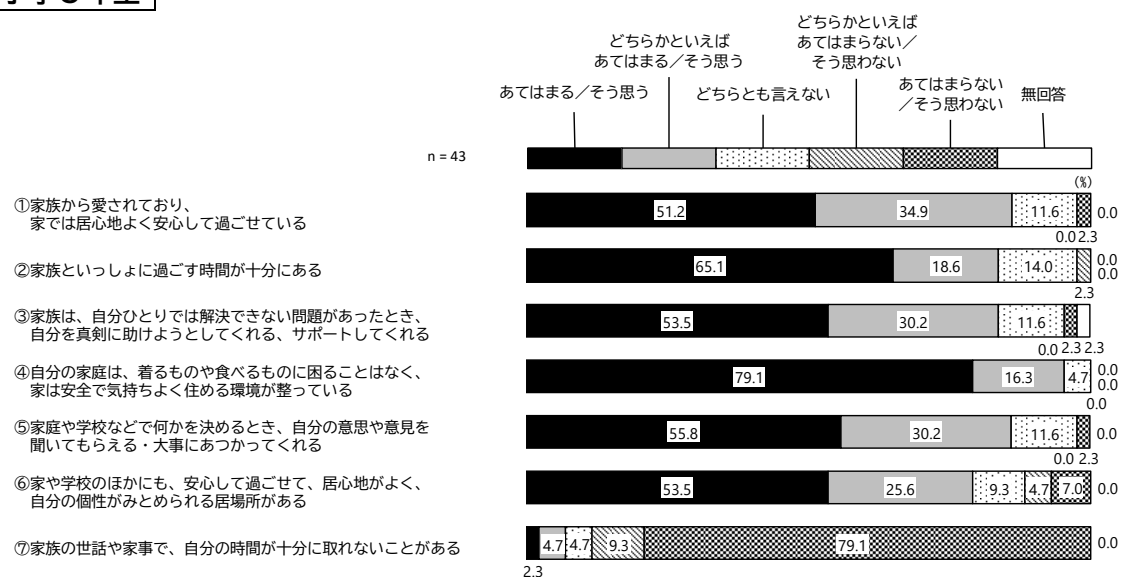
- ▶ 今の状況について、全体では⑦以外の項目で「あてはまる／そう思う」と「どちらかといえばあてはまる／そう思う」を合わせた《あてはまる／そう思う》が8割を上回っており、特に『④自分の家庭は、着るものや食べるものに困ることなく、家は安全で気持ちよく住める環境が整っている』では95.4%と最も高くなっている。小学5年生では『⑥家や学校のほかにも、安心して過ごせて、居心地がよく、自分の個性が認められる居場所がある』では、「あてはまらない／そう思わない」と「どちらかといえばあてはまらない／そう思わない」を合わせた《あてはまらない／そう思わない》が1割以上と、中学2年生（4.6%）に比べて7.1ポイント高くなっている。

問22 あなたの今の状況について、次のことはどのくらいあてはまりますか。（それぞれ〇は1つ）

全体

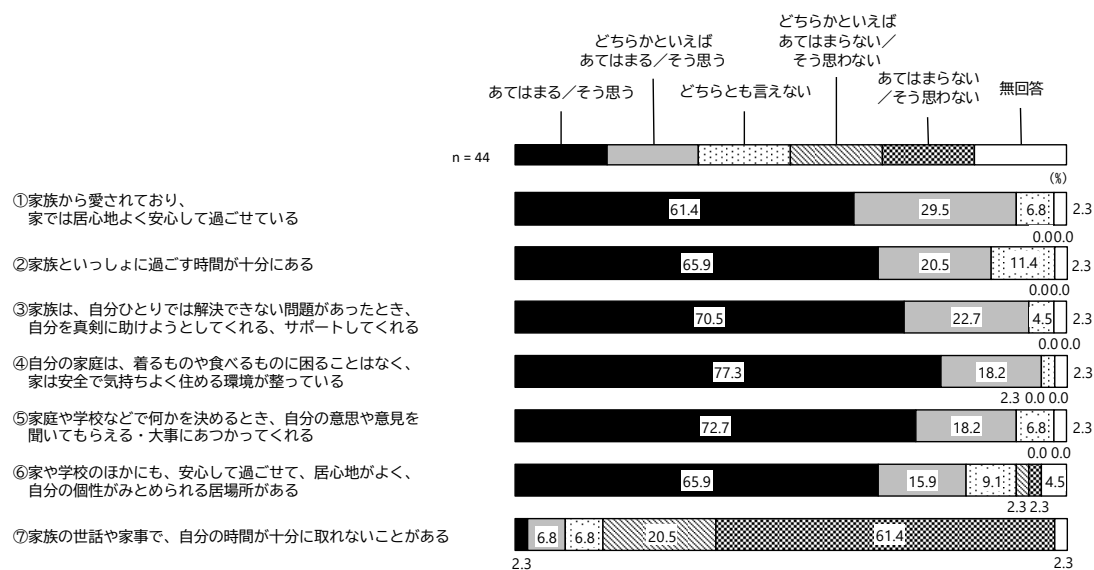


小学5年生



Ⅲ 調査結果（小中学生アンケート調査 小学5年生・中学2年生向け）

中学2年生



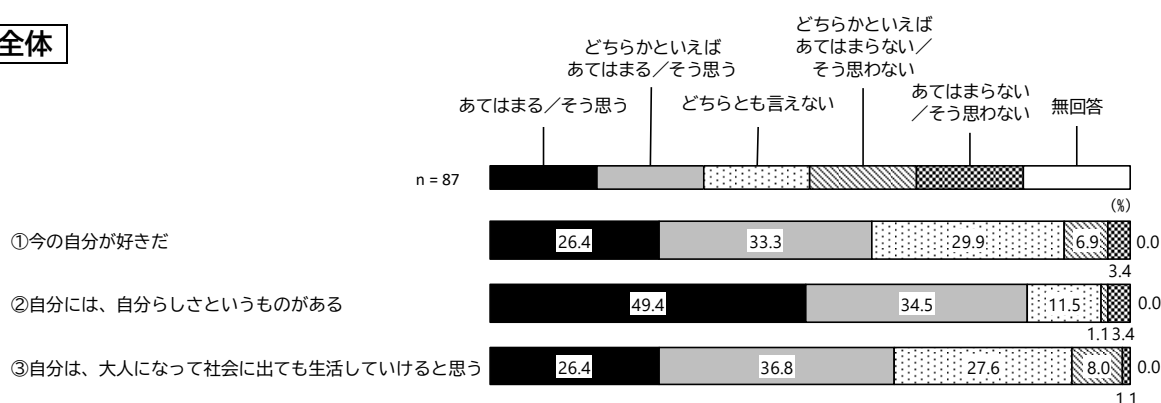
（８）自身の実感について

- ▶ 自身の実感について、全体ではすべての項目で「あてはまる／そう思う」と「どちらかといえばあてはまる／そう思う」を合わせた《あてはまる／そう思う》が約 6 割となっており、特に『②自分には、自分らしさというものがある』では 83.9%と最も高くなっている。小学 5 年生では『③自分は、大人になって社会にでて生活していけると思う』では、「あてはまらない／そう思わない」と「どちらかといえばあてはまらない／そう思わない」を合わせた《あてはまらない／そう思わない》が 13.9%と、中学 2 年生（4.5%）に比べて 9.4 ポイント高くなっている。

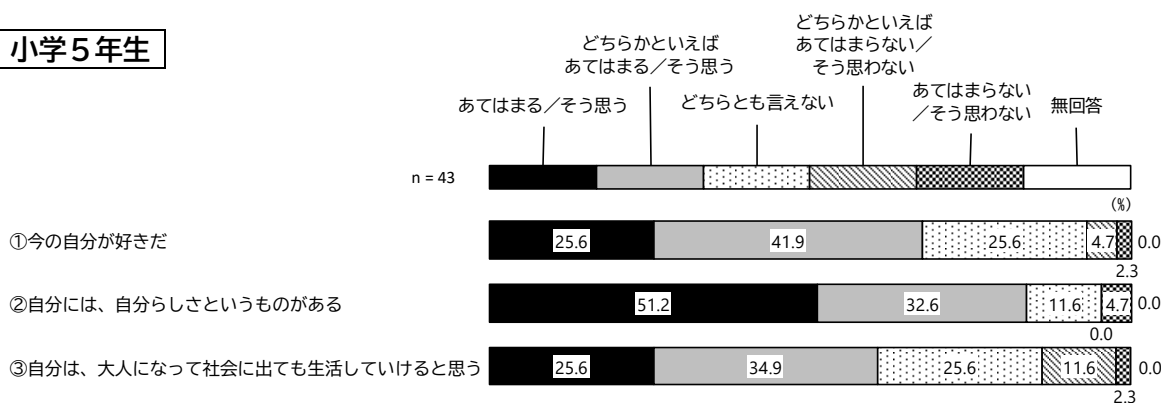
問 23 次のことについて、あなたの実感として、どのくらいあてはまりますか。

（それぞれ○は1つ）

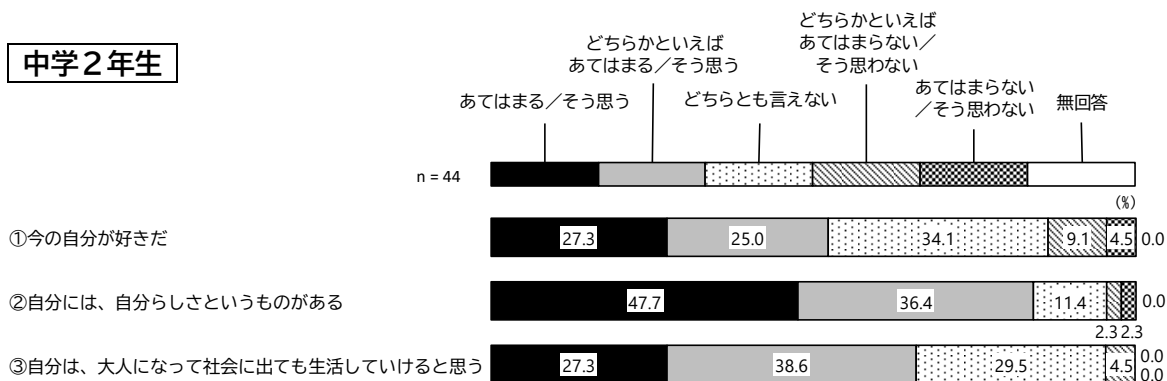
全体



小学5年生



中学2年生

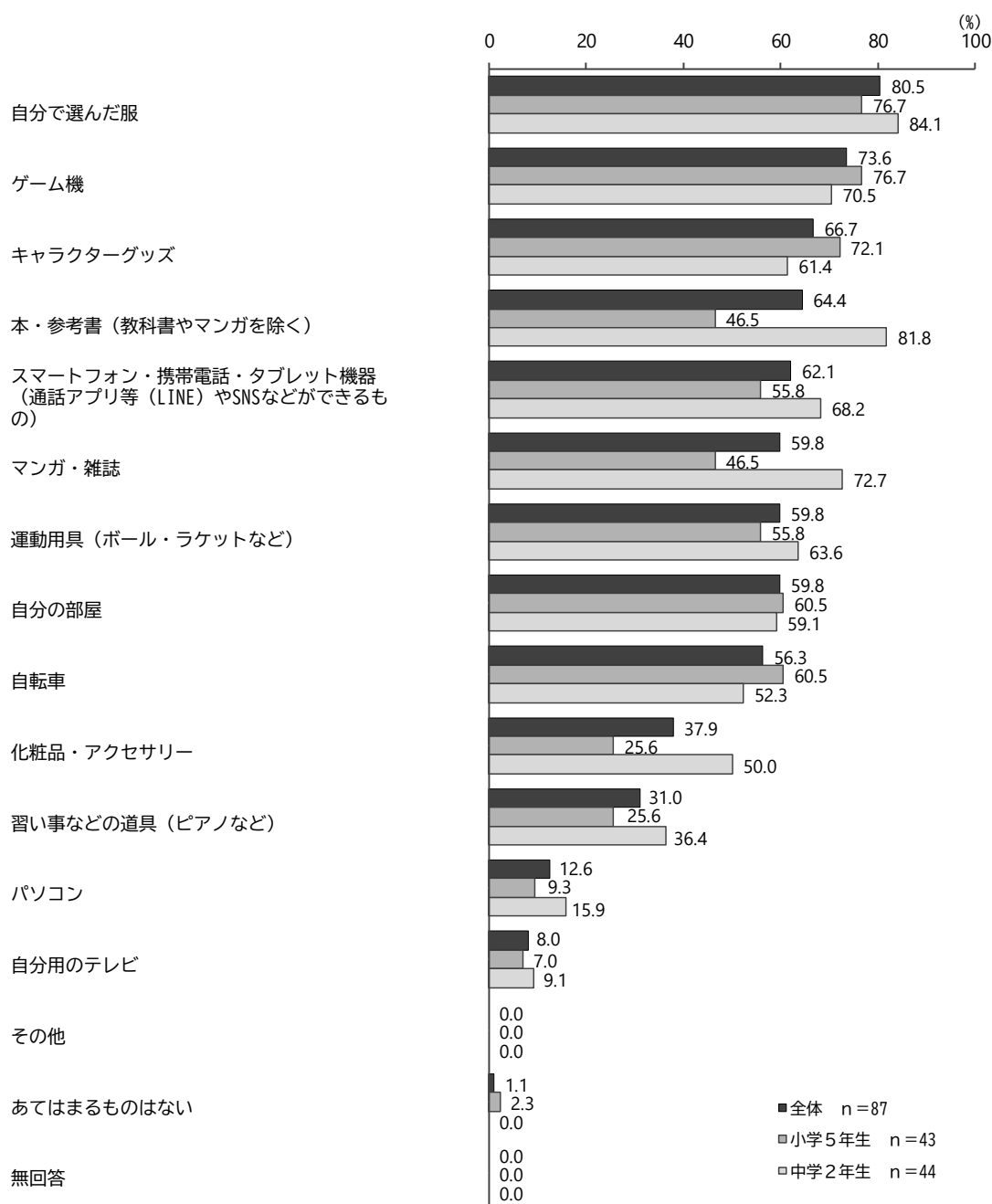


（９）持っているものや、自由に使うことができるもの

- ▶ 持っているものや、自由に使うことができるものについて、全体では「自分で選んだ服」が80.5%と最も高く、次いで「ゲーム機」（73.6%）、「キャラクターグッズ」（66.7%）となっている。小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっている。

問 24 あなた持っているものや、あなたが自由に使うことができるものを選んでください。

（○はいくつでも）

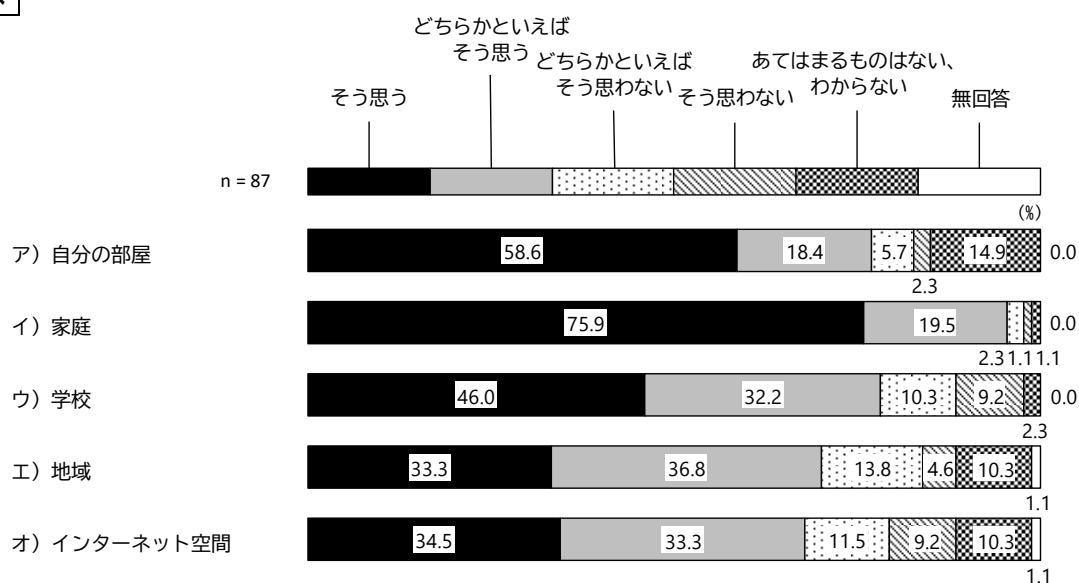


（10）居場所の状況について

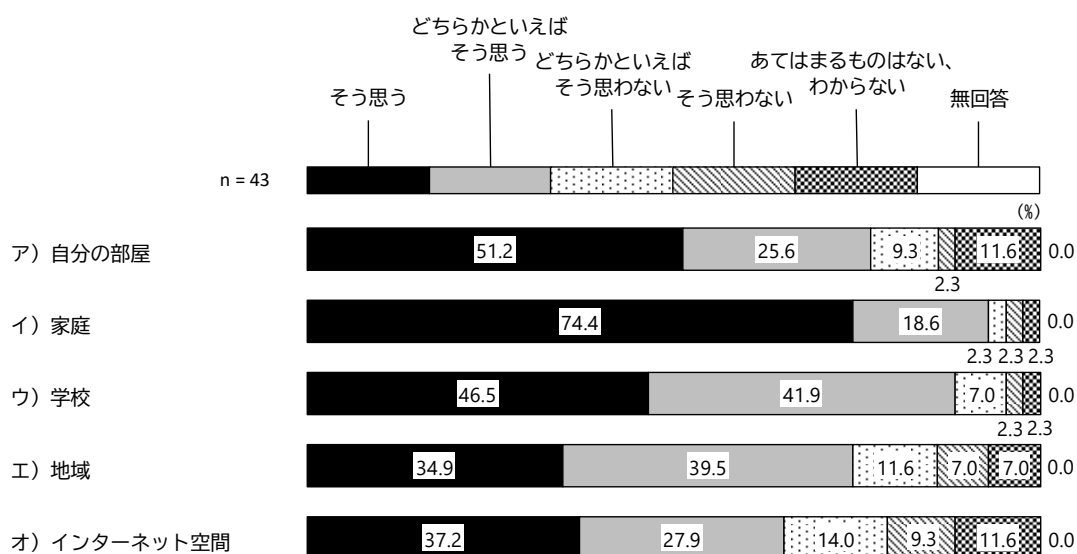
- ▶ 居場所の状況について、全体ではすべての項目で「あてはまる／そう思う」と「どちらかといえばあてはまる／そう思う」を合わせた《あてはまる／そう思う》が6割以上となっており、特に『イ）家庭』では95.4%と最も高くなっている。中学2年生では『ウ）学校』で、「あてはまらない／そう思わない」と「どちらかといえばあてはまらない／そう思わない」を合わせた《あてはまらない／そう思わない》が約3割と、小学5年生（9.3%）に比べて20.2ポイント高くなっている。

問 25 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地のいい場所など）なっていますか。（それぞれ○は1つ）

全体

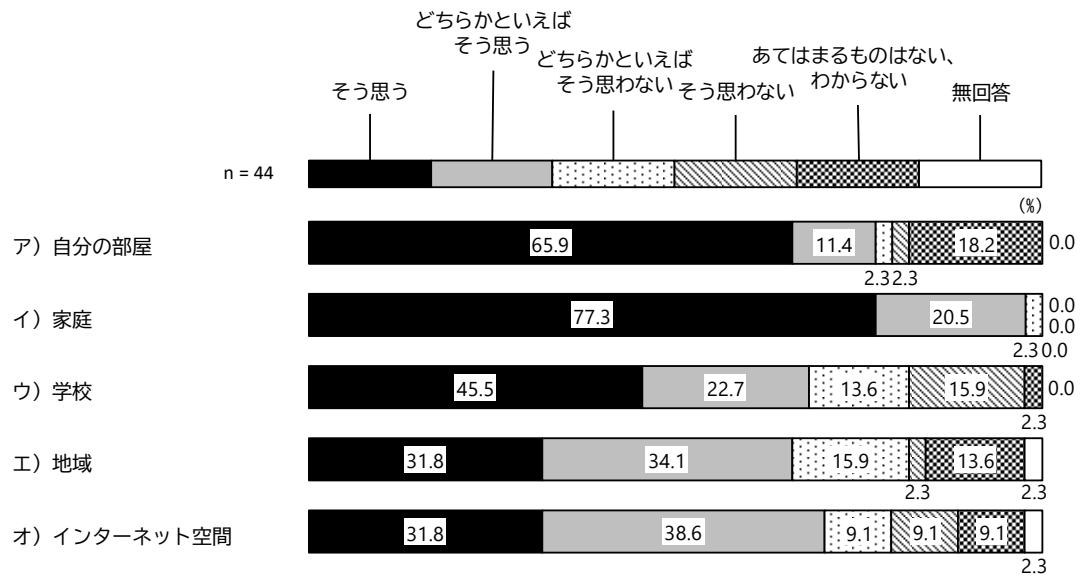


小学5年生



Ⅲ 調査結果（小中学生アンケート調査 小学5年生・中学2年生向け）

中学2年生



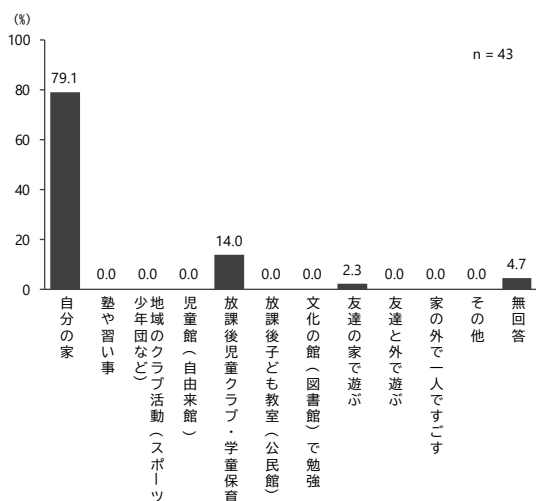
（11）放課後の過ごし方

- ▶ 放課後の過ごし方について、小学5年生では【1番目】は「自分の家」が79.1%と最も高く、次いで【2番目】は「塾や習い事」（16.3%）、【3番目】は「友達と外で遊ぶ」（14.0%）となっており、中学2年生では【1番目】は「部活動」が56.8%と最も高く、次いで【2番目】は「自分の家」（63.6%）、【3番目】は「塾や習い事」（22.7%）となっている。

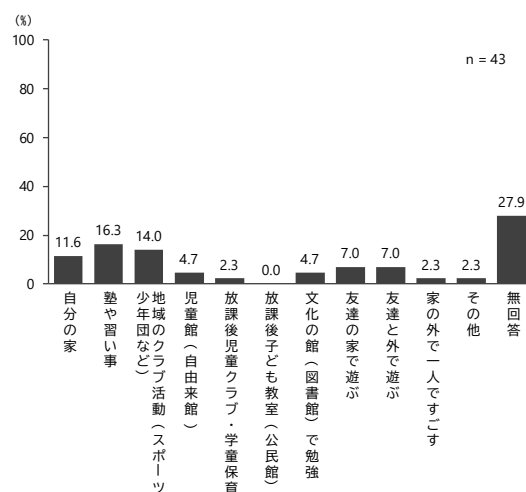
問 26 学校が終わったあと、どのように過ごすことが多いですか。（多い順に3つまで番号を記入）

小学5年生

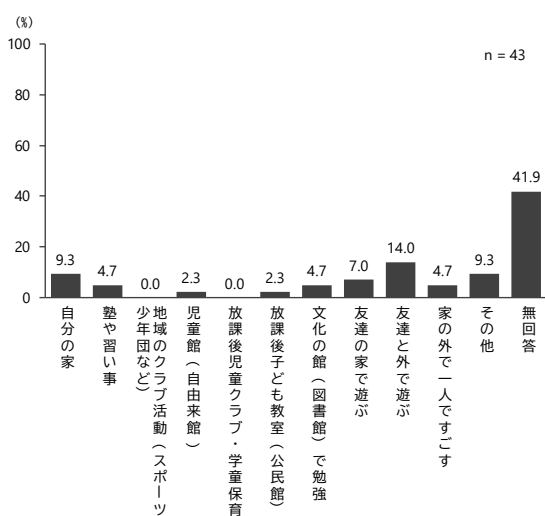
< 1 番目 >



< 2 番目 >



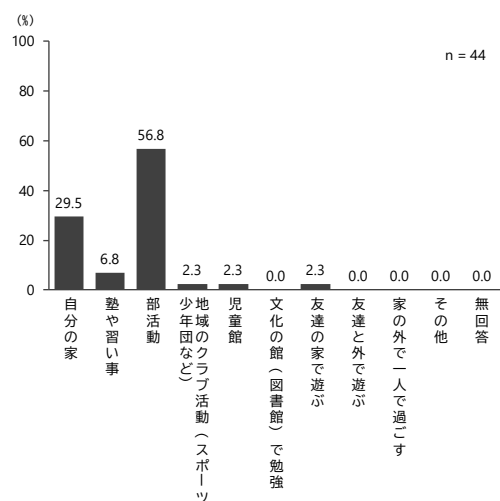
< 3 番目 >



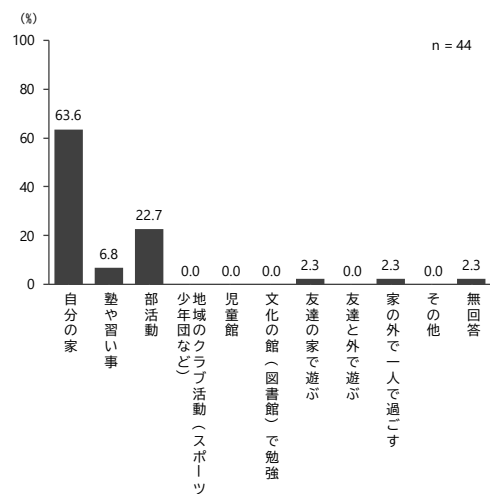
Ⅲ 調査結果（小中学生アンケート調査 小学5年生・中学2年生向け）

中学2年生

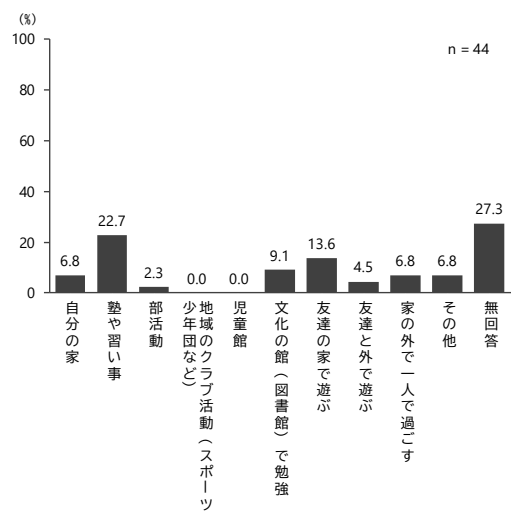
< 1 番目 >



< 2 番目 >



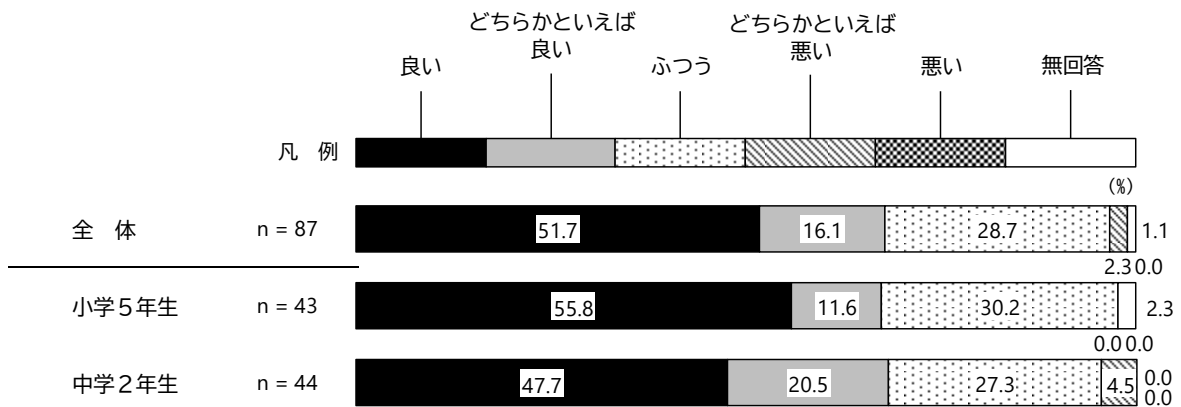
< 3 番目 >



（12）健康状態について

- ▶ 健康状態について、全体では「良い」と「どちらかといえばよい」を合わせた《良い》が 67.8%と約 7 割となっており、小学 5 年生、中学 2 年生ともに概ね同様の傾向となっている。

問 27 あなたの健康状態はどうですか。（○は 1 つ）



7 様々な支援の利用状況について

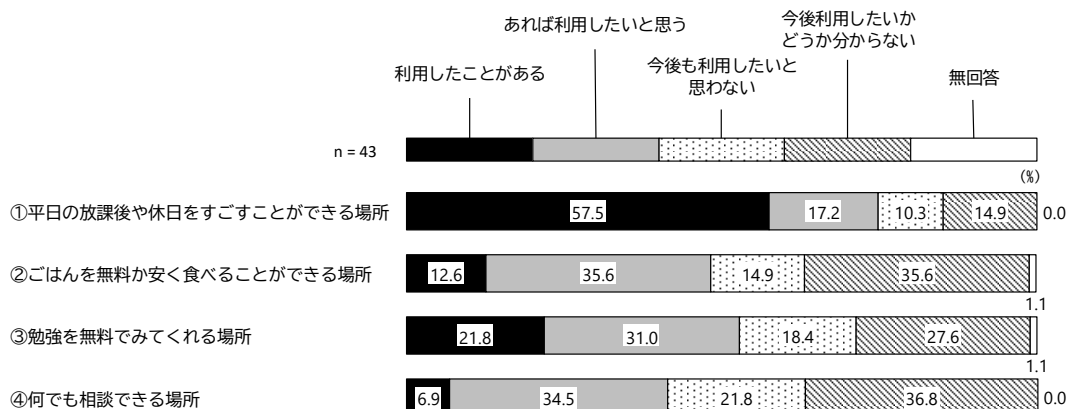
（1）各種支援の利用経験・利用希望

- ▶ 各種支援の利用経験・利用希望について、全体では概ねの項目で、「あれば利用したいと思う」、「今後も利用したいと思わない」、「今後利用したいかどうか分からない」を合わせた《利用したことがない》が7割以上と高くなっている一方で、『①平日の放課後や休日を過ごすことができる場所』は「利用したことがある」が57.5%と高くなっている。中学2年生では概ね同様の傾向となっているが、小学5年生では『②ごはんを無料か安く食べることができる場所』が16.3%と中学2年生（9.1%）に比べ7.2ポイント高くなっている。

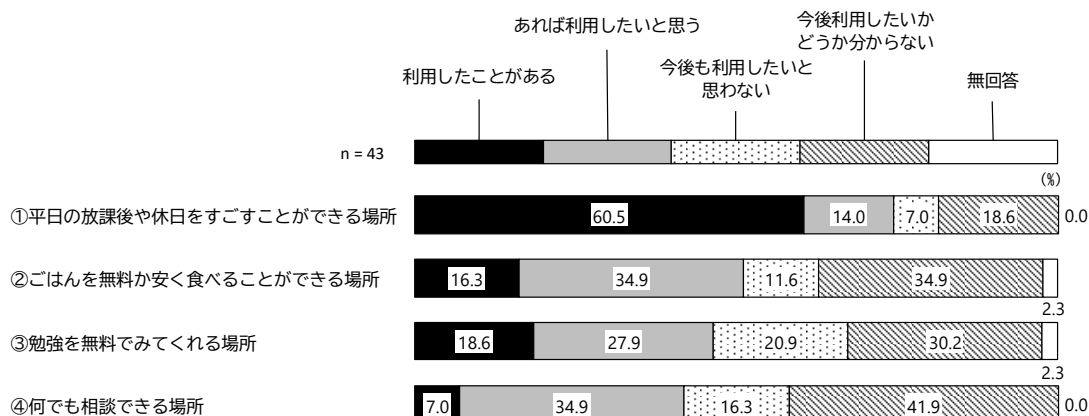
問 28 あなたは、次の①～④のような場所を利用したことがありますか。

また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。（それぞれ○は1つ）

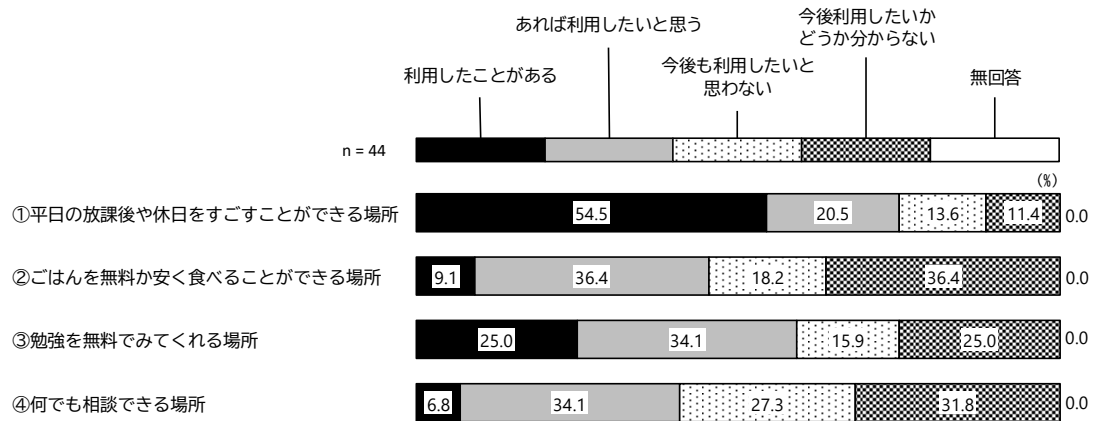
全体



小学5年生



中学2年生

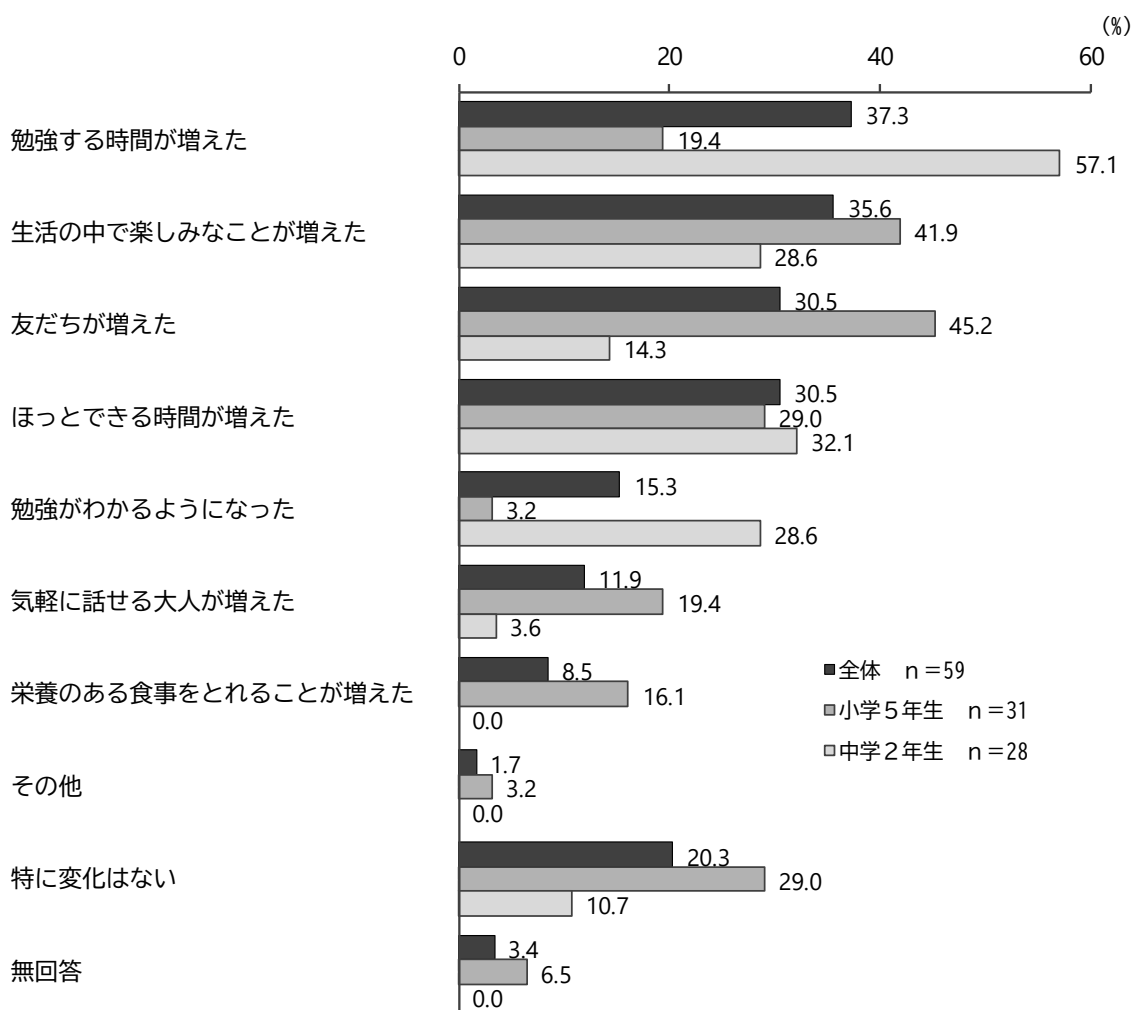


（２）各種支援利用後の変化について

- ▶ 各種支援利用後の変化について、全体では「勉強する時間が増えた」が 37.3%と最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」（35.6%）、「友達が増えた」、「ほっとできる時間が増えた」（ともに 30.5%）となっている。小学5年生では「友達が増えた」が 45.2%となっており、中学2年生（14.3%）に比べて 30.9 ポイント高くなっている。

【問 28 で1 つでも「利用したことがある」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 29 そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。（あてはまるものすべてに○）

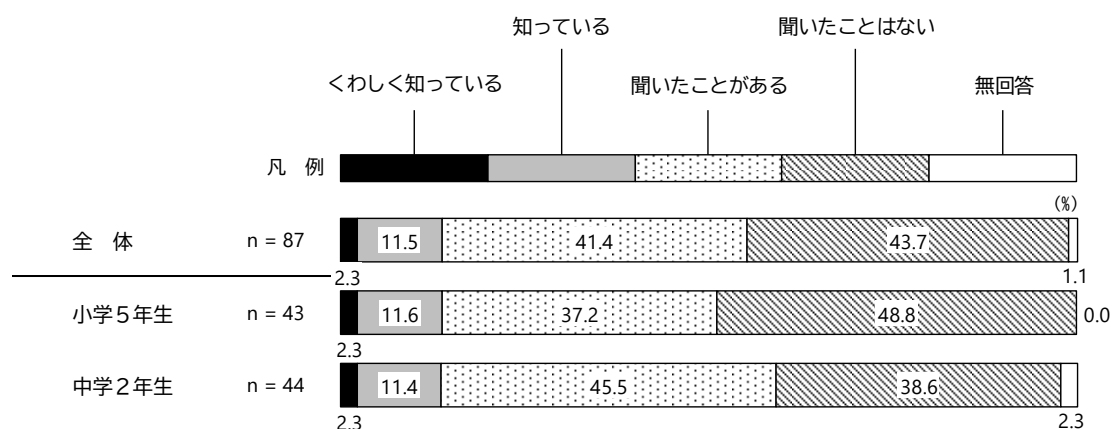


8 こどもの権利について

（１）「こどもの権利」の認知度

- ▶ 「こどもの権利」の認知度について、全体では「くわしく知っている」と「知っている」を合わせた《知っている》は13.8%となっており、小学5年生、中学2年生ともに概ね同様の傾向となっている。

問 30 あなたは「こどもの権利」について聞いたことがありますか。（○は1つ）

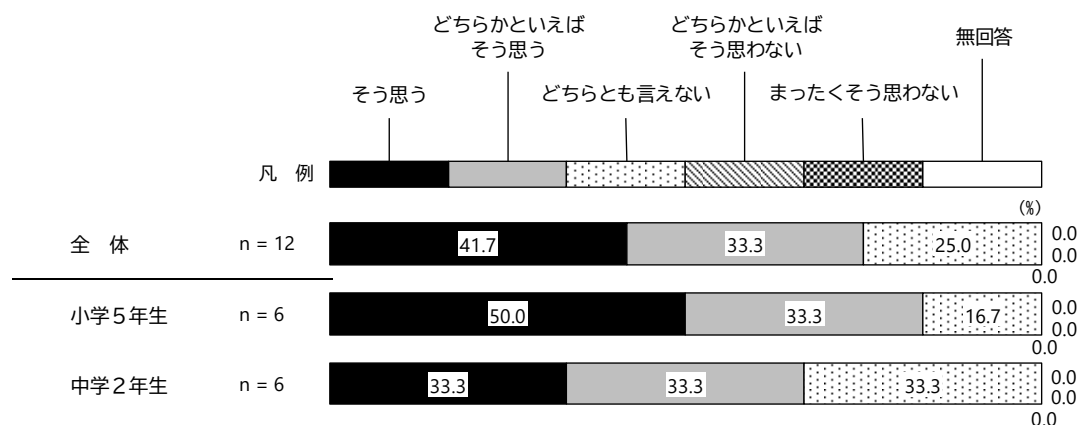


（２）自身の「こどもの権利」は守られているか

- ▶ 自身の「こどもの権利」は守られているかについて、全体では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた《そう思う》が7割以上となっている。小学5年生では《そう思う》が83.3%と8割以上を占めており、中学2年生（66.6%）に比べ、16.7ポイント高くなっている。

【問 30 で「1 くわしく知っている」「2 知っている」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 31 現在、あなたの「こどもの権利」について聞いたことがありますか。（○は1つ）



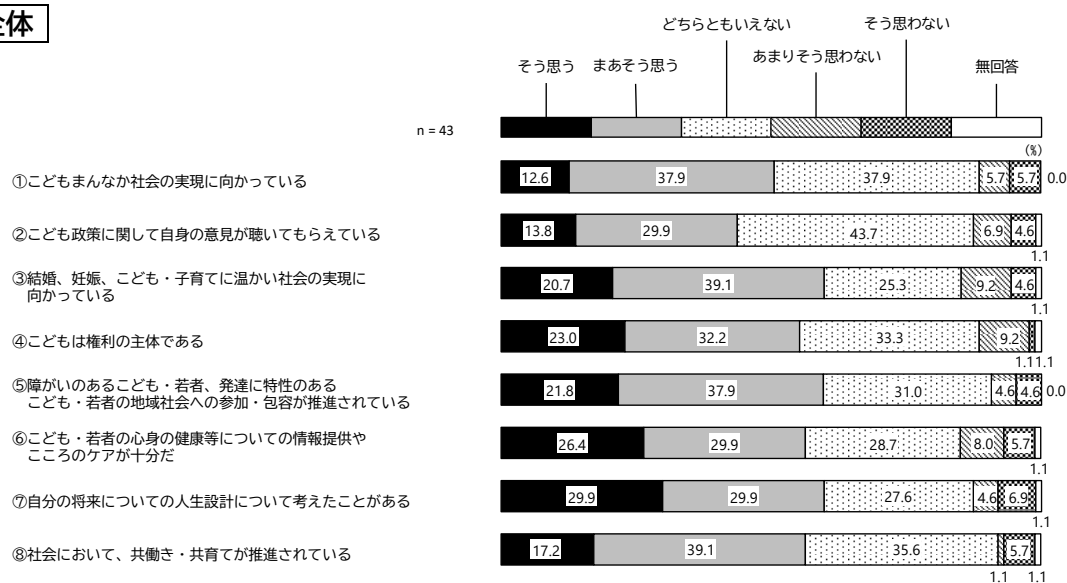
9 こどもまんなか社会について

（１）こどもまんなか社会についてどのように思うか

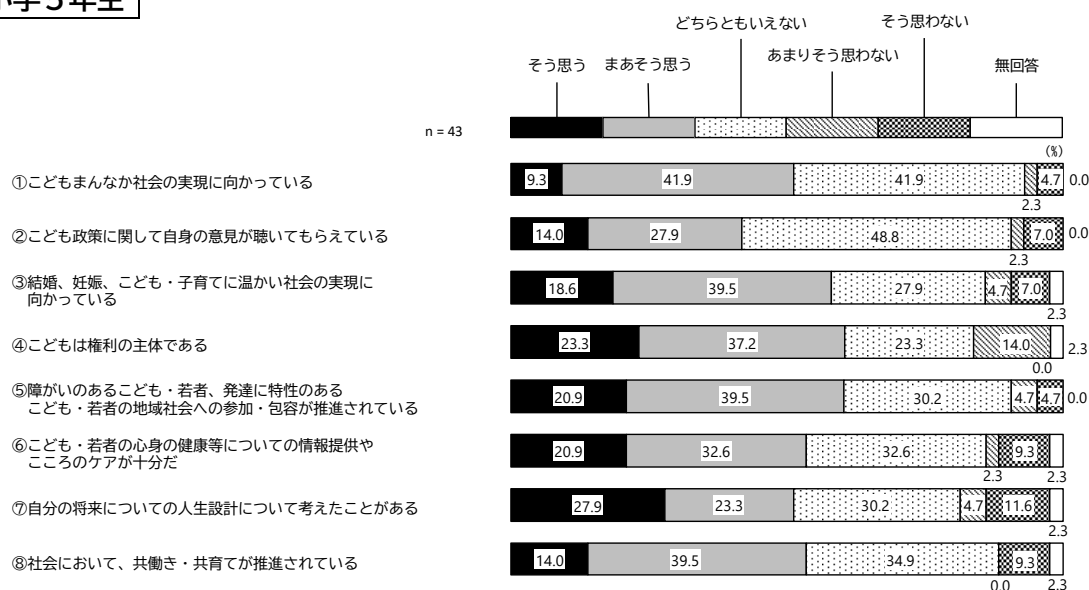
▶ こどもまんなか社会についてどのように思うかは、全体では概ねの項目で、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた《そう思う》が５割以上となっており、特に『③結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会の実現に向かっている』、『⑤障がいのあるこども・若者、発達に特性のあるこども・若者の地域社会への参加・包容が推進されている』、『⑦自分の将来についての人生設計について考えたことがある』で約６割と高くなっている。小学５年生、中学２年生ともに概ね同様の傾向となっている。

問 32 あなたは以下について、どのように思いますか。（それぞれ○は１つ）

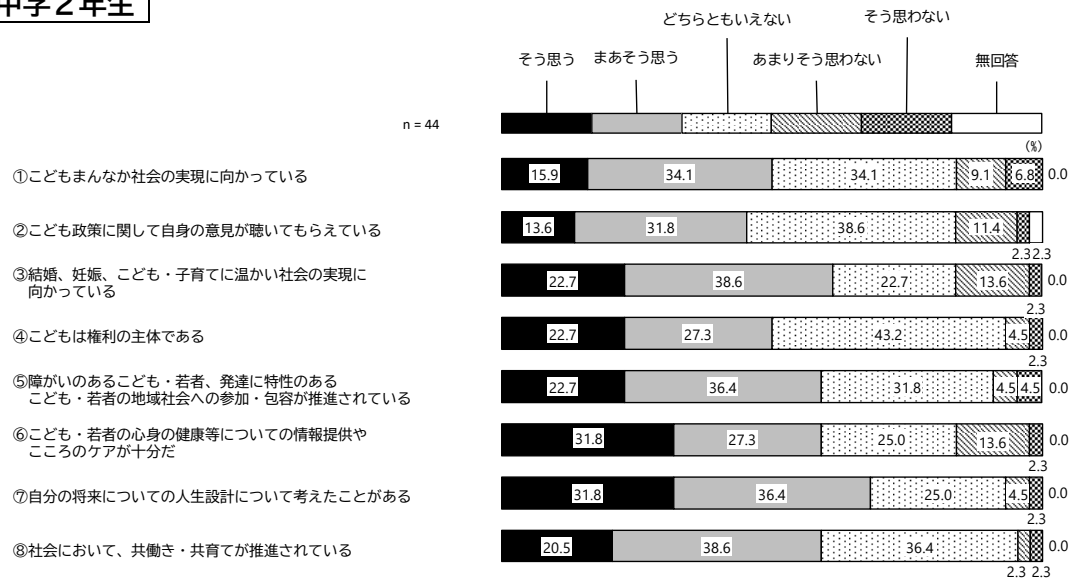
全体



小学5年生



中学2年生



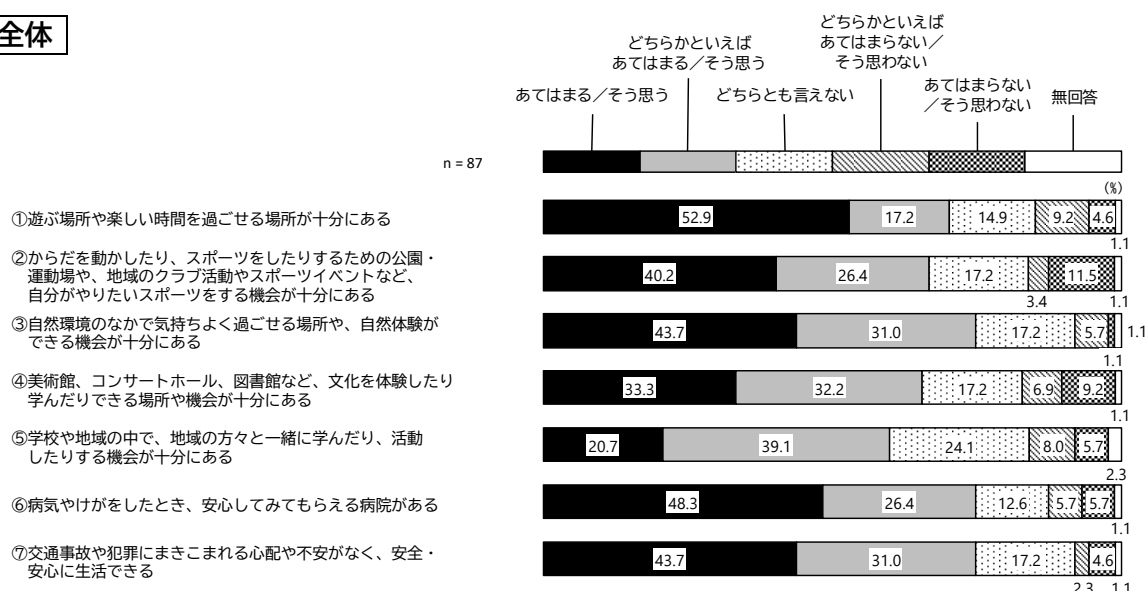
（２）居住地域の状況について

- ▶ 居住地域の状況について、全体では概ねの項目で、「あてはまる／そう思う」と「どちらかといえばあてはまる／そう思う」を合わせた《あてはまる／そう思う》が6割以上となっており、『③自然環境の中で気持ちよく過ごせる場所や、自然体験ができる機会が十分にある』、『⑥病気やけがをしたとき、安心してしてもらえる病院がある』、『⑦交通事故や犯罪にまきこまれる心配や不安がなく、安全・安心に生活できる』がいずれも74.7%と高くなっている。中学2年生では『⑦交通事故や犯罪にまきこまれる心配や不安がなく、安全・安心に生活できる』で《あてはまる／そう思う》が86.3%と小学5年生（62.8%）に比べ23.5ポイント高くなっている。

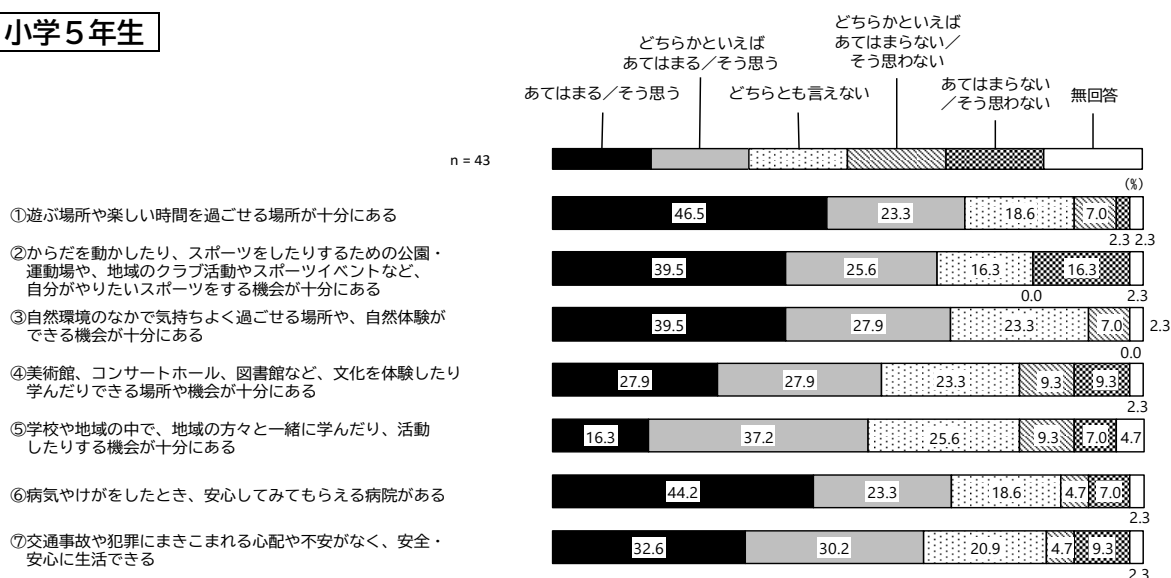
問33 あなたの暮らしている地域のことについて、次のことはどのくらいあてはまりますか。

（それぞれ○は1つ）

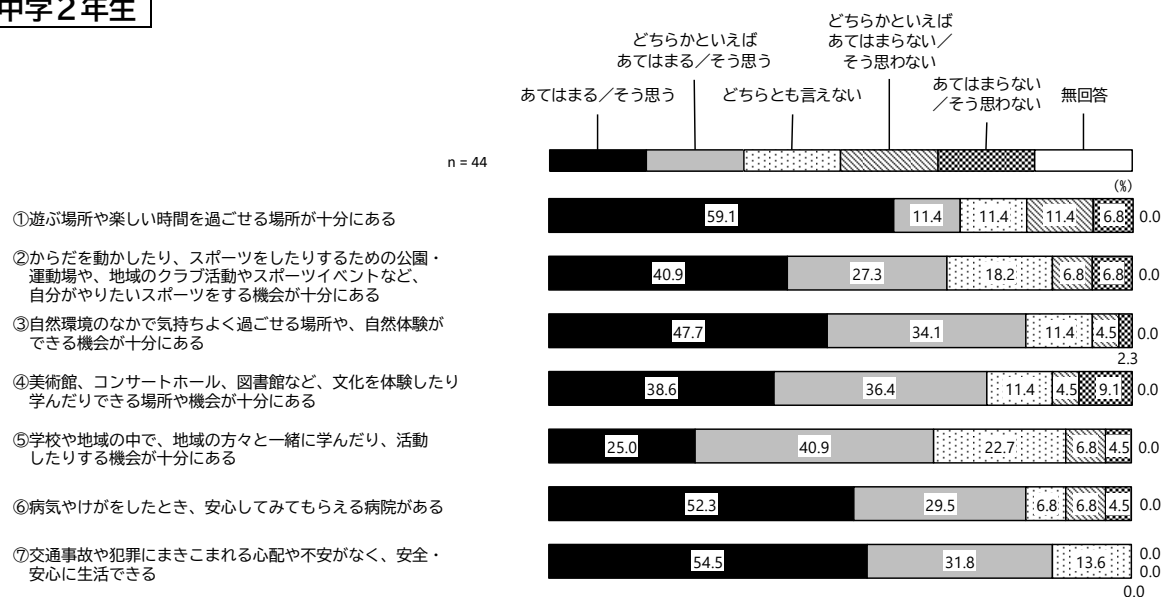
全体



小学5年生



中学2年生



（３）ふだん感じていること

- ▶ ふだん感じていることについて、全体では「生活環境に関すること」が6件と最も多く、次いで「学校生活に関すること」（4件）、「自分自身に関すること」、「アンケートに関すること」（ともに2件）となっている。

問 34 このアンケートでお聞きしたことについて、ふだん感じていることを、ご自由にお書きください。

順位	内容	全体	小学5年生保護者	中学2年生保護者
1	生活環境に関すること	6件	2件	4件
2	学校生活に関すること	4件	1件	3件
3	自分自身に関すること	2件	0件	2件
3	アンケートに関すること・感想	2件	0件	2件
4	友だちに関すること	1件	1件	0件

【自由意見（一部抜粋）】

1. 生活環境に関すること

- スポーツ専門の店や、バッティングセンターなどの、スポーツが気軽に出来る所があったらいいなと思います。
- 小さい子が集まりやすい施設がもっと増えてもいいと思う。ゴールデンウィークとか旅行でこれるように。

2. 学校生活に関すること

- 中学校の校庭が秋や冬になると5時45分くらいにはすごく暗く。部活のとき、ボールなどが見えなくてケガをしてしまう可能性がある。なので、明かりを校庭につけてほしい。

3. アンケートに関すること

- 小野町はめぐまれた町だと改めて思いました。

4. 友だちに関すること

- ふだん感じていることは、勉強などが分からない時に、助けてくれる親や友達がいること。学校で友達と仲良く過ごせていること、仲間外れか、暴力などいやがらせがないこと。

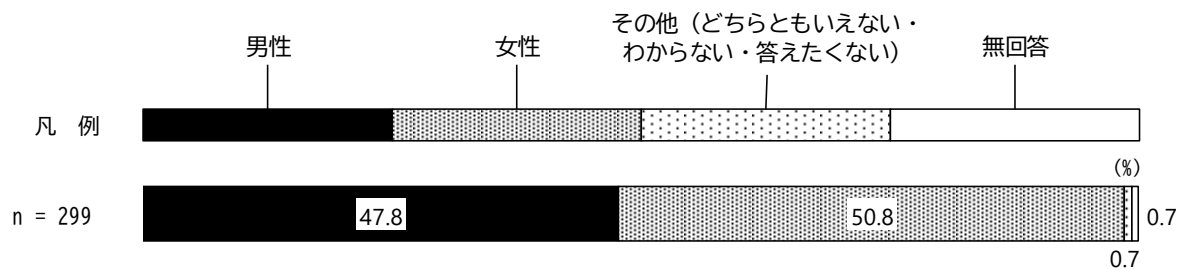
IV 調査結果（若者アンケート調査 18～39 歳向け）

1 あなた自身のことや家族の状況について

（１）性別

▶ 性別について、「男性」が 47.8%、「女性」が 50.8%となっている。

問１ あなたの性別をお答えください。（○は１つ）

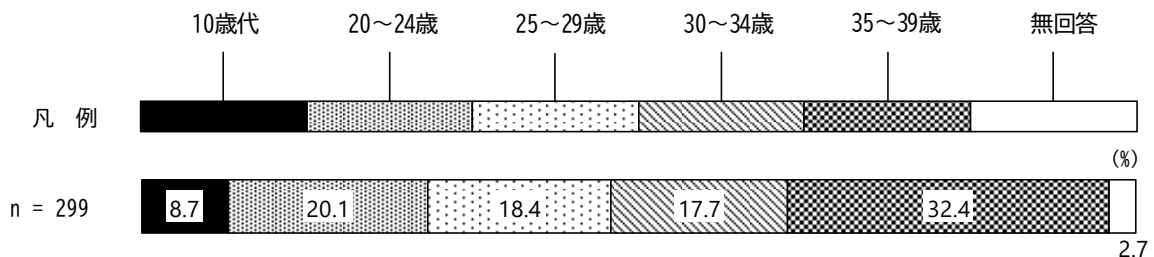


（２）年齢

▶ 年齢について、「35～39 歳」が 32.4%と最も高く、次いで「20～24 歳」（20.1%）、「25 歳～29 歳」（18.4%）となっている。

問２ あなたの年齢をお答えください。

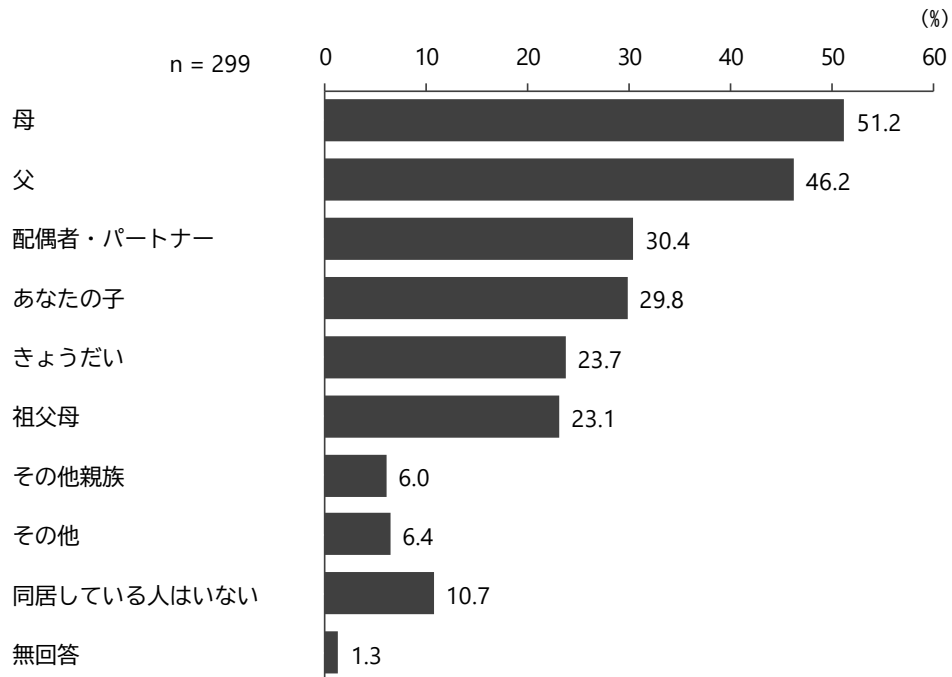
※令和 7 年 4 月 1 日現在の年齢をお答えください。（数字でご記入ください）



（３）同居している人

- ▶ 同居している人について、「母」が 51.2%と最も高く、次いで「父」（46.2%）、「配偶者・パートナー」（30.4%）となっている。

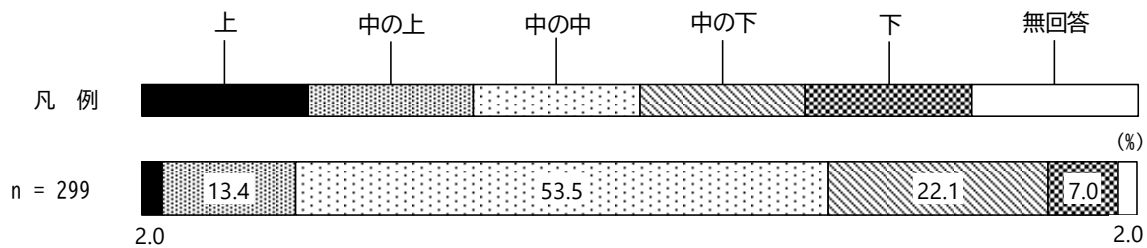
問３ 現在、あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。※里親や児童養護施設などで暮らしている方は、「８ その他」をお選びください。（○はいくつでも）



（４）暮らし向きについて

- ▶ 暮らし向きについては、「中の中」が 53.5%と最も高く、次いで「中の下」（22.1%）、「中の上」（13.4%）となっている。

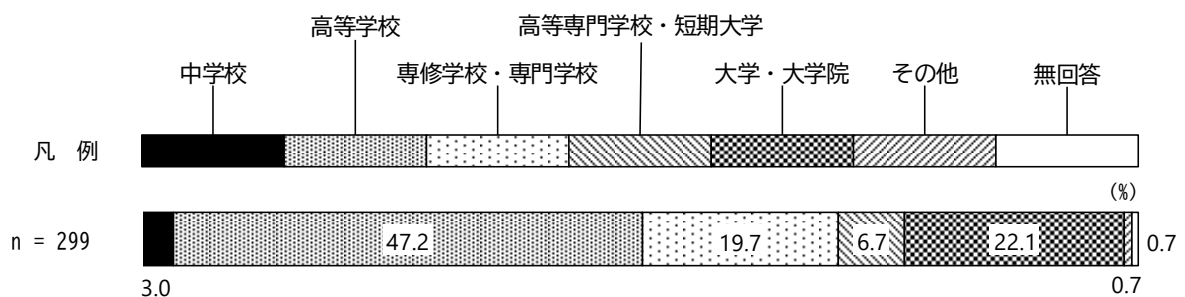
問４ あなたの暮らし向き（衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べてみて、上から下までのどれに当たると思いますか。あなたの実感でお答えください。（○は１つ）



（５）最終学歴・在学している学校

- ▶ 最終学歴・在学している学校については、「高等学校」が 47.2%と最も高く、次いで「大学・大学院」（22.1%）、「専修学校・専門学校」（19.7%）となっている。

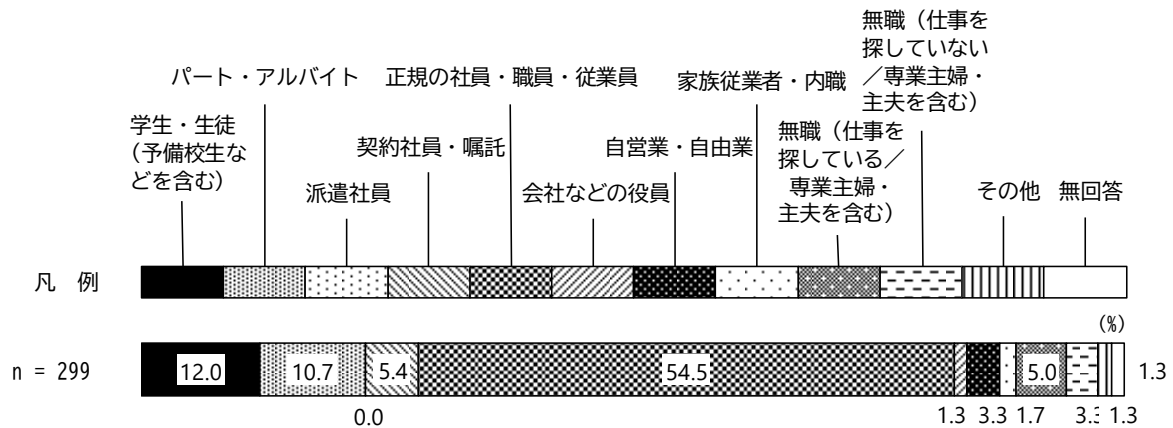
問５ あなたが最後に卒業（中退を含む）した学校はどこですか。
在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。（○は１つ）



（6）現在の職業

- ▶ 現在の職業については、「正規の社員・職員・従業員」が 54.5%と最も高く、次いで「学生・生徒（予備校生などを含む）」（12.0%）、「パート・アルバイト」（10.7%）となっている。

問6 あなたの現在の職業をお答えください。（○は1つ）

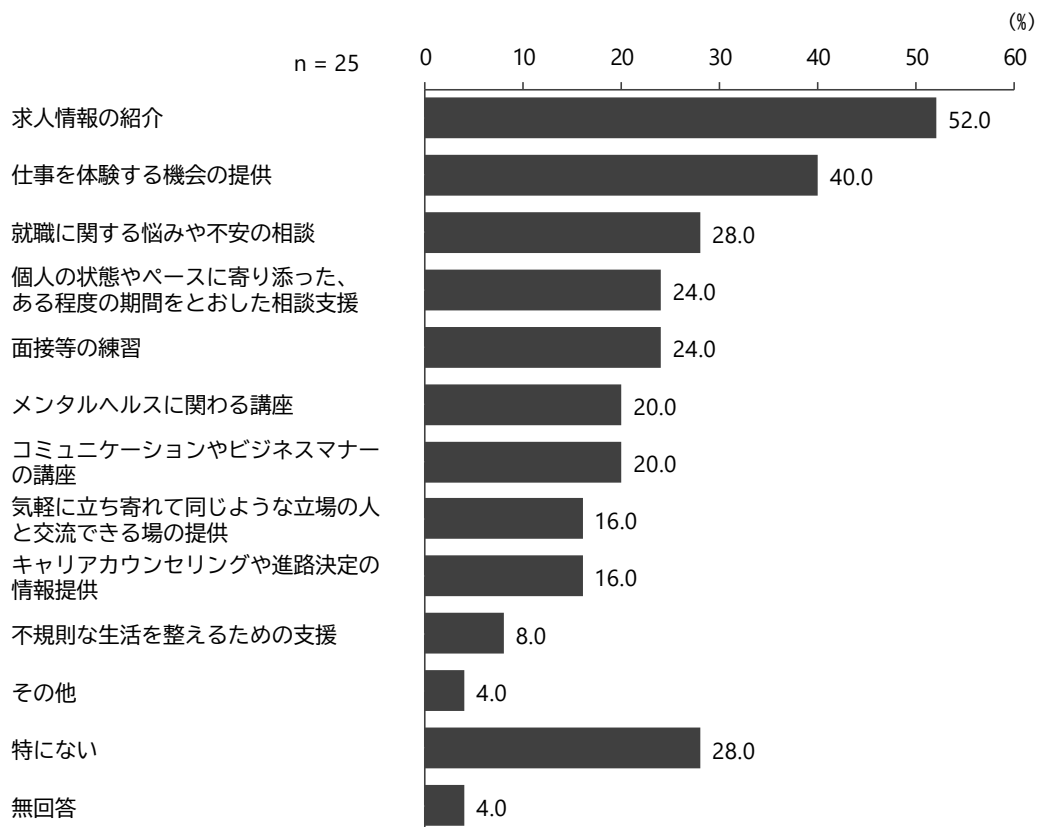


（7）就労に関して利用したい支援

▶就労に関して利用したい支援については、「求人情報の紹介」が 52.0%と最も高く、次いで「仕事を体験する機会の提供」（40.0%）、「就職に関する悩みや不安の相談」（28.0%）となっている。

【問6で「9 無職（仕事を探している）」「10 無職（仕事を探していない）」を選んだ方のみ、お答えください。】

問7 就労することに関して、あなたはどのような支援であれば利用してみたいと思いますか。
（○はいくつでも）

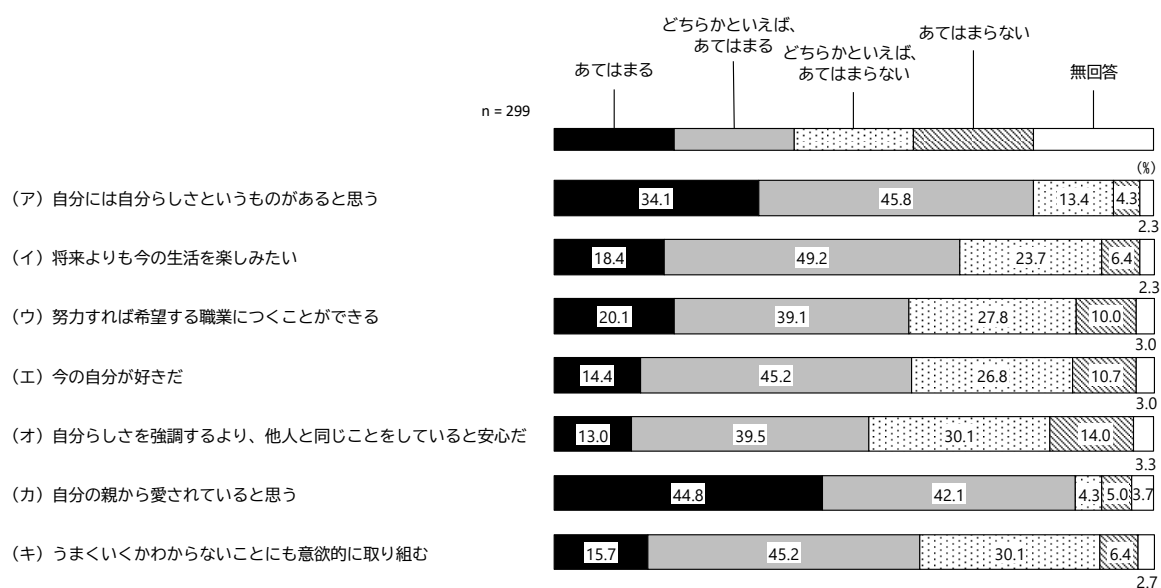


2 あなたの日頃の意識と生活について

（１）自己肯定感について

- ▶ 自己肯定感にまつわる設問については、『（ア）自分には自分らしさというものがあると思う』、『（カ）自分の親から愛されていると思う』では「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた《あてはまる》が約 8 割と他の項目に比べて高くなっている。

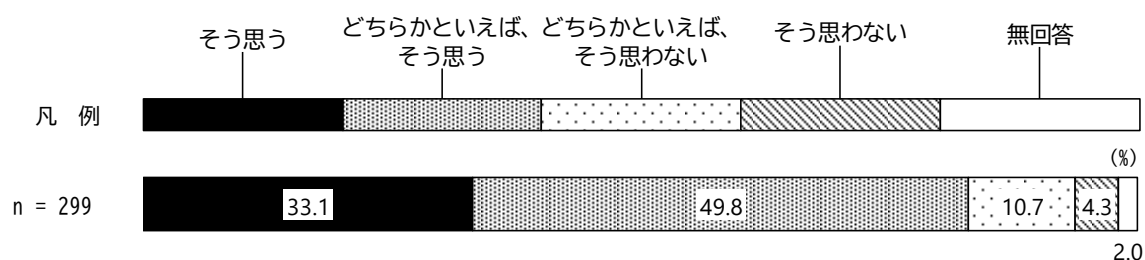
問8 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。（それぞれ○は1つ）



（２）自身が幸せだと思うか

- ▶ 自身が幸せだと思うかについては、「どちらかといえば、そう思う」が 49.8%と最も高く、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせた《そう思う》は 8 割以上となっている。

問9 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。（○は1つ）

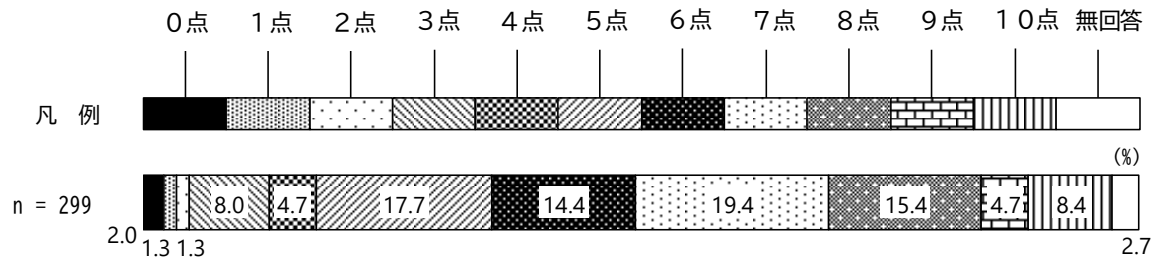


（３）自身の生活の満足度

- ▶ 自身の生活の満足度については、「7点」が19.4%と最も高く、次いで「5点」（17.7%）、「8点」（15.4%）となっている。

問10 あなたは、あなたの生活にどのくらい満足していますか。

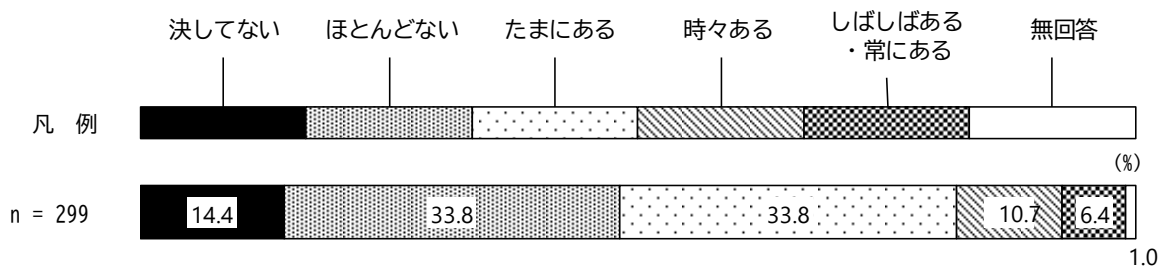
（「まったく満足していない」を0点、「十分に満足している」を10点として○は1つ）



（４）孤独感について

- ▶ 孤独感については、「決してない」と「ほとんどない」を合わせた《ない》が48.2%、「たまにある」、「時々ある」、「しばしばある・常にある」を合わせた《ある》は50.9%となっている。

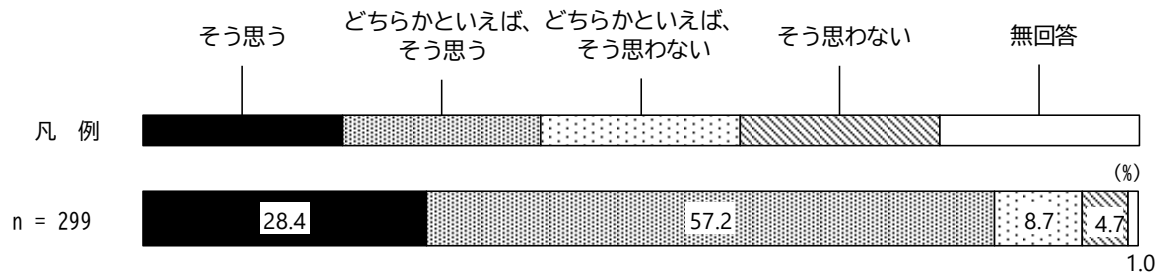
問11 あなたは、どの程度、孤独であると感じることがありますか。（○は1つ）



（５）「社会のために役立つことをしたい」と思うか

- ▶ 「社会のために役立つことをしたい」と思うかについては、「どちらかといえば、そう思う」が 57.2%と最も高く、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせた《そう思う》は 8 割以上となっている。

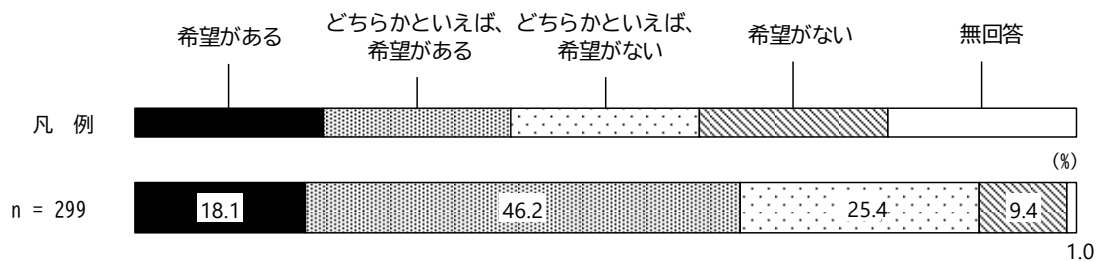
問 12 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。（○は 1 つ）



（６）自身の将来への希望の有無

- ▶ 自身の将来への希望の有無については、「どちらかといえば、希望がある」が 46.2%と最も高く、「希望がある」と「どちらかといえば、希望がある」を合わせた《希望がある》は 6 割以上となっている。

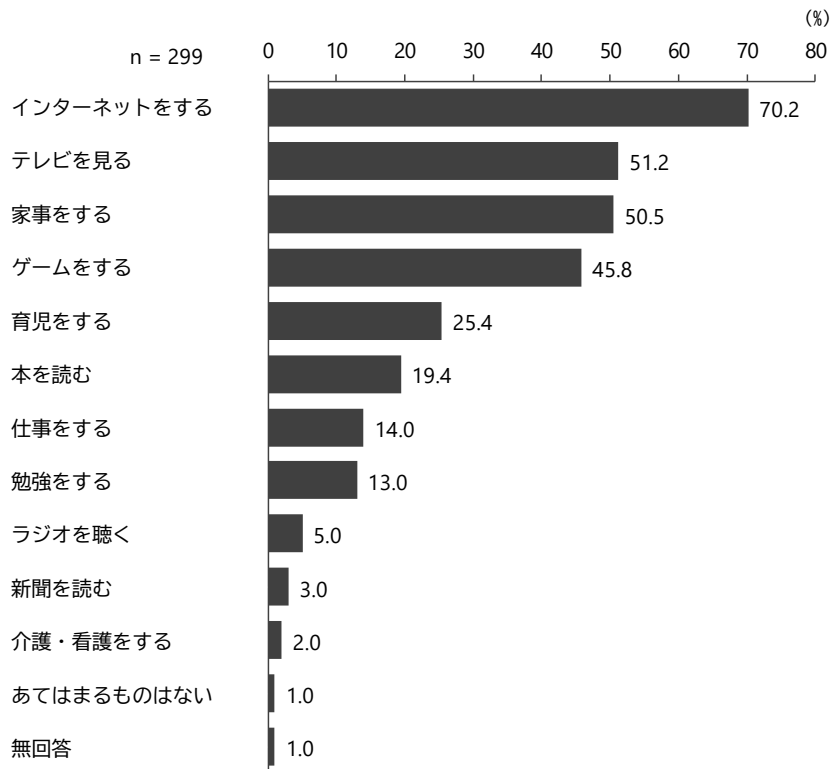
問 13 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。（○は 1 つ）



（7）自宅での時間の使い方

- ▶ 自宅での時間の使い方については、「インターネットをする」が 70.2%と最も高く、次いで「テレビを見る」（51.2%）、「家事をする」（50.5%）となっている。

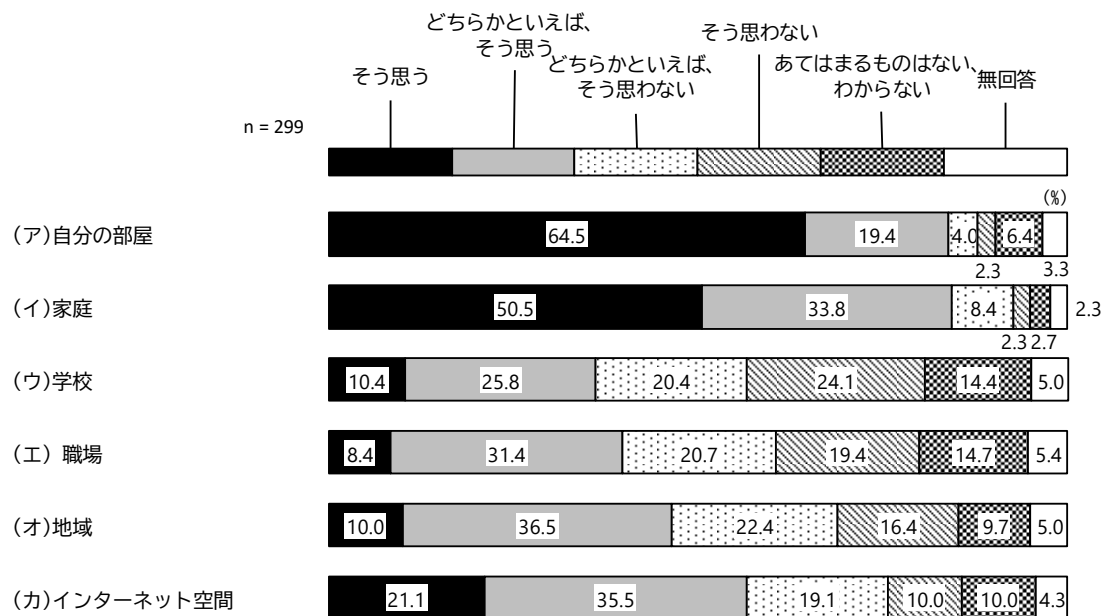
問 14 普段ご自宅（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。（○はいくつでも）



（８）居場所について

- ▶ 居場所については、『（ア）自分の部屋』、『（イ）家庭』では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた《そう思う》が８割以上と高くなっている。
- ▶ 一方、『（ウ）学校』、『（エ）職場』では《そう思う》が４割を下回っており、特に『（ウ）学校』は 36.2%と、すべての場所の中で最も低くなっている。

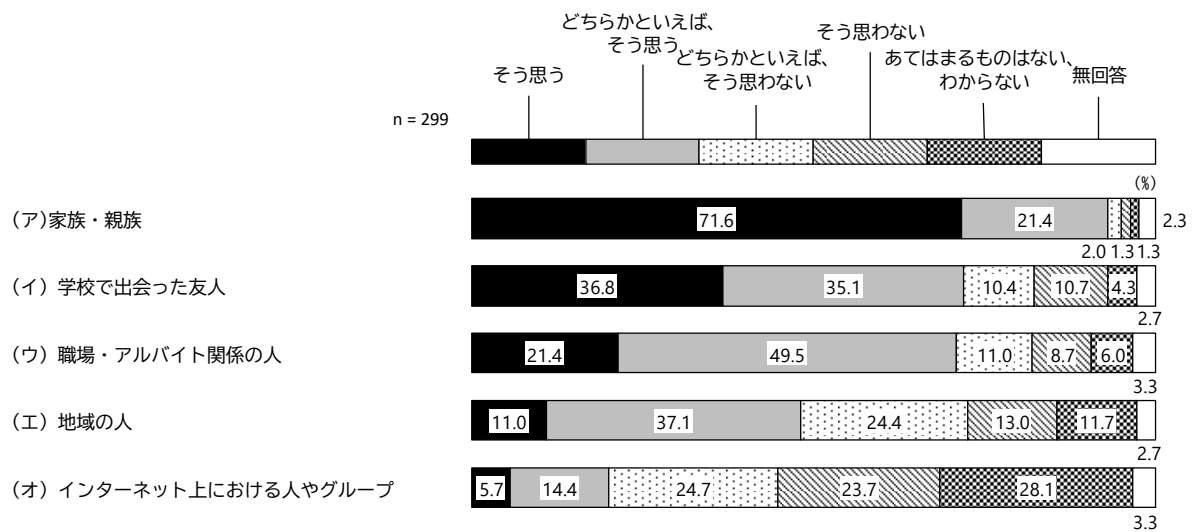
問 15 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。（それぞれ○は１つ）



（９）困りごとを助けてくれる相手

- ▶ 困りごとを助けてくれる相手については、『（ア）家族・親族』、『（イ）学校で出会った友人』、『（ウ）職場・アルバイト関係の人』で「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせた《そう思う》が７割以上となっており、特に『（ア）家族・親族』は 93.0%と最も高くなっている。
- ▶ 一方、『（オ）インターネット上における人やグループ』では《そう思う》が約 2 割となっている。

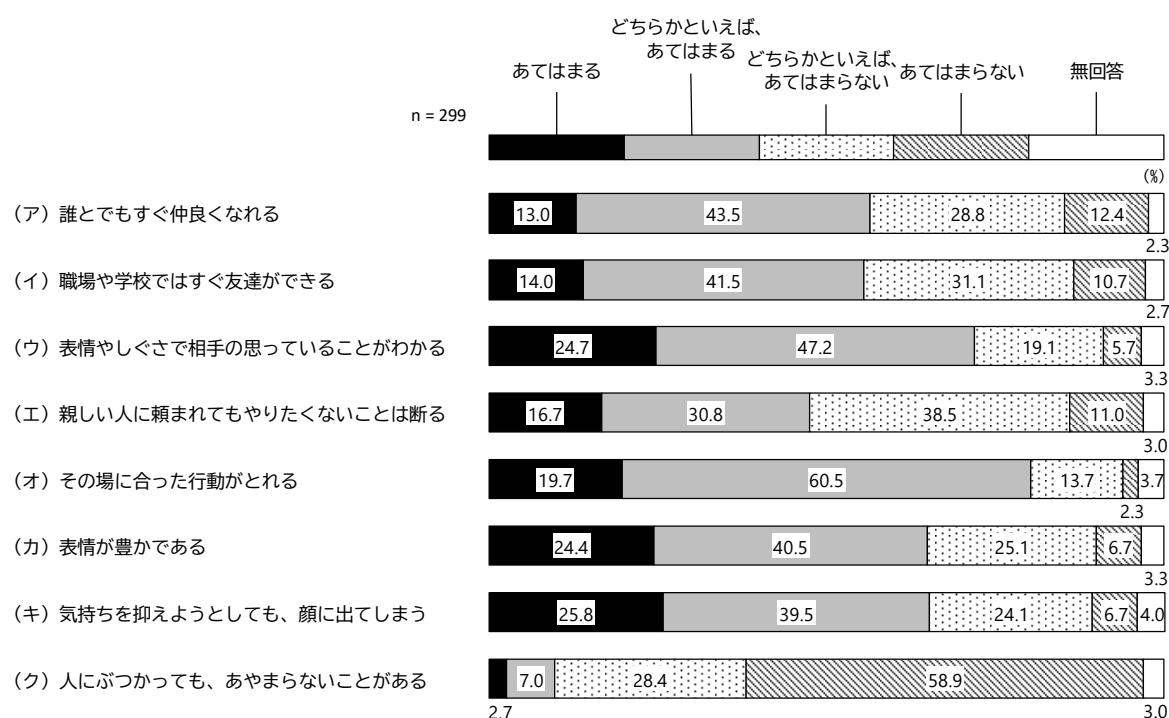
問 16 次の人達は、あなたが困ったときに助けてくれると思いますか。（それぞれ○は１つ）



（10）他の人とのかかわり

- ▶ 他の人とのかかわりについては、項目(ウ)(オ)(カ)(キ)では「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた《あてはまる》が6割以上となっており、特に『（オ）その場に合った行動がとれる』は80.2%と最も高くなっている。
- ▶ 一方、『（エ）親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る』では《あてはまる》が47.5%と最も低く、「あてはまらない」と「どちらかといえば、あてはまらない」を合わせた《あてはまらない》は約5割となっている。

問 17 あなたは、他の人と付き合う時、次のようなことがどのくらいあてはまりますか。
（それぞれ○は1つ）

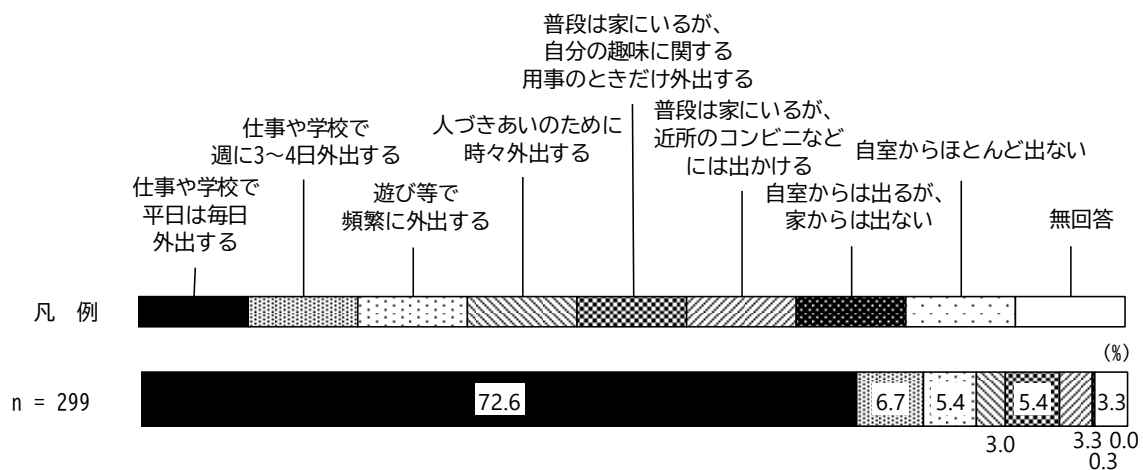


(11) 外出の頻度

- ▶ 外出の頻度については、「仕事や学校で平日は毎日外出する」が 72.6%と最も高い一方、「普段は家にいる」（「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室から出るが、家からは出ない」、「自室からほとんどでない」）が約 1 割となっている。

問 18 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。

（○は 1 つ）

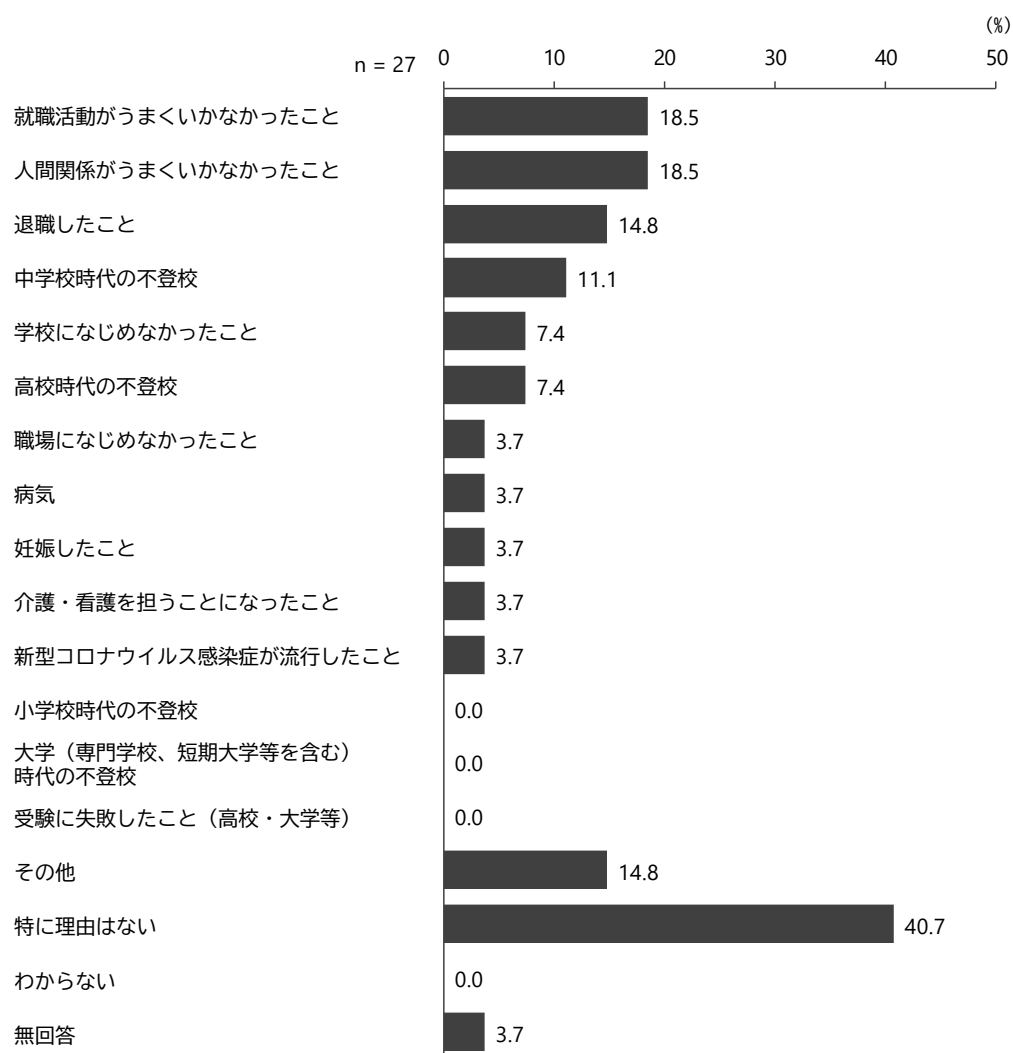


（12）外出状況が現在の状態となった理由

- ▶ 外出状況が現在の状態となった理由については、「就職活動がうまくいかなかったこと」、「人間関係がうまくいかなかったこと」がともに 18.5%と最も高く、次いで「退職したこと」（14.8%）、「中学校時代の不登校」（11.1%）となっている。また、「特に理由はない」が 4 割以上となっている。

【問 18 で「5 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」～「8 自室からほとんど出ない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 19 あなたの外出状況が現在の状態となった主な理由は何ですか。（○はいくつでも）

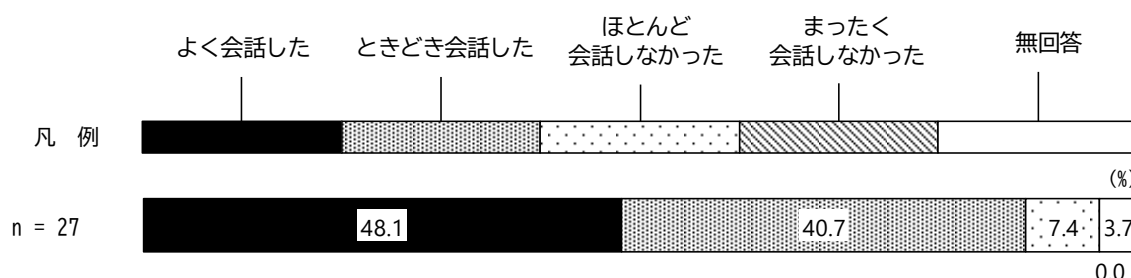


（13）家族以外の人との会話の状況

- ▶ 家族以外の人との会話の状況については、「よく会話した」と「ときどき会話した」を合わせた《会話した》が 88.8%と約 9 割を占めている。

【問 18 で「5 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」～「8 自室からほとんど出ない」を選んだ方のみ、お答えください。】

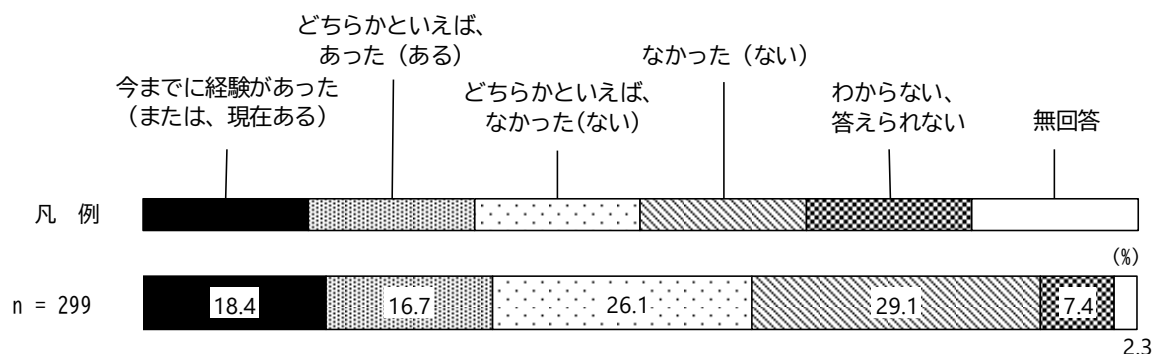
問 20 最近 6 か月間に、家族以外の人と会話しましたか。（○は 1 つ）



（14）社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験（困難経験）の有無

- ▶ 社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験（困難経験）の有無については、「今までに経験があった（または、現在ある）」と「どちらかといえば、あった（ある）」を合わせた《あった（ある）》が 35.1%、「なかった（ない）」と「どちらかといえば、なかった（ない）」を合わせた《なかった（ない）》が 55.2%となっており、約 3 人に 1 人が困難経験があると回答している。

問 21 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況がありますか。（○は 1 つ）



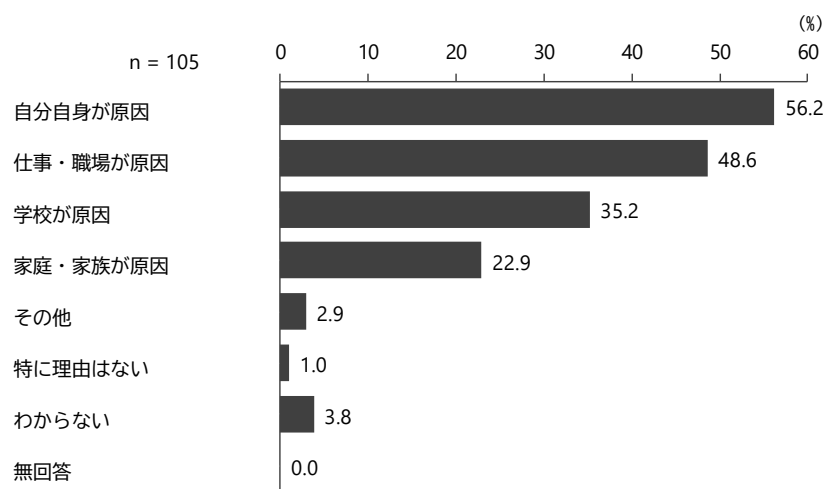
（15）困難経験をした（経験している）原因

- ▶ 困難経験が《あった》と回答した方の主な原因については、「自分自身が原因」が 56.2%と最も高く、次いで「仕事・職場が原因」（48.6%）、「学校が原因」（35.2%）となっている。

【問 21 で「1 今までに経験があった（または、現在ある）」「2 どちらかといえば、あった（ある）」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 22 そうした問題を経験した、又は現在経験している主な原因は何ですか。

（○はいくつでも）

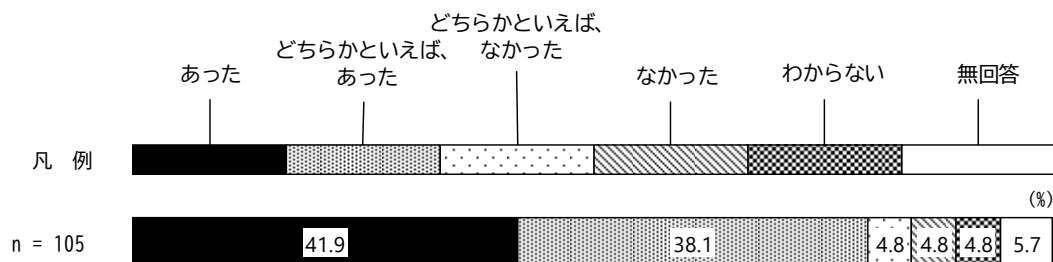


（16）社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態の改善経験の有無

- ▶ 社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態の改善経験の有無については、「あった」と「どちらかといえば、あった」を合わせた《あった》が 80.0%、「なかった」と「どちらかといえば、なかった」を合わせた《なかった》が 9.6%となっており、8 割が困難経験を改善した経験があると回答している。

【問 21 で「1 今までに経験があった（または、現在ある）」「2 どちらかといえば、あった（ある）」を選んだ方のみ、お答えください。】

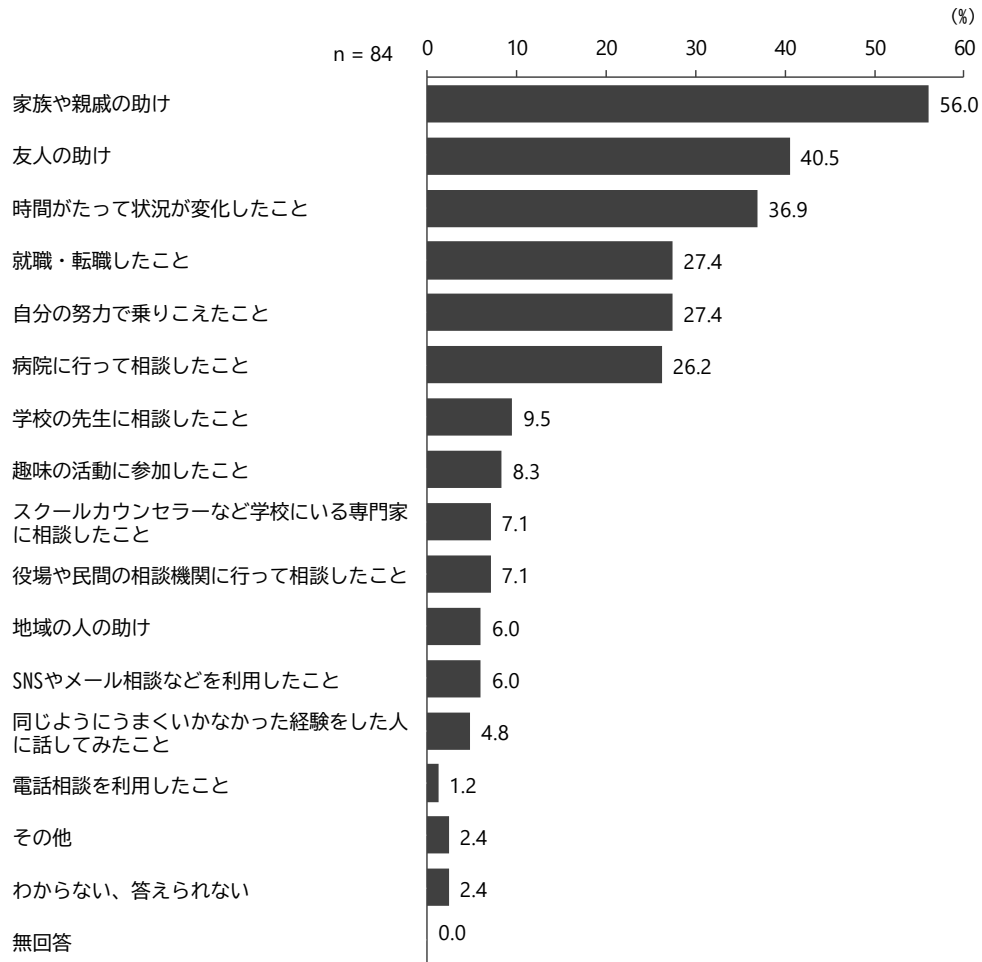
問 23 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか。最もあてはまるものを選んでください。（○は1つ）



（17）困難状態が改善したきっかけ

- ▶ 困難状態が改善したきっかけについては、「家族や親戚の助け」が 56.0%と最も高く、次いで「友人の助け」（40.5%）、「時間がたって状況が変化したこと」（36.9%）となっている。

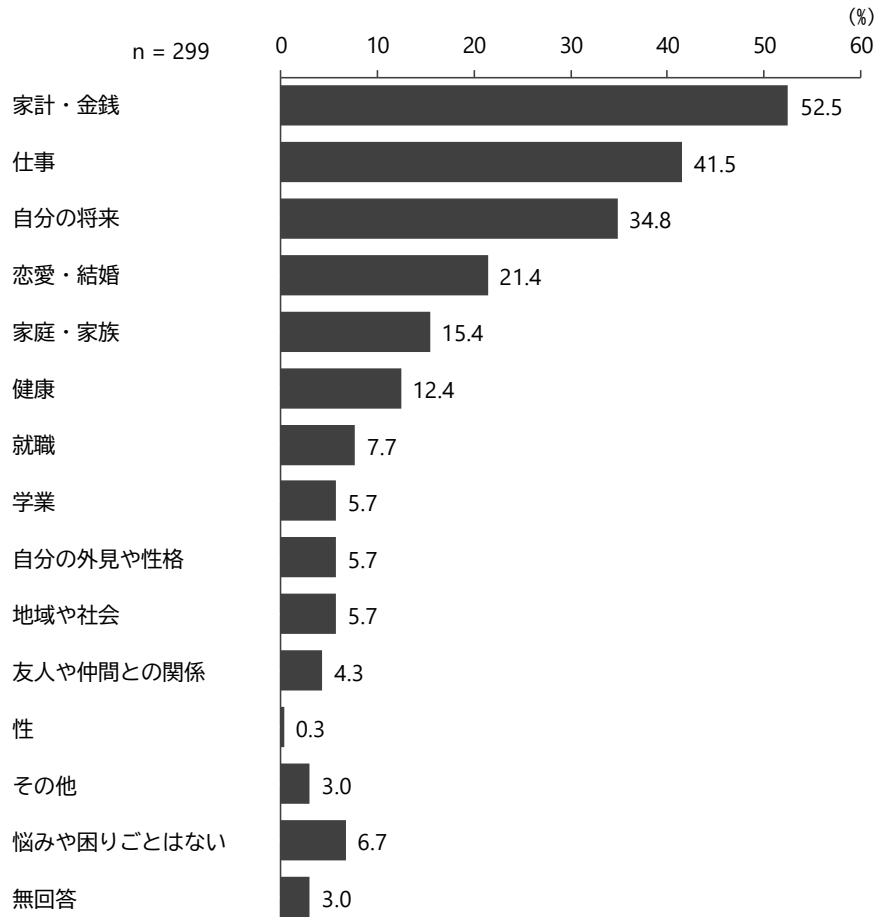
問 24 状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思いますか。（○は3つまで）



（18）悩みや困りごとの内容

- ▶ 悩みや困りごとの内容については、「家計・金銭」が 52.5%と最も高く、次いで「仕事」（41.5%）、「自分の将来」（34.8%）となっている。

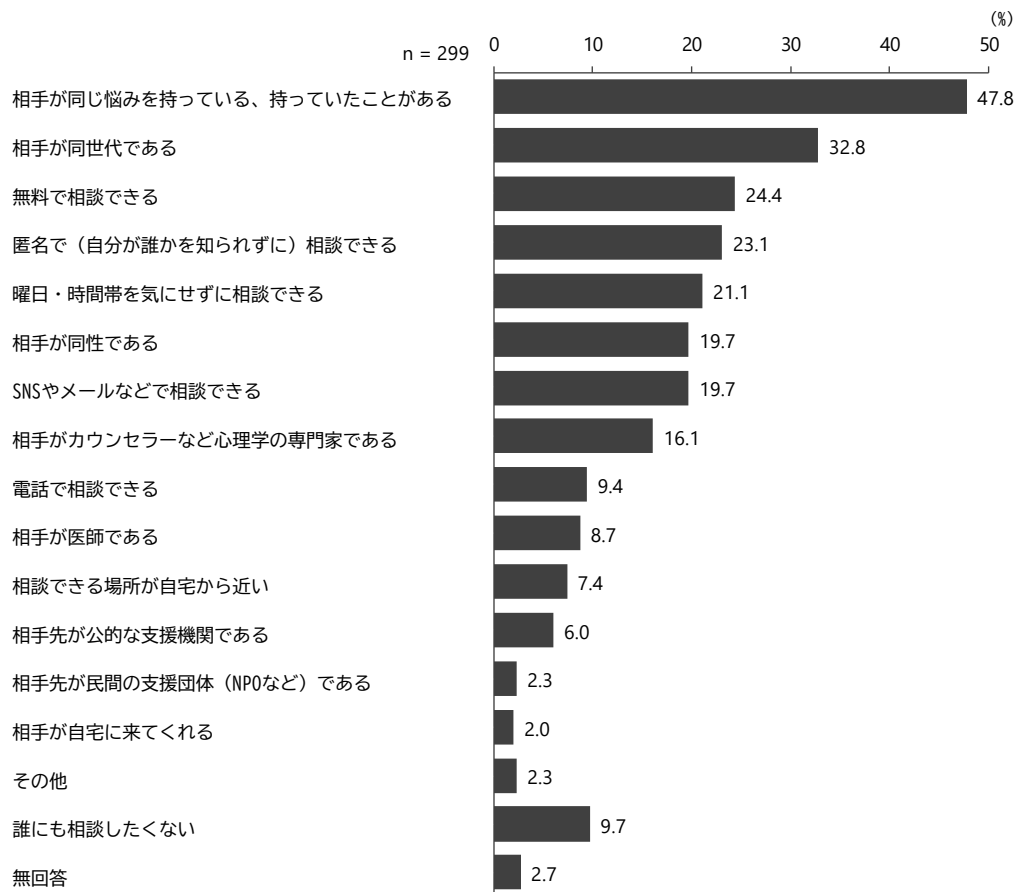
問 25 あなたは今、どんなことに悩んだり困ったりしていますか。（○は3つまで）



（19）家族や知り合い以外に相談したいと思う相手や場所

- ▶ 家族や知り合い以外に相談したいと思う相手や場所については、「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が 47.8%と最も高く、次いで「相手が同世代である」（32.8%）、「無料で相談できる」（24.4%）となっている。

問 26 あなたが、物事がうまくいかず落ち込んだ時に、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。（〇はいくつでも）

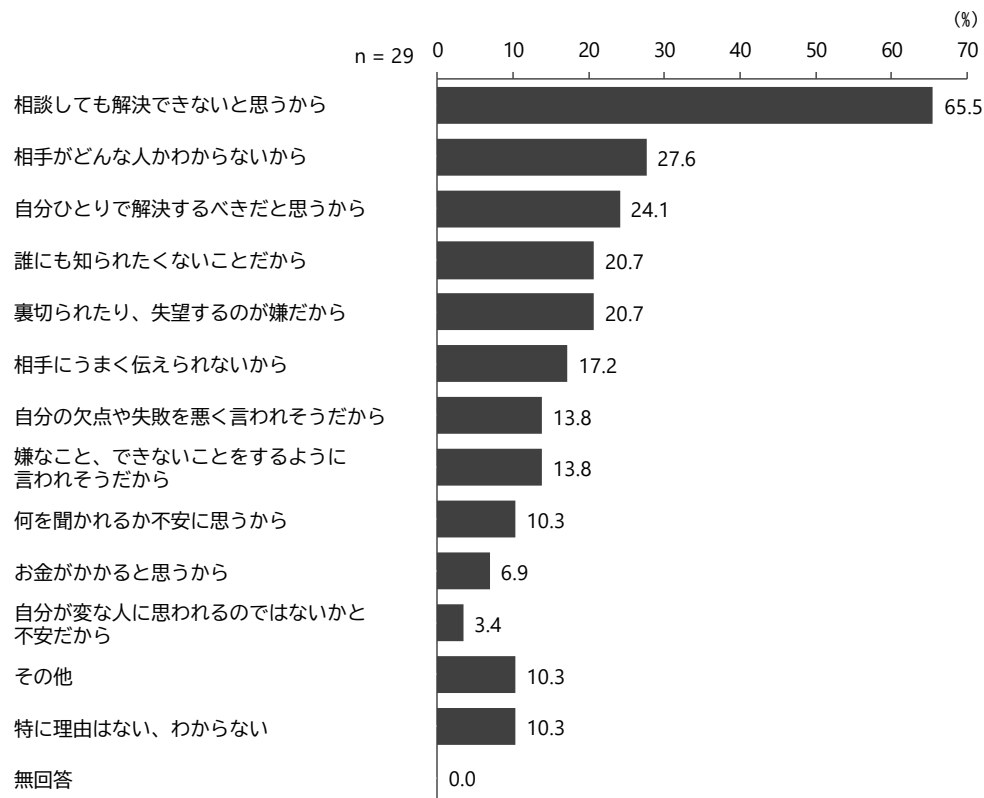


（20）相談したくないと思う理由

- ▶ 相談したくないと思う理由については、「相談しても解決できないと思うから」が 65.5%と最も高く、次いで「相手がどんな人かわからないから」（27.6%）、「自分ひとりで解決すべきだと思うから」（24.1%）となっている。

【問 26 で「16 誰にも相談したくない」を選んだ方のみ、お答えください。】

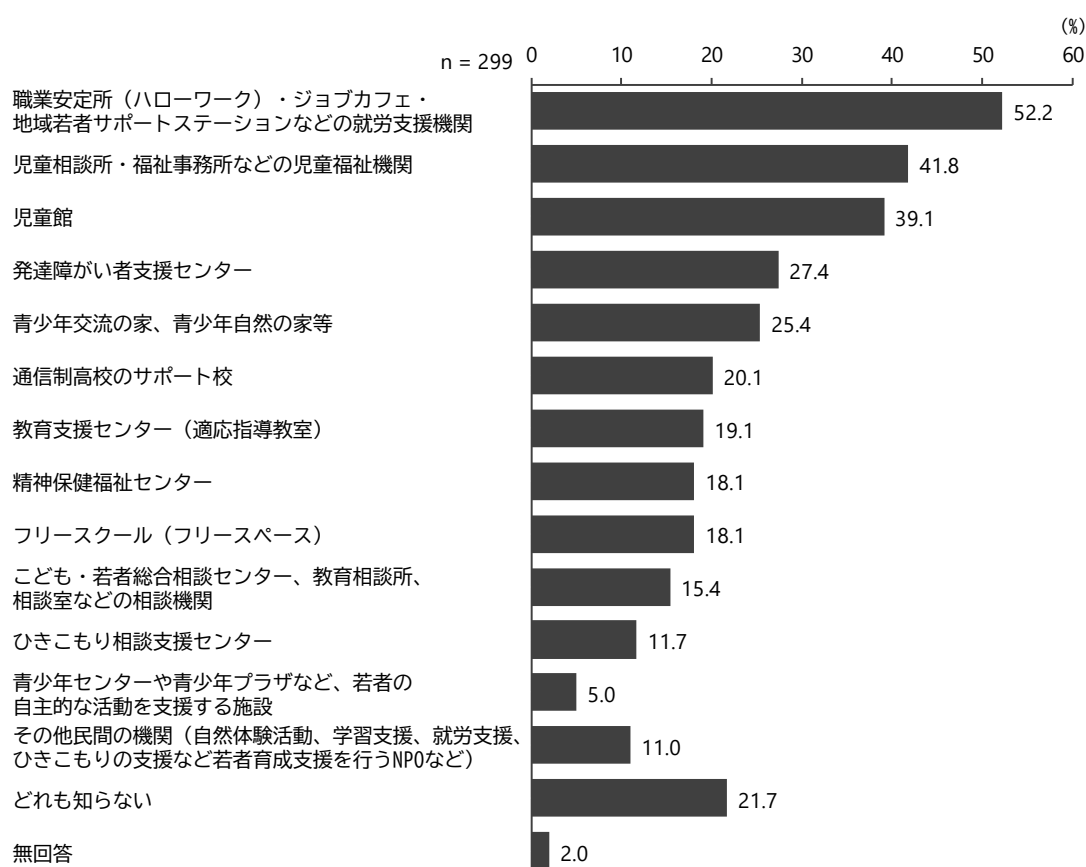
問 27 相談したくないと思う理由は何ですか。（○はいくつでも）



(21) 相談支援機関等の認知度

- ▶ 相談支援機関等の認知度については、「職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」が 52.2%と最も高く、次いで「児童相談所・福祉事務所などの児童福祉機関」（41.8%）、「児童館」（39.1%）となっている。一方、「どれも知らない」は 2 割以上となっている。

問 28 あなたは、こども・若者を対象とした相談支援機関等を知っていますか。知っている相談支援機関等をすべて選んでください。（○はいくつでも）

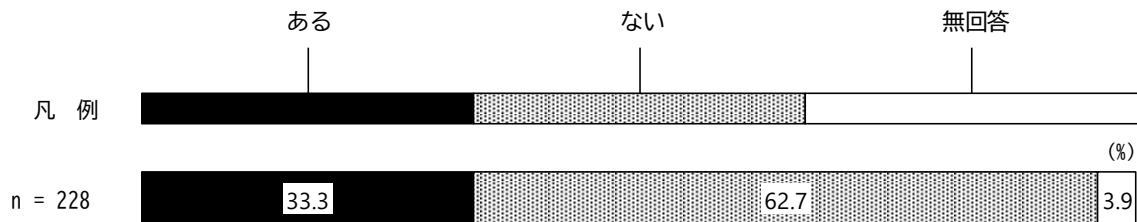


（22）相談支援機関等の利用経験の有無

- ▶ 相談支援機関等の利用経験の有無については、「ある」が 33.3%、「ない」が 62.7%となっている。

【問 28 で「1 精神保健福祉センター」～「13 その他民間の期間（自然体験活動、学習支援、就労支援ひきこもりの支援など若者育成支援を行う NPO など）」を選んだ方のみ、お答えください。】

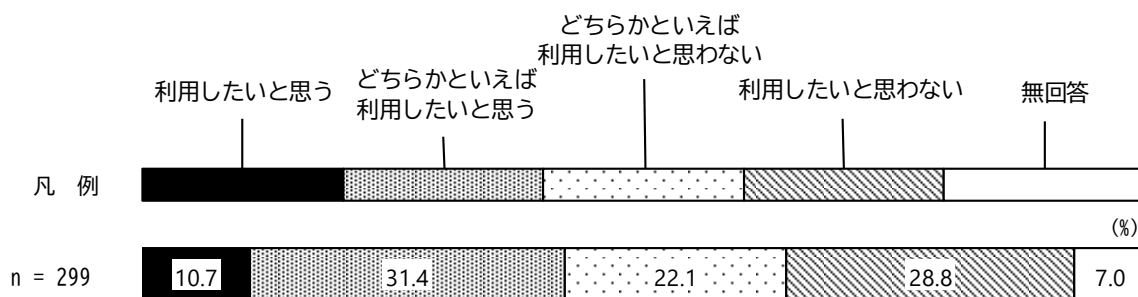
問 29 これらの機関を利用したことはありますか。（○は1つ）



（23）相談支援機関等の利用希望

- ▶ 相談支援機関等の利用希望については、「利用したいと思う」と「どちらかといえば利用したいと思う」を合わせた《利用したいと思う》が 42.1%、「利用したいと思わない」と「どちらかといえば利用したいと思わない」を合わせた《利用したいと思わない》が 50.9%と 5 割以上となっている。

問 30 問 28 にある機関等について利用したいと思いますか。（○は1つ）

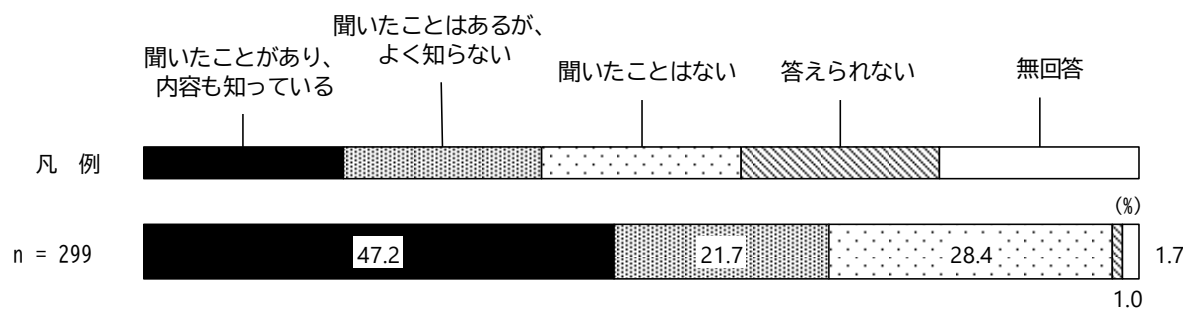


3 ヤングケアラー・若者ケアラーについて

（１）ヤングケアラー・若者ケアラーの認知度

- ▶ ヤングケアラー・若者ケアラーの認知度については、「聞いたことがあり、内容も知っている」が47.2%と最も高く、次いで「聞いたことはない」（28.4%）、「聞いたことはあるが、よく知らない」（21.7%）となっている。

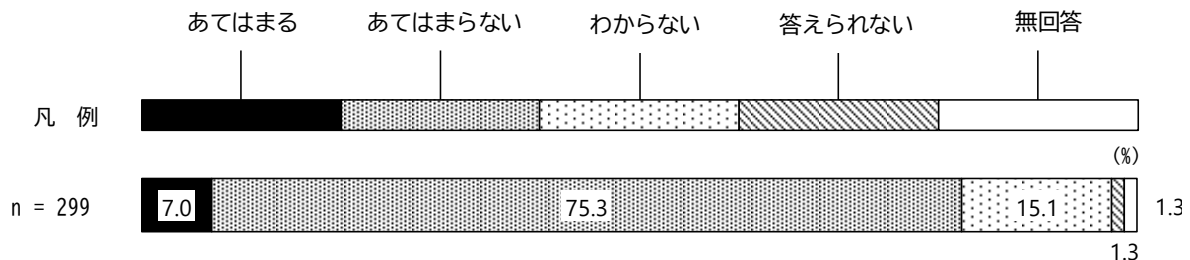
問 31 ヤングケアラーまたは若者ケアラーという言葉をおこれまでに聞いたことがありますか。（○は1つ）



（２）若者ケアラーへの該当状況

- ▶ 若者ケアラーへの該当状況については、75.3%が「あてはまらない」と回答しているものの、「あてはまる」は7.0%となっている。

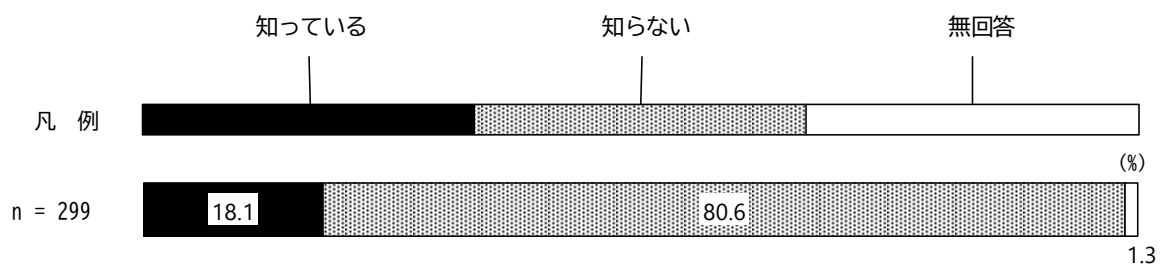
問 32 あなたは若者ケアラーにあてはまると思いますか。（○は1つ）



（３）ヤングケアラー・若者ケアラーの相談機関や窓口の認知度

- ▶ ヤングケアラー・若者ケアラーの相談機関や窓口の認知度については、「知らない」が 80.6%と大多数を占めており、「知っている」は 18.1%と低く、約 2 割に留まっている。

問 33 もしあなたが若者ケアラーの場合、またはヤングケアラーや若者ケアラーが身の周りにいた場合、どのような機関や窓口相談したらよいか知っていますか。（1 つに○）

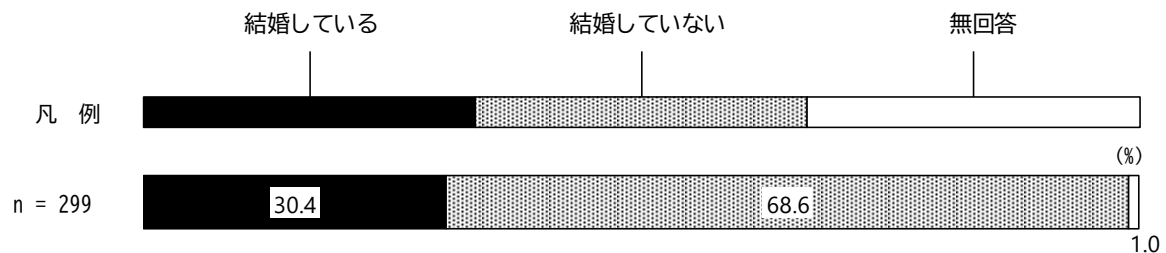


4 結婚に対する考え方について

（１）結婚の状況について

▶ 結婚の状況については、「結婚している」が 30.4%、「結婚していない」が 68.6%となっている。

問 34 あなたは現在、結婚（事実婚含む）していますか。（○は1つ）

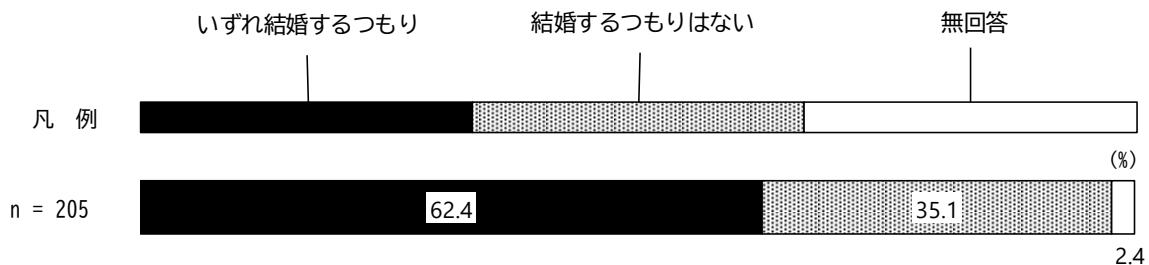


（２）結婚に対する考え

▶ 結婚に対する考えについては、「いずれ結婚するつもり」が 62.4%、「結婚するつもりはない」が 35.1%となっている。

【問 34 で「2 結婚していない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 35 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対する考えは、次のどちらですか。（○は1つ）

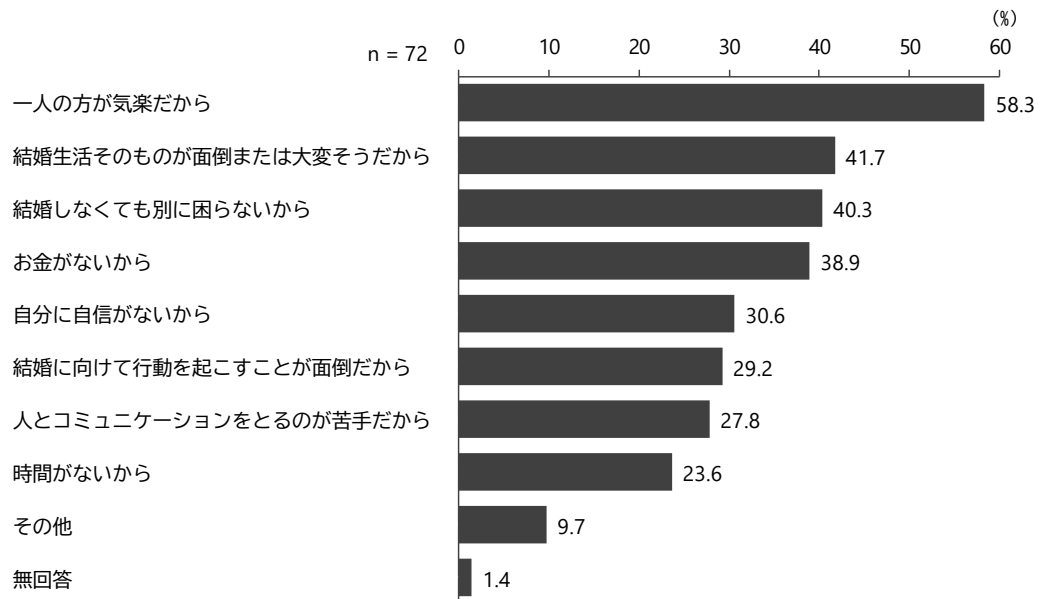


（3）結婚するつもりがない理由

- ▶ 結婚するつもりがない理由については、「一人の方が気楽だから」が 58.3%と最も高く、次いで「結婚生活そのものが面倒または大変そうだから」（41.7%）、「結婚しなくても別に困らないから」（40.3%）となっている。

【問 35 で「2 一生結婚するつもりはない」を選んだ方のみ、お答えください。】

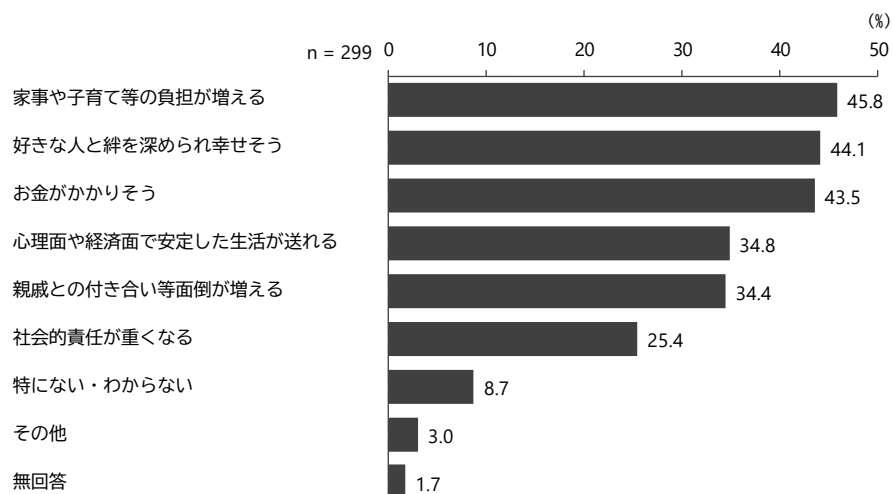
問 36 結婚するつもりがないのはなぜですか。（○はいくつでも）



（４）結婚に対してのイメージ

- ▶ 結婚に対してのイメージについては、「家事や子育て等の負担が増える」が 45.8%と最も高く、次いで「好きな人と絆を深められ幸せそう」（44.1%）、「お金がかかりそう」（43.5%）となっている。

問 37 あなたは結婚に対して、どんなイメージを持っていますか。（○はいくつでも）

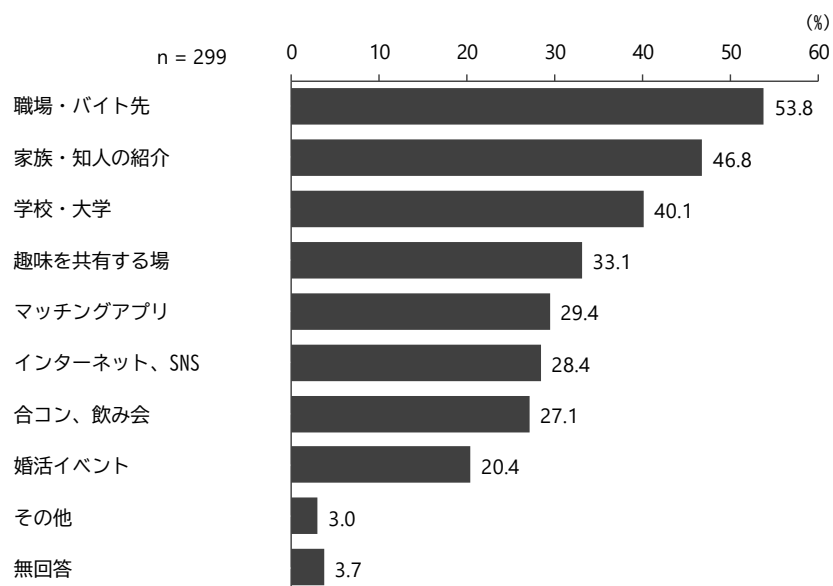


（５）結婚に繋がると思う出会いのシーン

- ▶ 結婚に繋がると思う出会いのシーンについては、「職場・アルバイト先」が 53.8%と最も高く、次いで「家族・知人の紹介」（46.8%）、「学校・大学」（40.1%）となっている。

問 38 あなたにとって、結婚に繋がると思う出会いのシーンは次のどれですか。

※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけをお選びください。（○はいくつでも）

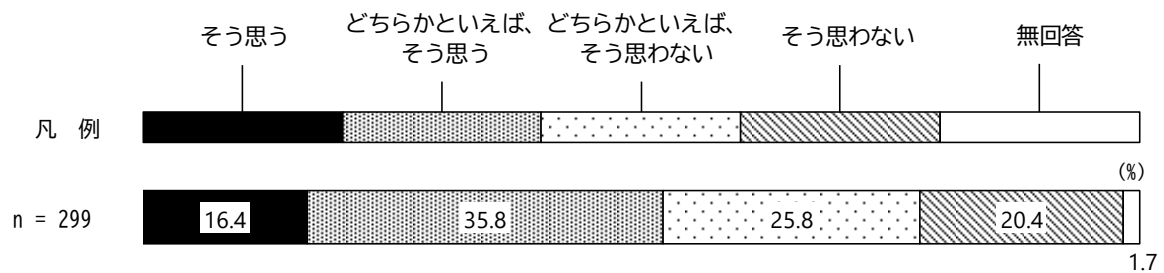


5 子育てに対する考え方について

（１）小野町での子育て希望

- ▶ 小野町での子育て希望については、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせた《そう思う》が 52.2%と 5 割以上となっており、「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」を合わせた《そう思わない》は 46.2%となっている。

問 39 あなたはこの地域で子育てを行いたいと思いますか。（○は1つ）



（２）持ちたいこどもの人数について

- ▶ 持ちたいこどもの人数については、希望・実際ともに「２人」が最も高くなっている。希望と実際の差をみると、《０～１人》の割合は希望が 25.5%、実際は 38.5%、《２～４人以上》の割合では、希望が 64.8%、実際は 47.9%となっており、希望と実際のギャップがみられる。

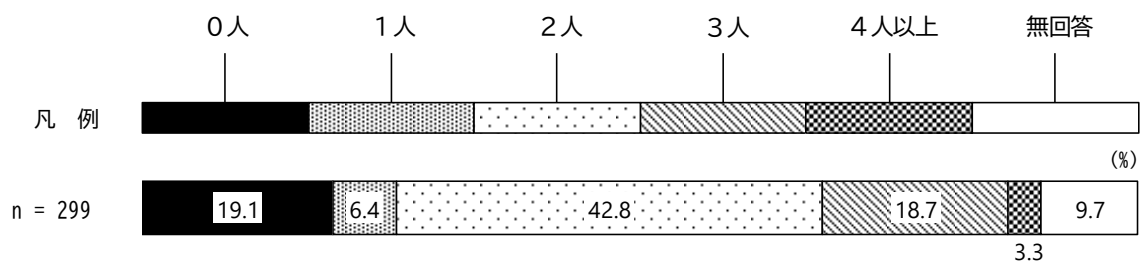
問 40 あなたにとって「①希望のこどもの人数」と「②実際に持つつもりの子どもの人数」は何人ですか。

※お子さんがおられる方は、②実際に持つつもり的人数（現在のお子さんの数も含む）を記入してください。

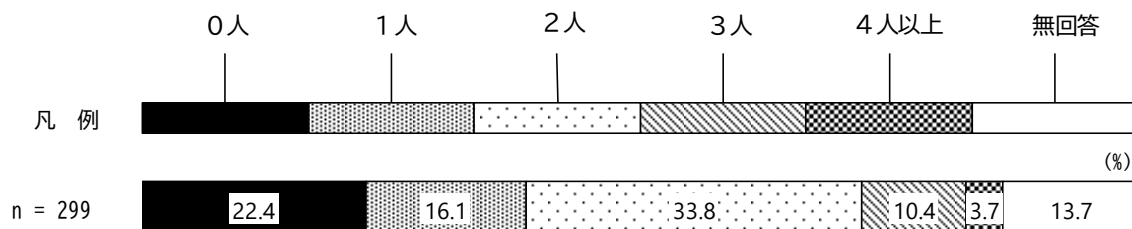
※お子さんを持つつもりがない方は、①②に 0 人と記入してください。

（数字でご記入ください。）

① 希望のこどもの人数



② 実際に持つつもりの子どもの人数



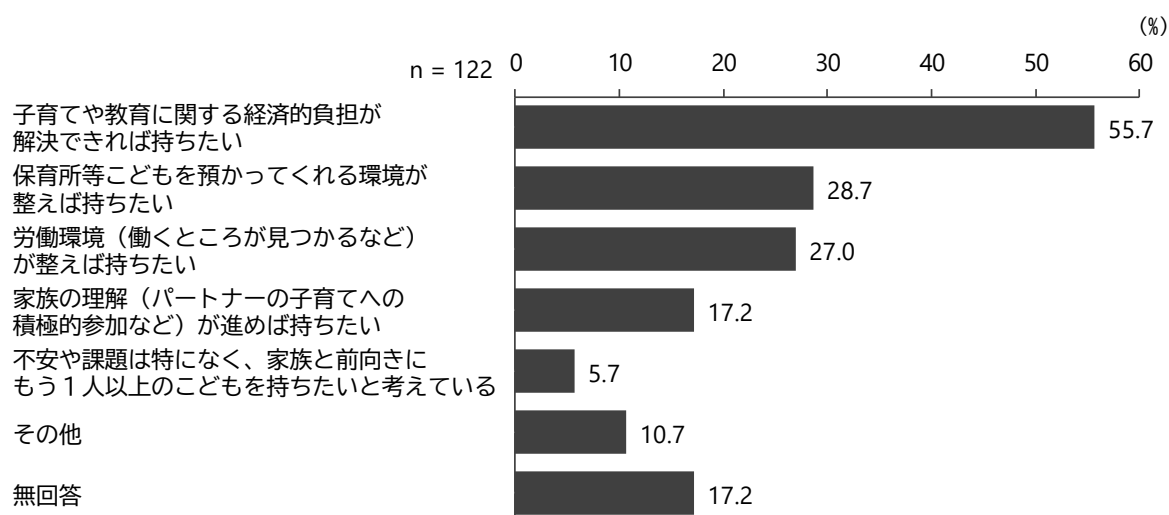
（３）どのような環境が整えばもう１人以上のこどもを持ちたいと思うか

- ▶ どのような環境が整えばもう１人以上のこどもを持ちたいと思うかについては、「子育てや教育に関する経済的負担が解決できれば持ちたい」が 55.7%と最も高く、次いで「保育所等こどもを預かってくれる環境が整えば持ちたい」（28.7%）、「労働環境（働くところが見つかるなど）が整えば持ちたい」（27.0%）となっている。

【問 40 で①と②ともに「０人」と回答した方や、②実際に持つつもりの子どもの数より、①希望のこどもの数が多い方のみ、お答えください。】

※例：②実際に持つつもりの子どもの数が２人、①希望のこどもの数が３人 など

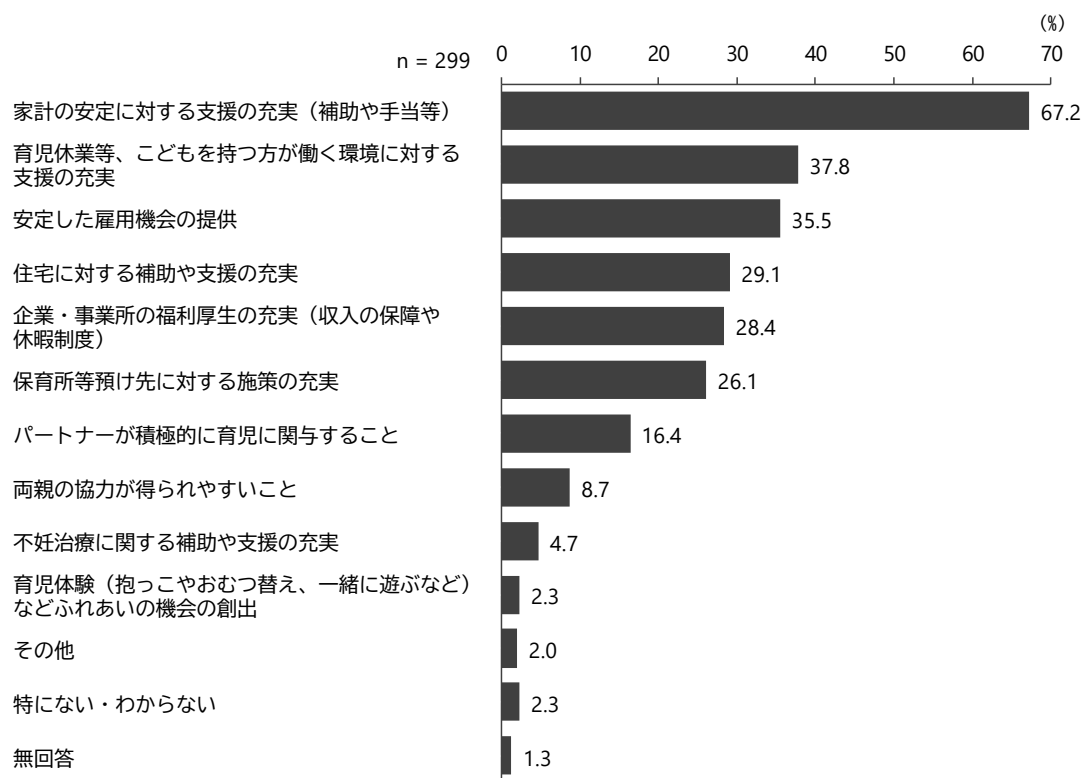
問 41 どのような環境が整えばもう１人以上のこどもを持ちたいと思いますか。（○はいくつでも）



（４）こどもを持つことや子育てに前向きになれる要素や支援施策

- ▶ こどもを持つことや子育てに前向きになれる要素や支援施策については、「家計の安定に対する支援の充実（補助や手当等）」が 67.2%と最も高く、次いで「育児休業等、こどもを持つ方が働く環境に対する支援の充実」（37.8%）、「安定した雇用機会の提供」（35.5%）となっている。

問 42 こどもを持つことや子育てに対して前向きになれると思う要素や行政に求める支援施策は何ですか。（○は3つまで）

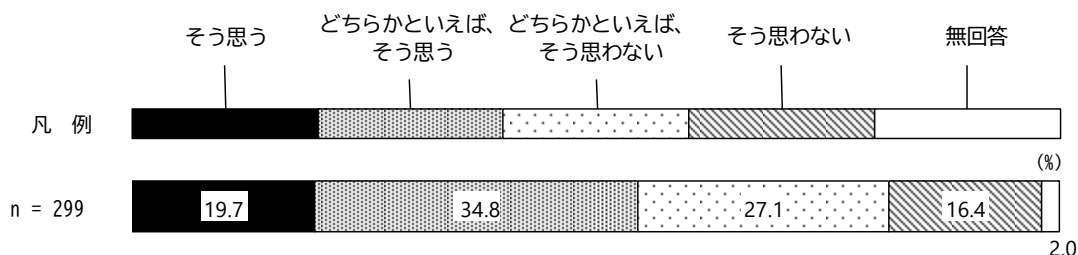


6 住まいについて

（１）今後も小野町に住みたいと思うか

- ▶ 今後も小野町に住みたいと思うかについては、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせた《そう思う》が 54.5%と 5 割以上となっており、「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」を合わせた《そう思わない》が 43.5%となっている。

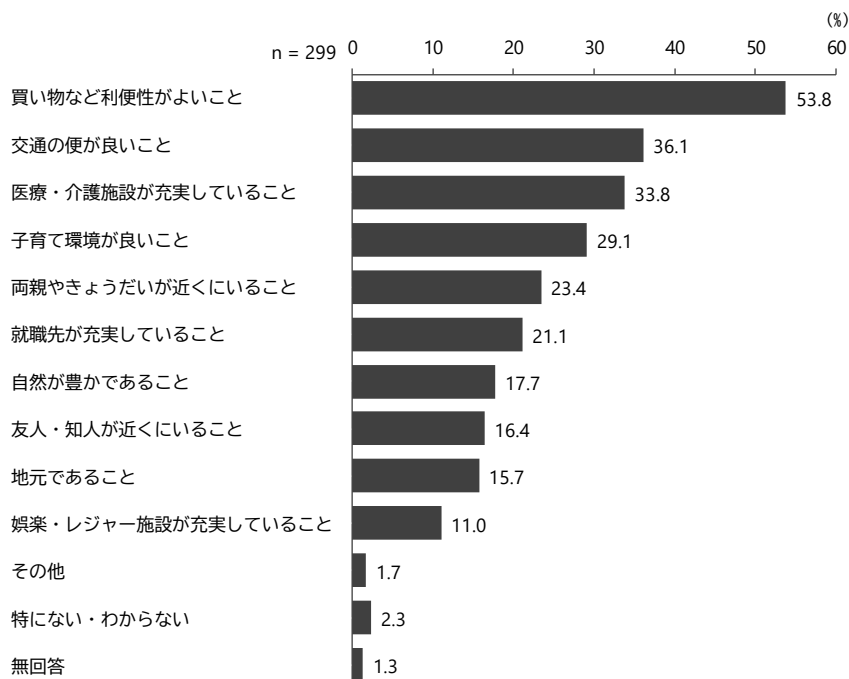
問 43 あなたは小野町に今後も住みたいと思いますか。または、一時期町外に転出して将来的に小野町に住みたいと思いますか。（○は 1 つ）



（２）将来の居住地を決める際に重要視すること

- ▶ 将来の居住地を決める際に重要視することについては、「買い物など利便性がよいこと」が 53.8%と最も高く、「交通の便が良いこと」（36.1%）、「医療・介護施設が充実していること」（33.8%）となっている。

問 44 将来の住む地域（居住地）を決める際に重要視することは何ですか。（○は 3 つまで）

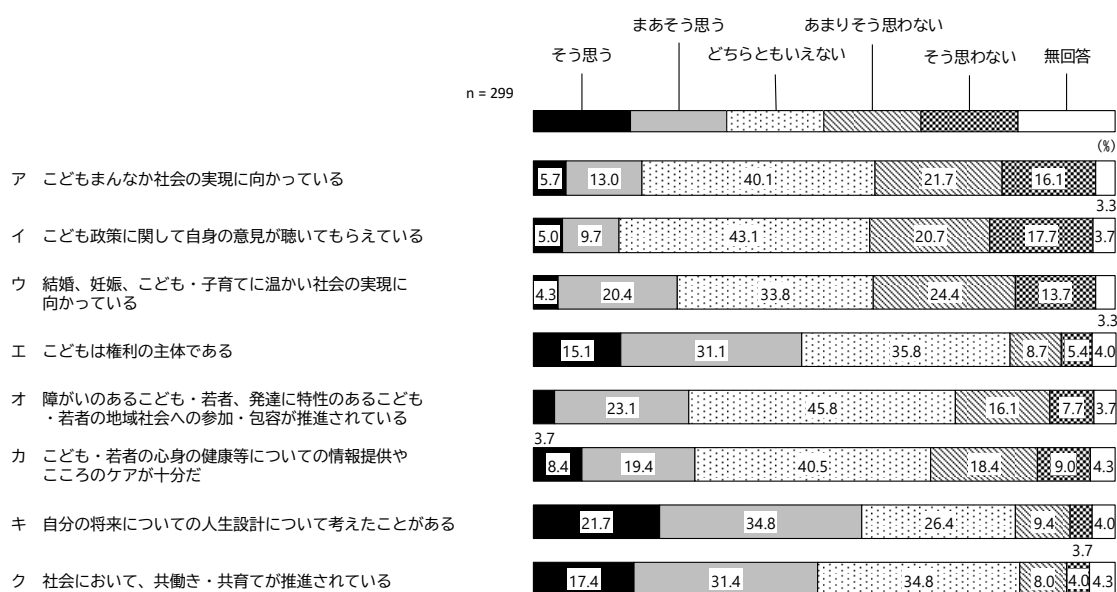


7 小野町の施策やこどもまんなか社会について

（１）こどもまんなか社会に対しての意識等について

- ▶ こどもまんなか社会に対しての意識等に関する項目については、『エ こどもは権利の主体である』、『キ 自分の将来についての人生設計について考えたことがある』、『ク 社会において、共働き・共育てが推進されている』では、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた《そう思う》が約 4～5 割と他の項目に比べて高くなっている。一方、『ア こどもまんなか社会の実現に向かってる』、『イ こども政策に関して自身の意見が聴いてもらえている』では《そう思う》が 2 割以下と他の項目に比べて低くなっている。

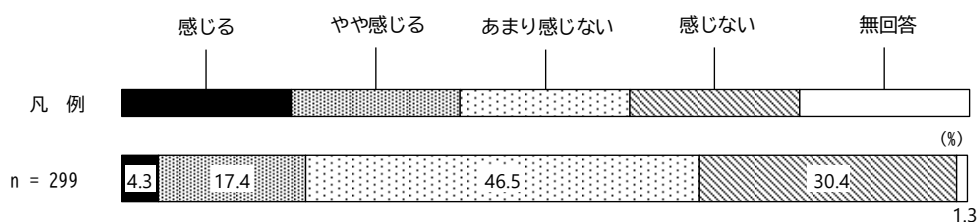
問 45 あなたは以下について、どのように思いますか。（それぞれ○は 1 つ）



（２）地域における若者の遊び・娯楽や体験活動の機会が十分と感じるか

- ▶ 地域における若者の遊び・娯楽や体験活動の機会が十分にあると感じるかについては、「感じる」と「やや感じる」を合わせた《感じる》が 21.7%、「感じない」と「あまり感じない」を合わせた《感じない》が 76.9%となっている。

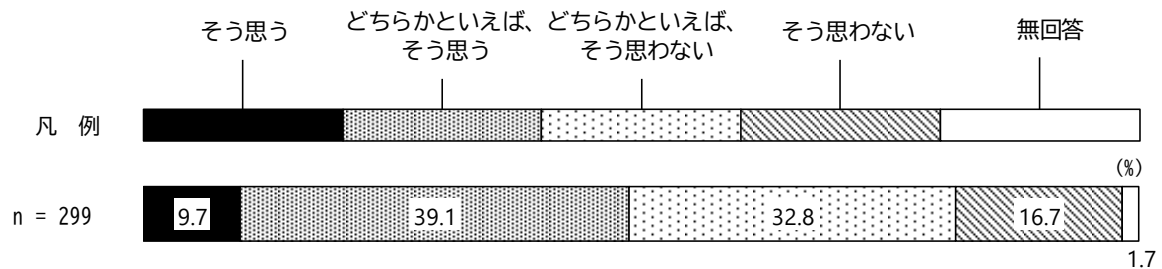
問 46 地域の中でこどもや若者の遊び・娯楽や体験活動の機会が十分にあると感じていますか。（○は 1 つ）



（３）地域において、女性の社会参画が進んでいると思うか

- ▶ 地域において、女性の社会参画が進んでいると思うかについては、「どちらかといえばそう思う」が 39.1%と最も高く、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた《そう思う》が 48.8%、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた《そう思わない》が 49.5%となっている。

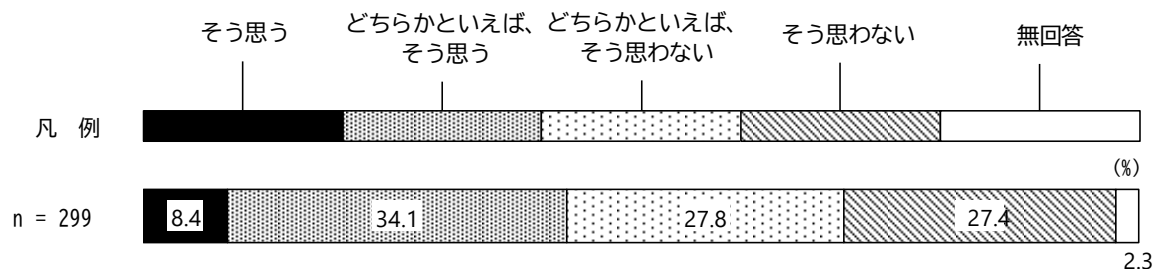
問 47 あなたは地域において、女性の社会参画が進んでいると思いますか。（○は１つ）



（４）町や学校、地域の取り組みに対しての意思決定の参加希望

- ▶ 町や学校、地域の取り組みに対しての意思決定の参加希望については、「どちらかといえばそう思う」が 34.1%と最も高く、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた《そう思う》が 42.5%、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた《そう思わない》が 55.2%となっている。

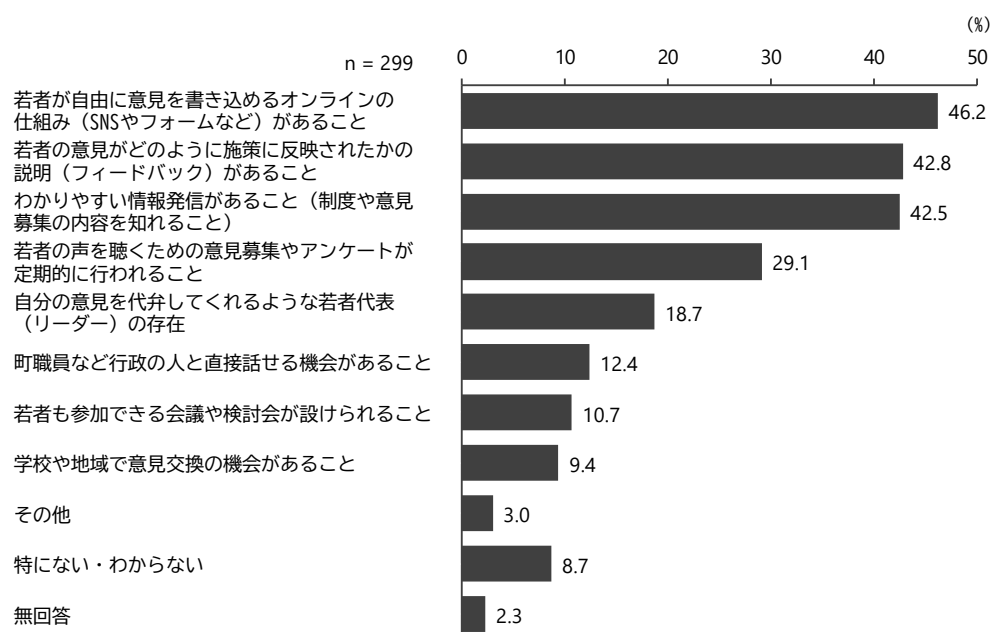
問 48 あなたは、町や学校、地域の取り組みに対して、自分の意見を言ったり、意思決定に参加したいと思いますか。（○は１つ）



（５）町の施策やまちづくりに反映されるため、あるとよい取り組み

- ▶ 町の施策やまちづくりに反映されるため、あるとよい取り組みについては、「若者が自由に意見を書き込めるオンラインの仕組み（SNS フォームなど）があること」が 46.2%と最も高く、次いで「若者の意見がどのように施策に反映されたかの説明（フィードバック）があること」（42.8%）、「わかりやすい情報発信があること（制度や意見募集の内容を知れること）」（42.5%）となっている。

問 49 若者の意見が町の施策やまちづくりに反映されるためには、どのような取り組みがあるとよいと思いますか。（〇は3つまで）



（６）小野町のこども・若者に対する施策についての意見・提案

- ▶ 小野町のこども・若者に対する施策については、「子育て支援に関すること」が 25 件と最も多く、次いで「行政・施策に関すること」（20 件）、「公園・遊び場・商業施設に関すること」（16 件）となっている。

問 50 小野町のこども・若者に対する施策についてのご意見・ご提案を、ご自由にお書きください。

順位	内容	件数
1	子育て支援に関すること	25 件
2	行政・施策に関すること	20 件
3	公園・遊び場・商業施設に関すること	16 件
4	生活環境に関すること	12 件
5	金銭面に関すること	10 件
6	アンケートに関すること・感想	7 件
7	就職・就労に関すること	6 件
8	妊娠・出産に関すること	5 件
9	学校に関すること	3 件
10	結婚に関すること	1 件

【自由意見（一部抜粋）】

1. 子育て支援に関すること

- 給食費を無料にすることや、学校のジャージ、制服を無償にする、もしくはおさがりがしやすいような環境を整え、給付ではなく支出を少なくするような取組があれば、良いと思います。また、幼児向けの施設、公園ではなく、小学校高学年、中・高生が利用できる施設を作ってほしいです。（自然を活かした大人も楽しめるアスレチックパークや、温水プールなど）ブリティッシュヒルズの研修も良いと思いますが、少人数でも海外に行く経験は小・中学生にしてほしいです。小・中学生が現地に行くことが難しければ、海外の留学生を招き入れることや、Zoomなどで小野町の教室と海外の教室をつなぐなど、国際交流・異文化交流ができる機会があれば、こどもたちは英語や海外について関心を持てるのではないかと思います。県外でも大学進学に係る費用を減らす給付奨学金やだれでも使える支援制度があれば、学びの幅が広がると思います。
- 一時的な補助金ではなく、副食費の減額や、一時預りサービスの充実などに力を入れて頂けるとありがたい。
- 学生（高校生）への通学費支援があれば良いと思います。中学生の海外ホームステイを復活させて欲しいです。

2. 行政・施策に関すること

- 小野町は、こども園、小学校、中学校のこども達に向けた教育にかなり手厚く力を入れています。（これも町のPRになるポイントじゃないかなと思いました）高卒や大卒の小野出身の学生さんに故郷の就職を積極的にすすめたり、サポートしたり、それが上手いけば、町の若い人口が増えるのかな。（今何かいい政策があるのか、よく分かりませんがすでにあつたらすみません！）
- 生まれてくるこども達が少ない中でも子育てハンドブックなどの更新もして下さり頑張ってくださっているのが十分伝わります。しかし、どの地域をみても若者世代がどんどん町から離れこども達もどんどん減り、残された方々の地域を支える負担がかなり大きいです。このままではあと5年もたないと思います。せっかくこの自然あふれるすてきな町があるのに、このままでは不安です。町外の方も出入りでき、町の人も（特に子こども達が）安心して暮らしていけるような施策を望みます。

3. 公園・遊び場・商業施設に関すること

- 小中学生が休みの日にこども達だけで集まれる場所があればいい。小さいこどもから小学生高学年のこどもが遊べるような室内遊び場があれば他の市町村からも遊びに来られる人も多いと思う。
- もっとこども、若者が休んで勉強できてお話しできる空間が、学校以外にもあれば良いと思います。私自身、小・中学生時代図書館（文化の館）をよく利用していましたが、静かにしなくてはならない空間のため、友人と話すときは外に出て話していました。放課後や休日に、気軽に集まれてゆっくりできる空間があれば、こども・若者にとってありがたいと思います。おもしろいアンケートの実施ありがとうございました。今後とも小野町のために頑張っていきましょう！

4. 生活環境に関すること

- 小野町への永住を目的とする住居の支援（例えば、他県のように、1戸建て賃貸に長期で住む方に、そのまま自己物件にする等）を充実させてもらうことや、学生の電車代の支援をしていただくことで、より住みやすい小野町となるのではないかと考えています。
- 小野町児童館「キラット☆おの」ができて、少しずつ子育ての支援体制ができてきているかと感じています。児童館の職員の皆さんに感謝です。共働き、核家族世帯は当たり前の世の中かと思うので、その中でも子育てできる環境を今後も整備してほしいです。特に小野町は賃貸アパートが少ない上、部屋も狭いため、家族4人以上で住める所はほぼ無いと思います。小野町出身者以外は住みづらいと思います。3LDK以上の物件、戸建ての賃貸など側居面についても考えていただかないと、近隣の市町村へ移住せざるをえない気がします。

5. 金銭面に関すること

- 小野高校が閉校になると必然的に船引や郡山等への通学になり交通費がかなり負担になります。その負担が少しでも軽くなるような支援があればと思います。

6. アンケートに関すること・感想

○妊産婦の手当、子育てに関するアンケート、今回のアンケートなど若者や子育て世代に対して目を向けてくださりありがとうございます。こども若者が減少し、子育てのしにくさや周囲への協力が得にくい世の中になったと感じますが、こういったアンケートを通じて、どうかしようという気持ちや協力を感じます。本当にありがとうございます。他の地域より手当てやこどもに対するサポートが厚く、小野町に住んでいて良かったと思います。少々、不便な事もありますが、これからも小野町で子育てしていきたいと思います。

7. 就職・就労に関すること

○就職できる場所を増やす事で恒久的に若者に住んでもらうという支援はどうでしょうか。

8. 妊娠・出産に関すること

○教育の向上に向けて遅い時間まで学習できるスペースを設けてほしい。また、少子化対策として産院や幼老施設を設置し若者が長く住み続けられるようにしてほしい。地元でこどもを産み育てたいが通院等を考えると他地域への移住が多くなってしまう。また、高齢者福祉施設が多いため子育て世代の方が勤務していることが多いように見えるがこどもの体調不良により出勤率が下がってしまう。近くにこどもを預けられる場所があり柔軟な対応をしてくれると働きやすく若者の介護職への勤務者も増加すると思う。

9. 学校に関すること

○若者が町から出ていかない様な町づくりをして欲しい。高校は無くさない方が良かった。こどものころから、町のイベント、祭りなどに参加できる環境を作った方がいい。町の良い所を知った方がいい。

V 資料編

(1) 小野町 小中学生アンケート調査（保護者向け）調査票

小野町 小中学生アンケート調査 (保護者の方向け)

◆ 調査ご協力をお願い ◆

日頃より町政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

小野町では今年度、すべてのこども・若者が生き生きと活躍し、輝かな生活を送れる社会をつくるため、取り組みの方向性や目標をまとめた「こども計画」を策定することとしています。

この計画の策定にあたり、お子さん方の毎日の生活やご家庭の子育ての状況などをお聞かせいただきたく、アンケート調査を実施することといたしました。

本調査は、小学5年生及び中学2年生のお子さんのいらっしゃる保護者の方に実施するもので、調査の結果は、ご家庭の収入等、プライバシーなことについてもお伺いする内容となっておりますが、調査結果は、統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありません。

また、本調査には、お子さんご本人の状況やお子さんとの関わりに関する説明が含まれております。つきましては、対象となるお子さんごとに、それぞれ1部ずつご回答いただきますようお願いいたします。

ご多忙のこととは存じますが、今後の子育て支援に取り組みするための重要な調査となりますので、ご協力を
お願い申し上げます。

令和7年9月
小野町長 村上 昭正

【ご記入にあたってのお願い】

- このアンケートは、お子さんの保護者がお答えください。「あなた」とはアンケートに回答される方を表します。
- ご回答は、「○は1つ」「○はいくつでも」等の表記に従って、該当する事項に○をつけてください（一部、数字等をご記入いただく説明もございます）。
- 「その他」に○をつけた場合は、その後の（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- ご記入いただいたアンケートは、同封してある返信用封筒（保護者用）に入れ、封をしてください。その後、お子さんご本人に記入していただいた調査票と一緒に、大きい封筒（調査票2通と封筒2部が入っていたもの）に入れ、封をし、令和7年10月10日（金）までに、お子さんを連れて担任の先生に提出してください。
- アンケートや封筒には、名前や住所を記入する必要はありません。

問い合わせ先
小野町 子育て支援課
住 所：〒965-3401 福島県田村郡小野町大字小野新町字中通2
電 話：(0247) 72-2212（直通） FAX：(0247) 72-2313
E-Mail: kousate@shienkashin.town.ots.fukushima.jp

1 あなた自身のことやご家族の状況についてうかがいます

問1 お子さんとお父さんとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんから見た頻度をお答えください。
※この調査で「お父さん」とは、調査対象となる小学5年生又は中学2年生のお子さんのことをいいます。
(○は1つ)

1. 母親（母親を含む）	2. 父親（父親を含む）
3. 祖父母	4. その他（ ）

問2 どちらの地区にお住まいですか。
(○は1つ)

1. 飯沼地区	2. 津金地区
3. 小野新町地区	4. 里井地区

問3 お子さんご本人と生計を同一にしているご家族の人数（お子さんを含む）をお答えください。
※生計が同一であれば、同居していない方（例：専任赴任中の方、学業等で世帯を離れているお子さんなど）も人数に含めてください。
(数字で記入してください)

ご家族の人数 人

問4 問3で回答した「ご家族」のうち、こども（令和7年4月1日現在、0歳から17歳以下の方）の人数をお答えください。
※生計が同一であれば、同居していない方（例：学業等で世帯を離れているお子さんなど）も人数に含めてください。
(数字で記入してください)

17歳以下のこどもの人数 人

問5 問3で回答した「ご家族」には、お子さんから見てどの関係の方が含まれますか。
(○はいくつでも)

1. 母親	2. 父親	3. 祖父母
4. 兄弟姉妹	5. その他（ ）	

問6 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況をお答えください。
(○は1つ)

1. 結婚している（再婚や事実婚を含む）→問8へ
2. 離婚→問7へ
3. 別居
4. 未婚
5. わからない
6. いらない

→問8へ

【問6で「2 養育」を選んだ方のお答えください。】

問7 養育相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。

(○は1つ)

1. 取り決めをしており、養育費を受け取っている
2. 特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている
3. 養育費の取り決めをしているが、受け取っていない
4. 養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない

【全員にお聞きします。】

問8 現在の住居の状況についてお答えください。

(○は1つ)

1. 持家 (あなた又はあなたの配偶者名義)	2. 持家 (親族名義)
3. 町営住宅	4. 社宅
5. 借家 (マンションやアパートなど)	6. その他 ()

2 保護者の方のことや考えについてうかがいます

問9 保護者の方の最終学歴 (卒業した学校) をお答えください。

(それぞれ1つに○)

	母親	父親
① 中学校まで	1	1
② 高校まで	2	2
③ 専門学校まで	3	3
④ 5年制の高等専門学校まで	4	4
⑤ 短大まで	5	5
⑥ 大学まで	6	6
⑦ 大学院まで	7	7
⑧ その他 ()	8	8
⑨ わからない	9	9
⑩ いない	10	10

問10 保護者の方の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

(それぞれ○は1つ)

	母親	父親
① 正社員・正規職員・会社役員	1	1
② 嘱託・契約社員・派遣職員	2	2
③ パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	3	3
④ 自営業 (家族従業員、内職、自由業、フリーランスを含む)	4	4
⑤ 働いていない (専業主婦/主夫を含む)	5	5
⑥ わからない	6	6
⑦ いない	7	7

【問10で「⑤ 働いていない (専業主婦/主夫を含む)」を選んだ方のみ、お答えください。】

問11 働いていない最も主な理由をお答えください。

(それぞれ○は1つ)

	母親	父親
① 働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1	1
② 子育てを優先したいため	2	2
③ 家族の介護・介助のため	3	3
④ 自分の病気や障がいのため	4	4
⑤ 通学しているため	5	5
⑥ その他の理由	6	6

問12 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も期間が長いものをお答えください。

(○は1つ)

1. 認可保育所・認定こども園	2. その他の教育・保育等の施設
3. 親・親族以外の個人	4. いつも親・親族が面倒を見ていた
5. その他 ()	

問13 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も期間が長いものをお答えください。

(○は1つ)

1. 幼稚園・認可保育所・認定こども園	2. その他の教育・保育等の施設
3. 親・親族以外の個人	4. いつも親・親族が面倒を見ていた
5. その他 ()	

問 14 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(それぞれ○は1つ)

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
① テレビ・ゲーム・インターネット等の娯楽時間等のルールを決めている	1	2	3	4
② お子さんに本や新聞を読ませようとしている	1	2	3	4
③ お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
④ お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4

問 15 あなたは、次のような学校行事や地域活動にどの程度参加していますか。(それぞれ○は1つ)

	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない
① 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4
② PTA活動や保護者会などへの参加	1	2	3	4

問 16 現実的にみて、お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。(○は1つ)

1. 中学校まで
2. 高校まで
3. 専門学校まで
4. 5年制の高等専門学校まで
5. 短大まで
6. 大学まで
7. 大学院まで
8. その他 ()
9. まだわからない

→問 17へ
→問 18へ

【問 16 で「1」～「8」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 17 問 16 の理由は何ですか。

1. こどもがそう希望しているから
2. 一般的な道筋だと思うから
3. こどもの学力から考えて
4. 家庭の経済的な状況から考えて
5. その他 ()
6. 特に理由はない

【全員にお聞きします。】

問 18 あなたには次に挙げる事柄で頼れる人はいいますか。(A～Gそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)

また、頼れる人がいる場合、それは誰ですか。(A～Gへ○はいくつでも)

	A 子育てに関する相談	B 重要な事柄の相談	C いざという時のお金の援助
頼れる人がいる	1	1	1
家族・親族	A	A	A
友人・知人	E	E	E
近所の人	F	F	F
職場の人	G	G	G
民生委員・児童委員	O	O	O
行政の相談窓口	K	K	K
民間の相談窓口	K	K	K
その他	K	K	K
いない	2	2	2
そのことでは人に頼らない	3	3	3

問 19 あなたのご家庭ではお子さんに次のようなことをしていますか。(それぞれ○は1つ)

	している	方針上しない	経済的にできない	時間的にできない	その他の理由でできない
① 毎月お小遣いを渡す	1	2	3	4	5
② 毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3	4	5
③ 習い事に通わせる	1	2	3	4	5
④ 学習塾に通わせる (又は家庭教師に来てもらう)	1	2	3	4	5
⑤ 誕生日のお祝いをする	1	2	3	4	5
⑥ 年1回の控除、家族旅行に行く	1	2	3	4	5
⑦ クリスマスプレゼントやお年玉をあげる	1	2	3	4	5

問 20 あなたはお子さんについてどのようなように思っていますか。(それぞれ○は1つ)

	とてもあてはまる	あてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
① 何事にもがんばって取り組んでいる	1	2	3	4	5
② 嫌なことがあっても気持ちを切りかえられる	1	2	3	4	5
③ 勉強できる	1	2	3	4	5
④ 音楽が大好き	1	2	3	4	5

問21 あなたは、子育てに関して次のような心配事や悩み事がありますか。 (○はいくつでも)

1. こどもに対するしつけや教育に自信が持てない

2. 子育てが楽しいと思えない

3. 子育てに監理者の協力が得られない

4. 子育て仲間がいない

5. こどもの基本的な生活習慣（あいさつ、整理整頓など）が不安

6. こどもが勉強しない

7. こどもの進学や受験が心配

8. こどもがなかなか言うことをきかない

9. こどもが何事に対しても消極的である

10. こどもの友人関係が心配

11. こどもの身体の発育や気配が心配

12. こどもが非行や問題行動をする

13. こどもの教育費に不安がある

14. その他 ()

15. 心配事や悩み事はない

問22 お子さんの将来について、お子さんと一緒に考えたり、話したりすることがありますか。 (○は1つ)

1. よくする

2. たまにする

3. あまりしない

4. これまで特にしたことがない

3 あなたの気持ちについてうかがいます

問23 次の①～⑥の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようなようでしたか。

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
① 神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
② 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
③ それぞれ、落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
④ 気分が沈み込んで、何が起こっても、気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
⑤ 何をしても面白く感じなかった	1	2	3	4	5
⑥ 自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

4 家計の状況についてうかがいます

問24 現在の暮らしの状況をどう感じていますか。 (○は1つ)

1. 大変ゆとりがある

2. ゆとりがある

3. ふつう

4. 苦しい

5. 大変苦しい

問25 前年（2024年1月～12月）のあなたの世帯全体の可処分所得（手取り）総額は、合計でおよそいくらですか。以下の図を参考に、就労による所得（会社員の方等は社会保険料、所得税、住民税を引く）に加え、児童手当や公的年金等の受給額に、雇用保険等の支給額や親族等からの仕送りを足した金額でお答えください。 (○は1つ)

1. 50万円未満

2. 50～100万円未満

3. 100～150万円未満

4. 150～200万円未満

5. 200～250万円未満

6. 250～300万円未満

7. 300～350万円未満

8. 350～400万円未満

9. 400～450万円未満

10. 450～500万円未満

11. 500～600万円未満

12. 600～700万円未満

13. 700～800万円未満

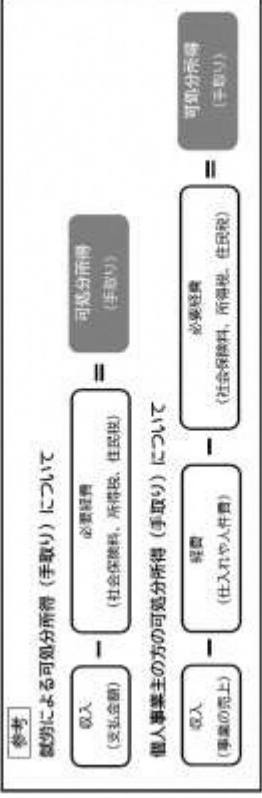
14. 800～900万円未満

15. 900～1000万円未満

16. 1000万円以上

就労による可処分所得（手取り） + 児童手当等の支給額等

→ 児童手当等の年額に、雇用保険等の支給額や親族等からの仕送りを足して算出



問26 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。(ただし、嗜好品は含みません。)(○は1つ)

1. よくあった	2. ときどきあった
3. まれにあった	4. まったくなかった

問27 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。(ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。)(○は1つ)

1. よくあった	2. ときどきあった
3. まれにあった	4. まったくなかった

問28 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(○はいくつでも)

1. 電気料金	2. ガス料金
3. 水道料金	4. まったくなかった

問29 次のうち、経済的理由であなたの世帯にないものはありますか。(○はいくつでも)

1. こどもの年齢にあった本	
2. こども用のスポーツ用品、おもちゃ	
3. こどもが自宅で宿題をすることができる部屋	
4. こどもが必要とする文具や参考書(学校の教科書や副教材を除く)	
5. 洗濯機	
6. 炊飯鍋	
7. 掃除機	
8. 洗濯器具	
9. 冷暖房器具	
10. 電子レンジ	
11. 電話(携帯電話・スマートフォンを含む)	
12. 新聞の定期購読(オンライン購読を含む)	
13. 世帯専用のお風呂	
14. 世帯人数分のベッドまたは布団	
15. その他()	
16. 特になし	

問30 あなたは、あなたの生活にどのくらい満足していますか。
(「まったく満足していない」を0点、「十分に満足している」を10点として、○は1つ)

0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

5 支援制度の利用状況や必要な支援などについてうかがいます

問31 あなたの世帯では、以下の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。(それぞれ○は1つ)

	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない
① 就学援助 ^{※1}	1	2	3
② 生活保護 ^{※2}	1	2	3
③ 生活困窮者の自立支援制度 ^{※3}	1	2	3
④ 児童扶養手当 ^{※4}	1	2	3
⑤ 母子家庭等就業・自立支援センター ^{※5}	1	2	3

※1 就学援助：経済的理由によりこどもの就学が困難な場合に、学用品等を補助する制度
 ※2 生活保護：病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度
 ※3 生活困窮者の自立支援制度：お金、仕事、住むなど、様々な課題を抱えた生活に困窮する方のための相談窓口。専門の支援員が具体的な支援プランを作成し、課題の解決に向けた支援を行う。
 ※4 児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当(児童手当とは異なる)
 ※5 母子家庭等就業・自立支援センター：ひとり親の方が、仕事探しに関する相談や講習を受けられる支援センター。世帯員の取り決めでない限り相談も受けられる。

【問31 ①～⑤ で「利用したことがない」を選んだ方のみお答えください。】

問32 その理由は何か。(それぞれ○は1つ)

制度の対象外 (収入等の条件を満たさない) だと聞かされたから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	
① 就学援助	1	2	3	4	5
② 生活保護	1	2	3	4	5
③ 生活困窮者の自立支援相談窓口	1	2	3	4	5
④ 児童扶養手当	1	2	3	4	5
⑤ 母子家庭等就業・自立支援センター	1	2	3	4	5

問 33 あなたの世帯では、以下の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。

(それぞれ○は1つ)

	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない
① こども食堂（無料または安価で食事を提供）	1	2	3
② 食料支援（フードバンク等）	1	2	3
③ 居場所づくり（無料でこどもが自由に過ごすことができる居場所の提供）	1	2	3
④ 学習支援（無料で宿題など学習指導を提供）	1	2	3

問 34 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等とはどのようなものですか。選択肢番号に○はつけず、に、重要と思うものの上位1番～3番までを回答欄に記入してください。（数字で記入してください）

【回答欄】

1 番目に重要 [] 2 番目に重要 [] 3 番目に重要 []

【選択肢】 ※以下から選んで、【回答欄】に番号を記入してください。

1. こどものことや生活のことなど悩みごとを相談できること
2. 同じような悩みを持った人同士で知り合えること
3. 民生委員・児童委員など地域の人が支援が受けられること
4. 離婚のことや養育費のことなどについて弁護士などの相談が受けられること
5. 病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること
6. 就労のための支援が受けられること
7. 病気や出産、事故などの事情があったときに一時的にこどもを預けられること
8. こどもの就学にかかる費用が軽減されること
9. 一時的に必要な資金を借りられること
10. その他（ ）
11. わからない

問 35 このアンケートでお伺いしたことに關して、日頃お感じになっていることをご自由にお書きください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

小野町では、こどもの健康、福祉、教育の向上と子育てしやすい環境づくりを推進するため、さまざまな施策に取り組んでいます。
このたび、子育てに関する情報を一冊にまとめた「おのまち子育てハンドブック」を作成しましたので、ぜひご活用ください。



以下より内容を
ご覧いただけます。



(2) 小野町 小中学生アンケート調査 (こども向け) 調査票

【小学5年生】

小野町 小中学生アンケート調査

(小学5年生向け)

◆ 調査ご協力をお願い ◆

小野町では今年度、すべてのこども・若者が幸せな生活を送れる社会をつくるために、取り組みの方向性や目標をまとめた「こども計画」をつくることにしています。

この計画をつくるために、小学5年生および中学2年生のみなさんに、アンケート調査を行うことにいたしました。

これからの小野町がこども・若者の気持ちを「まんなか」に置いたまちづくりを進めていくために、ぜひあなた自身のことやあなたの意見について聞かせてください。だから、どのような意見を聞いたか他の人に知られることはありませんので、思ったことを自由に書いてください。

令和7年9月
小野町長 村上 昭正

【記入にあたってのお願い】

- このアンケートは、アンケートを返してあなたが自身がお答えください。安心して答えられるよう、ご家族や学校の先生には見せないでください。
- 質問文をよく読み、あてはまる回答の数字に○をつけてください。また、質問によって○をつける数が増えますので、注意書きに沿ってご記入ください。
- 「その他」に○をつけた場合は、その後の()内に具体的な内容をご記入ください。
- 答えにまよった場合は、あなたの気持ちや考え方にできるだけ近いものに○をつけてください。
- テストではありませんので、思ったとおりに答えてください。
- ご記入いただいたアンケートは、同封してある**返信用封筒**(児童・生使用)に入れ、封をしてください。その後、保護者に記入していただいた調査票と一緒に、大きい封筒(調査票2通と封筒2通が入っているもの)に入れ、封をし、**令和7年10月10日(金)**までに、担任の先生に提出してください。
- アンケートや封筒には、名前や住所を記入する必要はありません。

問い合わせ連絡先

小野町 子育て支援課
住 所：〒963-3401 福島県田村郡小野町大字小野線町字中通 2
電 話：(0247) 72-2212 (直通) FAX：(0247) 72-2313
E-Mail：knsodateshiensaito@ono.fukushima.jp

1 あなた自身のことについてうかがいます

問1 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
(○は1つ)

1. 男	2. 女	3. その他	4. 答えたくない
------	------	--------	-----------

2 勉強や学校のことについてうかがいます

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
※勉強には学校の授業もふくみます。
(○はいくつでも)

1. 自分で勉強する	2. 家で勉強する	3. 学校の補習を受ける	4. 家庭教師に教えてもらう
5. 地域の人が行う無料の勉強会に参加する (放課後子ども教室など)	6. 家の人に教えてもらう	7. 友達と勉強する	8. その他 ()
9. 学校の授業以外で勉強はしない			

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾などの勉強時間もふくみます。
(それぞれ○は1つ)

	まったく しない	30分 より少ない	30分 より少ない	1時間 より少ない	2時間 より少ない	3時間以上
① 学校がある日 (月～金曜日)	1	2	3	4	5	6
② 学校がない日 (土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6

問4 あなたは、あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。
(○は1つ)

1. 上の方	2. やや上の方	3. まんあたり	4. やや下の方	5. 下の方	6. わからない
--------	----------	----------	----------	--------	----------

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。
(○は1つ)

1. いつもわかる	2. だいたいわかる	3. 教科によってはわからないことがある	4. わからないことが多い	5. ほとんどわからない
-----------	------------	----------------------	---------------	--------------

【問5で「3」～「5」を選んだ方のみ、お答えください。】

問6 いつごろから、授業がわからないことになりましたか。 (〇は1つ)

1. 小学1・2年生のころ
2. 小学3・4年生のころ
3. 小学5年生になってから

3 進学への考えについてうかがいます

問7 あなたは、将来、どこまで進学したいですか。 (〇は1つ)

1. 中学校まで
2. 高校まで
3. 専門学校まで
4. 5年制の高等専門学校まで
5. 短大まで
6. 大学まで
7. 大学院まで
8. その他 ()
9. まだわからない →問9へ

【問7で「1」～「8」を選んだ方のみ、お答えください。】

問8 問7の理由は何ですか。 (あてはまるものすべてに〇)

1. 希望する学校や職業があるから
2. 自分の成績から考えて
3. 親がそう言っているから
4. 兄・姉がそうしているから
5. まわりの先輩や友達がそうしているから
6. 家にお金がないと思うから
7. 早く働く必要があるから
8. その他 ()
9. 特に理由はない

【全欄にお聞きします。】

問9 あなたには、将来の夢や目標、やりたい職業、やりたい仕事はありますか。 (〇は1つ)

1. ある
2. どちらかといえばある
3. どちらともいえない、わからない
4. どちらかといえばない
5. ない、考えていない

【問9で「4」どちらかといえばない」「5」ない、考えていない」選んだ方のみ、お答えください。】

問10 夢がない理由はなんですか。 (〇は1つ)

1. もうすべてに満足しているから
2. 夢がかなうのがむずかしいと思うから
3. 具体的に、なにも思うことがないから
4. わからない

4 部活動や地域クラブへの参加状況についてうかがいます

問11 あなたは、学校の部活動や地域のスポーツクラブ・文化クラブに参加していますか。 (〇は1つ)

1. 参加している →問13へ
2. 参加していない →問12へ

【問11で「2」参加していない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問12 参加していない理由は何か。 (〇はいくつでも)

1. 入りたい部活動・クラブがないから
2. 家や習い事が忙しすぎるから
3. 費用がかかるから
4. 家の事情(家族の世話、家事など)があるから
5. 一緒にいる友達がいらないから
6. その他 ()

5 ヤングケアラーについてうかがいます

【全欄にお聞きします。】

「ヤングケアラー」とは以下のような子どもたちのことをいいます。

以下の定義や状態像を踏まえて、「ヤングケアラー」について質問にお答えください。

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族のクラブを要する人ばかりは場合に、本人が思うようにクラブ費を支払いきれず、家事や家族の世話、介護、学業、部活のクラブなどを行っていくには様々な課題の子どもたちもいます。



問13 「ヤングケアラー」という言葉をこれまで聞いたことがありますか。 (〇は1つ)

1. 聞いたことがあり、内容も知っている
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことはない
4. 答えられない

問14 あなたは「ヤングケアラー」にあてはまると思えますか。(○は1つ)

1. あてはまる	2. あてはまらない
3. わからない	4. 答えられない

問15 もしあなたが「ヤングケアラー」の場合、または「ヤングケアラー」のことが身の回りにいた場合、どのような機関や窓口相談したらよいが知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

6 ふだんの生活やあなたの思いについてうかがいます

問16 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(それぞれ○は1つ)

	毎日食べる (週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日、 ほとんど 食べない
① 朝食	1	2	3	4
② 夕食	1	2	3	4
③ 夏休み、冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問17 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、何時に寝ていますか。(○は1つ)

1. 20 時前	2. 20 時～21 時
3. 21 時～22 時	4. 22 時以降
5. 決まっていない	

問18 今悩んでいることや心配なこと、困っていること、だれかに相談したいことがありますか。(○はいくつでも)

1. 家族のこと	2. 勉強のこと
3. 友達のこと	4. 進学や将来のこと
5. その他 ()	
6. 悩んでいることや心配なこと、困っていることではない	

問19 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(○はいくつでも)

1. 親	2. きょうだい
3. 祖父など	4. 学校の先生
5. 学校の友達	6. 学校外の友達
7. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	
8. その他の大人(児童館・塾・習い事の先生、地域の人など)	
9. ネットで知り合った人	
10. その他 ()	
11. だれにも相談できない、相談したくない	

問20 あなたは、あなたの生活にどのくらい満足していますか。
(「まったく満足していない」を0点、「十分に満足している」を10点として、○は1つ)

0 点	1 点	2 点	3 点	4 点	5 点	6 点	7 点	8 点	9 点	10 点
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

問21 あなた自身について、次のことはどのくらいあてはまりますか。(それぞれ○は1つ)

	あてはま る/そう 思う	どちらか といえ ばあては まらな い/そう 思わ ない	どちらか といえ ばあては まらな い/そう 思わ ない	あてはま る/そう 思う	どちらか といえ ばあては まらな い/そう 思わ ない
① 通っている学校や、学校生活が好きだ。	1	2	3	4	5
② だれとでも仲良くなれる・すぐに友達になれる。	1	2	3	4	5
③ 自分は心も体も健康であると思う。	1	2	3	4	5
④ 自分はひとりぼっちだ、孤独だと感じることがある。	1	2	3	4	5
⑤ 自分の将来について明るい希望をもっている	1	2	3	4	5

問22 あなたの今の状況について、次のことはどのくらいあてはまりますか。

	あてはまる ／そう思う	どちらか いえはあ てはまる ／そう思 う	どちらとも 言えない	どちらか といえは あてはま らない ／そう思 わない	(それぞれ○は1つ)
① 家族から愛されており、家では居心地よく安心して過ごしている。	1	2	3	4	5
② 家族といっしょに過ごす時間が十分にある。	1	2	3	4	5
③ 家族は、自分ひとりでは解決できない問題があったとき、自分を裏切りに助けようとしてくれる・サポートしてくれる。	1	2	3	4	5
④ 自分の家庭は、着るものや食べるものにこまることはなく、家は安全で気持ちよく住める環境が整っている。	1	2	3	4	5
⑤ 家庭や学校などで何かを決めるとき、自分の意思や意見を聞いてもらえる・大事にあつかってくれる。	1	2	3	4	5
⑥ 家や学校のほかに、安心して過ごせて、居心地がよく、自分の個性がみとめられる居場所がある。※地域のクラブ活動(こども会)、通学や習い事、こども食堂、オンラインゲームなど。	1	2	3	4	5
⑦ 家族(祖父母、親、きょうだい)の世話や家事で、自分の時間(勉強や友達と遊ぶ時間など)が十分に取れないことがある。	1	2	3	4	5

6

問23 次のことについて、あなたの実感として、どのくらいあてはまりますか。(それぞれ○は1つ)

	あてはまる ／そう思う	どちらか いえはあ てはまる ／そう思 う	どちらとも 言えない	どちらか といえはあ てはまる ／そう思 わない	(それぞれ○は1つ)
①今の自分が好きだ。	1	2	3	4	5
②自分には、自分らしさというものがある。	1	2	3	4	5
③自分は、大人になって社会に出ても生活していけると思う。	1	2	3	4	5

問24 あなたが持っているものや、あなたが自由に使うことができるものを選んでください。(○はいくつでも)

1. 本・参考書(教科書やマンガをのぞく)	2. マンガ・ざっし
3. ゲーム機	4. 自分用のテレビ
5. パソコン	
6. スマートフォン・携帯電話・タブレット機器	
(通話アプリ等(LINE)やSMSなどができるもの)	
7. 自転車	8. 運動用具(ボール・ラケットなど)
9. 習い事などの道具(ピアノなど)	10. キャラクターグッズ
11. 化粧品・アクセサリー	12. 自分で選んだ服
13. 自分の部屋	
14. その他()	
15. あてはまるものはない	

問25 次の場所は、今のあなたにとって居場所(ほっとできる場所、居心地の良い場所など)になっていますか。(それぞれ○は1つ)

	そう思う	どちらか いえは そう思 う	どちらか といえ は そう思 う	どちらとも 言えない	あてはまる ものばな いから いいわ
ア) 自分の部屋	1	2	3	4	5
イ) 家庭(実家や親族の家をふくむ)	1	2	3	4	5
ウ) 学校(卒業した学校をふくむ)	1	2	3	4	5
エ) 地域(図書館や文化の館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など)	1	2	3	4	5
オ) インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)	1	2	3	4	5

7

問 26 学校が終わったあと、どのようにすごすことが多いですか。 (多い順に3つまで番号を記入)

【回答らん】

1番目 []	2番目 []	3番目 []
-------------	-------------	-------------

【選択肢】 ※以下から選んで、【回答らん】に番号を記入してください。

1. 自分の家
2. 塾や習い事
3. 地域のクラブ活動 (スポーツ少年団など)
4. 児童館 (自由来館)
5. 放課後児童クラブ・学童保育
6. 放課後子ども教室 (公民館)
7. 文化の館 (図書館) で勉強
8. 友達の家で遊ぶ
9. 友達と外で遊ぶ
10. 家の外で一人ですごす
11. その他 ()

問 27 あなたの健康状態はどうですか。 (○は1つ)

1. 良い	2. どちらかといえば良い
3. ふつう	4. どちらかといえば悪い
5. 悪い	

7 様々な支援の状況についてうかがいます

問 28 あなたは、次の①～④のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。 (それぞれ○は1つ)

	利用したこと がある	おれは利用 したいと思う	今後利用 したいと 思わない	今後利用した いかどうか 分からない
① (自分や友人の家以外で) 平日の放課後や 休日をするところができる場所 (児童館・ 文化の館など)	1	2	3	4
② (自分や友人の家以外で) こはんを無料が安 く食べることができる場所 (子ども食堂な ど)	1	2	3	4
③ 放送を無料でみでくれる場所 (放課後子ども 教室など)	1	2	3	4
④ (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談をふくむ。)	1	2	3	4

8

【問 28 で1つでも「利用したことがある」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 29 そこを利用することで、以下のような変化がありましたか。 (あてはまるものすべてに○)

1. 友だちがふえた	2. 気軽に話せる大人がふえた
3. 生活の中で楽しみなことがふえた	4. ほっとできる時間がふえた
5. 栄養のある食事をとれることがふえた	6. 勉強がわかるようになった
7. 勉強する時間がふえた	8. その他 ()
9. 特に変化はない	

8 こどもの権利についてうかがいます

「権利」は、みんなが安心して楽しく生活できるようにするために守られている大切なルールや約束のことです。こどもも大人と同じように「こどもの権利」を持っています。変幻してくらせることや、自由に意見を言ったり、いろいろなことのできるこどもがふくまれています。

問 30 あなたは「こどもの権利」について聞いたことがありますか。 (○は1つ)	
1. くわしく知っている	2. 知っている
3. 聞いたことがある	4. 聞いたことはない

【問 30 で「くわしく知っている」2 知っている」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 31 最近、あなたの「こどもの権利」は守られていると思いますか。

1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う
3. どちらとも言えない	4. どちらかといえばそう思わない
5. まったくそう思わない	

(○は1つ)

(○は1つ)

こどももみんなが社会とは、すべてのこどもも若者が幸いにくらするよに、常にこどもも若者の今とこれからにとって最もよいことは何かを考え、社会全体で応援して変える社会のことです。

(それぞれは1つ)

問 34 このアンケートでお聞きしたことについて、ふだん感じていることを、ご自由にお書きください。

問 34 このアンケートでお聞きしたことについて、ふだん感じていることを、ご自由にお書きください。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

【中学2年生】

小野町 小中学生アンケート調査
(中学2年生向け)



◆ 調査ご協力をお願い ◆

小野町では今年度、すべての子ども・若者が幸せな生活を送れる社会をつくるために、取り組みの方向性や目標をまとめた「こども計画」をつくることにしています。

この計画をつくるために、小学5年生及び中学2年生のみさんに、アンケート調査を実施することになりました。

これからの小野町が子ども・若者の気持ちを「まんなか」に置いたまちづくりを進めていくために、ぜひあなた自身のことやあなたの意見について聞かせてください。だが、どのような意見を書いたが他の人に知られることはありませんので、思ったことを自由に書いてください。

令和7年9月

小野町長 村上 昭正

【ご記入にあたってのお願い】

1. このアンケートは、アンケートを受け取ったあなた自身が答えください。安心して答えられるよう、ご家族や学校の先生には見せないでください。
2. 質問文をよく読み、あてはまる回答の数字に○をつけてください。また、質問によって○をつける数が増えますので、注意書きに沿ってご記入ください。
3. 「その他」に○をつけた場合は、その後の()内に具体的な内容をご記入ください。
4. 答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考え方にできるだけ近いもの○をつけてください。
5. テストではありませんので、思ったとおりに答えてください。
6. ご記入いただいたアンケートは、同封してある提出用封筒(児童・生使用)に入れ、封をしてください。その後、保護者に記入していただいた調査票と一緒に、大きい封筒(調査票2通と封筒2部が入っているもの)に入れ、封をし、**令和7年10月10日(金)**までに、担任の先生に提出してください。
7. アンケートや封筒には、名前や住所を記入する必要はありません。

問い合わせ先

小野町 子育て支援課
住 所：〒963-3401 福島県田村郡小野町大字小野新町字中通 2
電 話：(0247) 72-2212 (直通) FAX：(0247) 72-2313
E-Mail：kousodate@kenkaetown.onu.fukushima.jp

1 あなた自身のことについてうかがいます

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1. 男 2. 女 3. その他 4. 答えたくない

2 勉強や学校のことについてうかがいます

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

※勉強には学校の宿題も含みます。(○はいくつでも)

1. 自分で勉強する
2. 塾で勉強する
3. 学校の補習を受ける
4. 家庭教師に教えてもらう
5. 地域の人が行う無料の勉強会に参加する
6. 家の人に教えてもらう
7. 友達と勉強する
8. その他 ()
9. 学校の授業以外で勉強はしない

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。

※学校の勉強をする時間や、塾などの勉強時間も含まれます。(それぞれ○は1つ)

	まったく しない	30分以 上、1時間 より少ない	1時間以 上、2時間 より少ない	2時間以 上、3時間 より少ない	3時間以 上
① 学校がある日 (月～金曜日)	1	2	3	4	5
② 学校がない日 (土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(○は1つ)

1. 上の方 2. やや上の方 3. まん中あたり
4. やや下の方 5. 下の方 6. わからない

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(○は1つ)

1. いつもわかる
2. だいたいわかる →問7へ
3. 教科によってはわからないことがある
4. わからないことが多い →問6へ
5. ほとんどわからない

1. 聞いたことがあり、内容も知っている
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことはない
4. 笑えない

問14 あなたは「ヤングケアラー」にあてはまると思えますか。(○は1つ)

1. あてはまる	2. あてはまらない
3. わからない	4. 答えられない

問15 もしあなたが「ヤングケアラー」の場合、または「ヤングケアラー」の子どもが身の回りにいた場合、どのような機関や窓口相談したらよいが知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

6 普段の生活やあなたの思いについてうかがいます

問16 あなたは週にどのくらい、食事をしていきますか。(それぞれ○は1つ)

	毎日食べる (週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日、 ほとんど 食べない
① 朝食	1	2	3	4
② 夕食	1	2	3	4
③ 夏休み、冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問17 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、何時に寝ていますか。(○は1つ)

1. 20 時前	2. 20 時～21 時
3. 21 時～22 時	4. 22 時以降
5. 決まっていない	

問18 今悩んでいることや心配なこと、困っていること、誰かに相談したいことがありますか。(○はいくつでも)

1. 家族のこと	2. 勉強のこと
3. 友達のこと	4. 進学や将来のこと
5. その他 ()	
6. 悩んでいることや心配なこと、困っていることはない	

問19 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人は誰ですか。(○はいくつでも)

1. 親	2. きょうだい
3. 祖父母など	4. 学校の先生
5. 学校の友達	6. 学校外の友達
7. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	
8. その他の大人(塾・習い事の先生、地域の人など)	
9. ネットで知り合った人	
10. その他 ()	
11. 誰にも相談できない、相談したくない	

問20 あなたは、あなたの生活にどのくらい満足していますか。(まったく満足していない)を0点、「十分に満足している」を10点として、○は1つ)

0 点	1 点	2 点	3 点	4 点	5 点	6 点	7 点	8 点	9 点	10 点
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

問21 あなた自身について、次のことはどのくらいあてはまりますか。(それぞれ○は1つ)

	あてはま る/そう 思う	どちらか といえ ばあて はま る/そ う思 う	どちら とも い え	どちら か とい え ば あ て は ま ら な い / そ う 思 わ な い
① 通っている学校や、学校生活が好きだ。	1	2	3	4 5
② だれとでも仲良くなれる・すぐに友達になれる。	1	2	3	4 5
③ 自分は心も体も健康であると思う。	1	2	3	4 5
④ 自分はひとりぼっちだ、孤独だと感じることがある。	1	2	3	4 5
⑤ 自分の将来について明るい希望をもっている	1	2	3	4 5

問 22 あなたの今の状況について、次のことはどのくらいあてはまりますか。

	あてはまる ／そう思う	どちらか いえばあて はまる／そ う思う	どちらか といえは あてはま らない／ そう思わ ない	(それぞれ○は1つ)
① 家族から愛されておいて、家では居心地よく安心して過ごしている。	1	2	3	4 5
② 家族といっしょに過ごす時間が十分にある。	1	2	3	4 5
③ 家族は、自分ひとりでは解決できない問題があったとき、自分を真実に助けようとしてくれる・サポートしてくれる。	1	2	3	4 5
④ 自分の家族は、著るものや食べるものに困ることはなく、家は安全で気持ちよく住める環境が整っている。	1	2	3	4 5
⑤ 家族や学校などで何かを決めるとき、自分の意思や意見を聞いてもらえる・大事にあつかってくれる。	1	2	3	4 5
⑥ 家や学校のほかに、安心して過ごせて、居心地がよく、自分の関心がみつめられる居場所がある。※地域のクラブ活動(こども会、塾や習い事、こども食堂、オンラインゲームなど。	1	2	3	4 5
⑦ 家族(祖父母、親、きょうだい)の世話や家事で、自分の時間(勉強や友達と遊ぶ時間など)が十分に取れないことがある。	1	2	3	4 5

6

問 23 次のことについて、あなたの実感として、どのくらいあてはまりますか。

	あてはまる ／そう思う	どちらかとい えばあて はまる／そ う思う	どちらとも 言えない	どちらかとい えばあて はまる／そ う思わ ない	あてはま らない／ そう思わ ない
①今の自分が好きだ。	1	2	3	4	5
②自分には、自分らしさというものがある。	1	2	3	4	5
③自分は、大人になって社会に出ても生活 していけると思う。	1	2	3	4	5

問 24 あなたが持っているものや、あなたが自由に使うことができるものを選んでください。
(○はいくつでも)

1. 本・参考書(教科書やマンガを除く)	2. マンガ・雑誌
3. ゲーム機	4. 自家用のテレビ
5. パソコン	
6. スマートフォン・携帯電話・タブレット機器	
(通話アプリ等(LINE)やSMSなどができるもの)	
7. 自転車	8. 運動用具(ボール・ラケットなど)
9. 習い事などの道具(ピアノなど)	10. キャラクターグッズ
11. 化粧品・アクセサリー	12. 自分で選んだ服
13. 自分の部屋	
14. その他()	
15. あてはまるものはない	

問 25 次の場所は、今のあなたにとって居場所(ほっとできる場所、居心地の良い場所など)になっていますか。
(それぞれ○は1つ)

	そう思う	どちらか いえば そう思う	どちらか といえは そう思わ ない	あてはま る／はな い／わか らない
ア) 自分の部屋	1	2	3	4 5
イ) 家庭(実家や親族の家を含む)	1	2	3	4 5
ウ) 学校(卒業した学校を含む)	1	2	3	4 5
エ) 地域(児童館や文化の館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など)	1	2	3	4 5
オ) インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)	1	2	3	4 5

7

問 26 学校が終わったあと、どのように過ごすことが多いですか。 (多い順に3つまで番号を記入)

【回答欄】

1番目 []	2番目 []	3番目 []
-------------	-------------	-------------

【選択肢】 ※以下から選んで、【回答欄】に番号を記入してください。

1. 自分の家
2. 塾や習い事
3. 部活動
4. 地域のクラブ活動 (スポーツ少年団など)
5. 児童館
6. 文化の館 (図書館) で勉強
7. 友達の家で遊ぶ
8. 友達と外で遊ぶ
9. 家の外で一人で過ごす
10. その他 ()

問 27 あなたの健康状態はどうですか。

- | | | |
|--------|---------------|--------|
| 1. 良い | 2. どちらかといえば良い | (○は1つ) |
| 3. ふつう | 4. どちらかといえば悪い | |
| 5. 悪い | | |

7 様々な支援の状況についてうかがいます

問 28 あなたは、次の①～④のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。
(それぞれ○は1つ)

	利用したこと がある	あれば利用 したいと思う	今後利用 したいと 思わない	今後利用した いかどうか 分からない
① (自分や友人の家以外で) 平日の放課後 や休日過ごすことができる場所 (児童 館・文化の館など)	1	2	3	4
② (自分や友人の家以外で) こばんを無料で安 く食べることができる場所 (子ども食堂な ど)	1	2	3	4
③ 勉強を無料でみてくれる場所 (夏休みセル フ・スタディなど)	1	2	3	4
④ (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)	1	2	3	4

【問 28 で1つでも「利用したことがある」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 29 そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。 (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 友だちが増えた | 2. 気軽に話せる大人が増えた |
| 3. 生活の中で楽しみが増えた | 4. ほっとできる時間が増えた |
| 5. 栄養のある食事をとれることが増えた | 6. 勉強がわかるようになった |
| 7. 勉強する時間が増えた | 8. その他 () |
| 9. 特に変化はない | |

8 こどもの権利についてうかがいます

「権利」は、みんなが安心して楽しく生活するために守られている大切なルールや約束のことです。こどもも大人と同じように「こどもの権利」を持っています。安心して暮らせることや、自由に意見を言ったり、いろいろなことができることが含まれています。

- 問 30 あなたは「こどもの権利」について聞いたことがありますか。 (○は1つ)
- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 全くわかっていない | 2. 知っている |
| 3. 聞いたことがある | 4. 聞いたことはない |

【問 30 で「1」くわしく知っている「2」知っている」を選んだ方のみ、お答えください。】
問 31 現在、あなたの「こどもの権利」は守られていると思いますか。

- | | | |
|---------------|-------------------|--------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | (○は1つ) |
| 3. どちらとも言えない | 4. どちらかといえばそう思わない | |
| 5. まったくそう思わない | | |

こどももみんなが社会とは、すべてのこどもや若者たちが幸せに暮らせるように、特にこどもや若者の今とこれからにとって最もよいことは何かを考え、社会全体で応援して支える社会のことです。

(それぞれ○は1つ)

問 34 このアングレートでお聞きしたことについて、心だん感じていることを、ご自由にお書きください。

問 34 このアングレートでお聞きしたことについて、心だん感じていることを、ご自由にお書きください。

10

(3) 小野町 若者アンケート調査 (18～39 歳の方向け) 調査票

1 あなた自身のことやご家族の状況についてうかがいます		
問1 あなたの性別をお答えください。	(○は1つ)	
1. 男性	2. 女性	
3. その他 (どちらともいえない・わからない・答えたくない)		
問2 あなたの年齢をお答えください。 ※令和7年4月1日現在の年齢をお答えください。(数字でご記入ください)		
歳		
問3 現在、あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。※里親や児童養護施設などで暮らしている方は、18. その他」をお選びください	(○はいくつでも)	
1. 父	2. 母	3. きょうだい
4. 祖父母	5. 配偶者・パートナー	6. あなたの子
7. その他親族	8. その他 ()	9. 同居している人はいない
問4 あなたの暮らし向き (衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準) は、世間一般と比べてみて、上から下までのどれにああたると感じますか。あなたの要領でお答えください。(○は1つ)		
1. 上	2. 中の上	3. 中
4. 中下	5. 下	
問5 あなたが最後に卒業 (中退を含む) した学校はどこですか。 在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。(○は1つ)		
1. 中学校	2. 高等学校	
3. 専門学校・専門学校	4. 高等専門学校・短期大学	
5. 大学・大学院	6. その他 ()	
問6 あなたの現在の職業をお答えください。(○は1つ)		
1. 学生・生徒 (予備校生などを含む)	2. パート・アルバイト	
3. 派遣社員	4. 契約社員・職託	
5. 正職の社員・職員・従業員	6. 会社などの役員	
7. 自営業・自由業	8. 専業主婦・専業主夫	
9. 無職 (仕事を探している/専業主婦・主夫を含む) →問7へ		
10. 無職 (仕事を探していない/専業主婦・主夫を含む) →問7へ		
11. その他 ()		

小野町 若者アンケート調査

(18歳～39歳の方向け)

◆ 調査ご協力をお願い ◆

日頃より町政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

小野町では今年度、すべてのこども・若者が生き生きと活躍し、幸せな生活を送れる社会をつくるため、取り組みの方向性や目標をまとめた「こども計画」を策定することになっています。

この計画の策定にあたり、次代を担う若者の皆様へ、普段の生活状況や将来に関するご意見などをお聞かせいただきたく、アンケート調査を実施することにいたしました。

本調査は、令和7年4月1日時点で18歳から39歳の方に実施するもので、調査結果は、統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありませんので、安心してご回答ください。

ご多忙のこととは存じますが、こども・若者支援に取り組むための重要な調査となりますので、ご協力をお願い申し上げます。

令和7年9月

小野町長 村上 昭正

【ご記入にあたってのお願い】

1. このアンケートは、封筒の宛て名のあなた自身がお答えください。
2. 黒いボールペンまたは鉛筆でご記入ください。
3. 答えたくない質問には無理に答えなくても大丈夫です。
4. ご回答は、「○は1つ」「○はいくつでも」等の表記に従って、該当する番号に○をつけてください。
(一部、数字をご記入いただく説明もございます)
5. 「その他」に○をつけた場合は、その後の()内に具体的な内容をご記入ください。
6. ご記入がすぎましたら、同封の返信封筒 (切手は不要) に入れて、
令和7年10月10日 (金) までに郵便ポストにご投函ください。
7. アンケートや封筒には、名前や住所を記入する必要はありません。

問い合わせ先

小野町 子育て支援課

住 所：〒943-3401 福島県田村郡小野町大字小野新町字中通2
電 話：(0247) 72-2212 (直通) FAX：(0247) 72-2313
E-Mail：kosodate@shienka@town.ono.fukushima.jp

【問6で「9. 無職（仕事を探している）」「10. 無職（仕事を探していない）」を選んだ方のみ、お答えください。】

問7 就労することに関して、あなたはどのような支援であれば利用してみたいと思いますか。

(○はいくつでも)

1. 不規則な生活を整えるための支援	
2. 気軽に立ち寄れて同じような立場の人と交流できる場の提供	
3. 就職に関する悩みや不安の相談	
4. 個人の状況やペースに寄り添った、ある程度の期間をとおした相談支援	
5. メンタルヘルスに関わる講座	
6. キャリアカウンセリングや進路決定の情報提供	
7. コミュニケーションやビジネスマナーの講座	
8. 仕事を体験する機会の提供	
9. 面接等の練習	
10. 求人情報の紹介	
11. その他（ ）	
12. 何もない	

2 あなたの日頃の意識と生活についてうかがいます

問8 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。

(それぞれ○は1つ)

	あてはまる	ふつう	ふつう	ふつう	あてはまる
ア) 自分には自分らしいというものがあると思う	1	2	3	4	あてはまる
イ) 将来よりも今の生活を楽しみたい	1	2	3	4	あてはまる
ウ) 努力すれば希望する職業に就くことができる	1	2	3	4	あてはまる
エ) 今の自分が好きだ	1	2	3	4	あてはまる
オ) 自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ	1	2	3	4	あてはまる
カ) 自分の親（保護者）から愛されていると思う	1	2	3	4	あてはまる
キ) うまくいくかわからないことにも建設的に取り組む	1	2	3	4	あてはまる

問9 あなたは、今、自分が幸せだと思えますか。あなたの更感をお答えください。

(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない
4. そう思わない

問10 あなたは、あなたの生活にどのくらい満足していますか。

(「まったく満足していない」を0点、「十分に満足している」を10点として、○は1つ)

0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

問11 あなたはどの程度、孤独であると感じていますか。

(○は1つ)

1. 決してない
2. ほとんどない
3. たまにある
4. 時々ある
5. しばしばある・常にある

問12 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。

(○は1つ)

1. そう思う	2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない	4. そう思わない

問13 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。

(○は1つ)

1. 希望がある	2. どちらかといえば、希望がある
3. どちらかといえば、希望がない	4. 希望がない

問14 普段ご自宅（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。

(○はいくつでも)

1. テレビを見る	2. ラジオを聴く
3. 本を読む	4. 新聞を読む
5. ゲームをする	6. 勉強をする
7. 仕事をする	8. 家事をする
9. 育児をする	10. 介護・看護をする
11. インターネットをする	12. あてはまるものはない

問 15 次の場所を、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。（それぞれ○は1つ）

	かなり居る	少し居る	少し居る	かなり居る	少し居る	かなり居る
ア) 自分の部屋	1	2	3	4	5	
イ) 家庭（実家や親族の家を含む）	1	2	3	4	5	
ウ) 学校（卒業した学校を含む）	1	2	3	4	5	
エ) 職場（過去の職場を含む）	1	2	3	4	5	
オ) 地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）	1	2	3	4	5	
カ) インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）	1	2	3	4	5	

問 16 次の人達は、あなたが困ったときに助けてくれると思いますか。（それぞれ○は1つ）

	かなり助る	少し助る	少し助る	かなり助る	少し助る	かなり助る
ア) 家族・親族	1	2	3	4	5	
イ) 学校で出会った人（現在通っている学校の友人、かつての同級生など）	1	2	3	4	5	
ウ) 職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）	1	2	3	4	5	
エ) 地域の人（近所の人、町内会などの友人、地域などの地域活動での知人、習い事などの知人、参加しているNPO法人など）	1	2	3	4	5	
オ) インターネット上における人やグループ（SNSには会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても基本的にはインターネット中心での付き合いの人やグループなど）	1	2	3	4	5	

問 17 あなたは、他の人と付き合う時、次のようなことがどのくらいあてはまりますか。（それぞれ○は1つ）

	あてはまる	あてはまる	あてはまる	あてはまる	あてはまる
ア) 誰とでもすぐ仲良くなれる	1	2	3	4	
イ) 職場や学校ですぐ友達ができる	1	2	3	4	
ウ) 表情やしぐさで相手の思っていることがわかる	1	2	3	4	
エ) 親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る	1	2	3	4	
オ) その場に合った行動がとれる	1	2	3	4	
カ) 表情が豊かである	1	2	3	4	
キ) 気持ちを抑えようとしても、顔に出してしまう	1	2	3	4	
ク) 人にぶつかっても、あやまらないことがある	1	2	3	4	

問 18 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことにしてお答えください。（○は1つ）

1. 仕事や学校で平日は毎日外出する	2. 仕事や学校で週に3～4日外出する
3. 遊び等で頻りに外出する	4. 人づきあいのために時々外出する
5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する	6. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどに1. 自宅からは出るが、家からは出ない
7. 自宅からは出るが、家からは出ない	8. 自宅からはほとんど出ない

*【問 18 で「5」～「8」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 19 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 学校になじめなかったこと	2. 小学校時代の不登校	3. 中学校時代の不登校	4. 高校時代の不登校	5. 大学（専門学校、短期大学等を含む）時代の不登校	6. 受験に失敗したこと（高校・大学等）	7. 就職活動がうまくいかなかったこと	8. 職場になじめなかったこと	9. 人間関係がうまくいかなかったこと	10. 病気（病名： ）	11. 妊娠したこと	12. 退職したこと	13. 介護・看護を担うことになったこと	14. 新型コロナウイルス感染症が流行したこと	15. その他（ ）	16. 特に理由はない	17. わからない
-----------------	--------------	--------------	-------------	----------------------------	----------------------	---------------------	-----------------	---------------------	--------------	------------	------------	----------------------	-------------------------	------------	-------------	-----------

【問18で「5」～「8」を選んだ方のみ、お答えください。】
問20 最近6か月間に、家族以外の人と会話しましたか。

1. よく会話した	2. ときどき会話した	(○は1つ)
3. ほとんど会話しなかった	4. まったく会話しなかった	

【全問にお答えします。】

問21 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることできなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況がありますか。

1. 今までに経験があった（または、現在ある）	2. どちらかといえば、あった（ある）	(○は1つ)
3. どちらかといえば、なかった（ない）→問25へ	4. なかった（ない）→問25へ	
5. わからない、答えられない→問25へ		

【問21で「1」今までに経験があった（または、現在ある）「2」どちらかといえば、あった（ある）を選んだ方のみ、お答えください。】

問22 そうした問題を経験した、又は現在経験している主な原因は何ですか。

1. 自分自身が原因 (人づき合いが苦手、精神的・身体的な病気やケガ、奨励、何事にも否定的、勉強が苦手、悩み不安が相談できない など)	(○はいくつでも)
2. 家庭・家族が原因 (家族内不和や離別、家庭内孤立、親(保護者)の過度な期待・放任・厳しいしつけ・虐待・過干渉・日やかし、親(保護者)への反感、家庭が貧しい、家庭が裕福、看護・介護(自分が担い手) など)	
3. 学校が原因 (成績、授業についていけない、先生や友達との関係、校則、集団行動、いじめ、体罰やハラスメント、不登校、中退、受検、不本意な入学 など)	
4. 仕事・職場が原因 (職場になじめない、上司や同僚との関係が悪い、就職、退職や解雇、仕事上でのミス、仕事の量や内容が自分の能力を超えている、仕事が自分に向いていない、いじめ・ハラスメント、働きたくない、自分の才能や特技を生かさない、本当に自分がやりたい仕事ではない など)	
5. その他 ()	
6. 特に理由はない	
7. わからない	

【問21で「1」今までに経験があった（または、現在ある）「2」どちらかといえば、あった（ある）を選んだ方のみ、お答えください。】

問23 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、最もあてはまるものを選んでください。

1. あった	2. どちらかといえば、あった
3. どちらかといえば、なかった→問25へ	4. なかった→問25へ
5. わからない→問25へ	

【問23で「1」あった「2」どちらかといえば、あった」を選んだ方のみ、お答えください。】

問24 状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思えますか。

1. 家族や親戚の助け	(○はいくつでも)
2. 友人の助け	
3. 学校の先生に相談したこと	
4. スクールカウンセラーなど学校にいる専門家に相談したこと	
5. 地域の人の助け	
6. 病院に行って相談したこと	
7. 役場や民間の相談機関に行って相談したこと	
8. 電話相談を利用したこと	
9. SMS やメール相談などを利用したこと	
10. 同じようにうまくいかなかった経験をした人に話してみたこと	
11. 就職・転職したこと	
12. 趣味の活動に参加したこと	
13. 時間がたって状況が変化したこと	
14. 自分の努力で乗りこえたこと	
15. その他 ()	
16. わからない、答えられない	

【全問にお答えします。】

問25 あなたは今、どんなことに悩んだり困ったりしていますか。

1. 仕事	2. 就職	(○は3つまで)
3. 家計・金銭	4. 学業	
5. 家庭・家族	6. 友人や仲間との関係	
7. 恋愛・結婚	8. 自分の外見や性格	
9. 自分の将来	10. 性	
11. 健康	12. 地域や社会	
13. その他 ()	14. 悩みや困りごとはない	

問 26 あなたが、物事がうまくいかず落ち込んだ時に、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思えますか。
(〇はいくつでも)

1. 相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある
2. 相手が同世代である
3. 相手が同性である
4. 匿名で（自分が誰かを知らずに）相談できる
5. 電話で相談できる
6. SNS やメールなどで相談できる
7. 曜日・時間帯を気にせずに相談できる
8. 相談できる場所が自宅から近い
9. 相手が自宅に来てくれる
10. 無料で相談できる
11. 相手先が公的な支援機関である
12. 相手先が民間の支援団体（NPO など）である
13. 相手が医師である
14. 相手がカウンセラーなど心理学の専門家である
15. その他（ ）
16. 誰にも相談したくない

【問 26 で「16」を選んでも相談したくない理由をお答えください。】

問 27 相談したくないと思う理由は何ですか。
(〇はいくつでも)

1. 相談しても解決できないと思うから
2. 自分ひとりで解決するべきだと思うから
3. 誰にも知られたくないことだから
4. 自分が変な人に思われるのではないかと不安だから
5. 自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから
6. 相手がどんな人がわからないから
7. 何を聞かれるが不安に思うから
8. 嫌なこと、できないことをするように言われそうだから
9. 相手にうまく伝えられないから
10. 裏切られたり、失望するのが嫌だから
11. お金がかかると思うから
12. その他（ ）
13. 特に理由はない、わからない

【全員にお聞きします。】

問 28 あなたは、こども・若者を対象とした相談支援機関等を知っていますか。
知っている相談支援機関等をすべて選んでください。
(〇はいくつでも)

1. 精神保健福祉センター
2. ひきこもり相談支援センター
3. 発達障がい者支援センター
4. こども・若者総合相談センター、教育相談所、相談室などの相談機関
5. 児童相談所・福祉事務所などの児童福祉機関
6. 教育支援センター（通訳指導教室）
7. 青少年交流の家、青少年自然の家等
8. 職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関
9. 児童館
10. フリースクール（フリースペース）
11. 通信制高校のサポート校
12. 青少年センターや青少年プラザなど、若者の自主的な活動を支援する施設
13. その他民間の機関（自然体験活動、学習支援、就労支援、ひきこもりの支援など若者育成支援を行うNPO など）
14. どれも知らない→問 30へ

【問 28 で「1」～「13」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 29 これらの機関を利用したことはありますか。
(〇は1つ)

1. ある
2. ない

【全員にお聞きします。】

問 30 問 28 にある機関等について利用したいと思えますか。
(〇は1つ)

1. 利用したいと思う
2. どちらかといえば利用したいと思う
3. どちらかといえば利用したいと思わない
4. 利用したいと思わない

3 ヤングケアラー・若者ケアラーについてうかがいます

ヤングケアラー・若者ケアラーとは

ヤングケアラーとは、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている、18歳未満のことです。

若者ケアラーとは、18歳～おおむね30歳代までのケアラーのことです。若い世代には、進学や就職、キャリア形成、仕事と介護の両立、人生設計など、若い世代固有の課題があります。



【全欄にお聞きします。】

問31 ヤングケアラーまたは若者ケアラーという言葉をこれまでに聞いたことがありますか。(○は1つ)

1. 聞いたことがあります
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことはない
4. 答えられない

問32 あなたは若者ケアラーにあてはまると思えますか。(○は1つ)

1. あてはまる
2. あてはまらない
3. わからない
4. 答えられない

問33 もしあなたが若者ケアラーの場合、またはヤングケアラーや若者ケアラーが身の周りにいた場合、どのような機関や窓口にご相談したらよいか知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている
2. 知らない

4 結婚に対する考え方についてうかがいます

問34 あなたは現在、結婚（事実婚含む）していますか。(○は1つ)

1. 結婚している→問37へ
2. 結婚していない→問35へ

【問34で「2. 結婚していない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問35 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対する考えは、次のどちらですか。(○は1つ)

1. いずれ結婚するつもり→問37へ
2. 結婚するつもりはない→問36へ

【問35で「2. 結婚するつもりはない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問36 結婚するつもりがないのはなぜですか。(○はいくつでも)

1. 結婚に向けて行動を起こすことが面倒だから
2. 結婚生活そのものが面倒または大変そうだから
3. 結婚しなくても別に困らないから
4. 一人の方が気楽だから
5. 自分に自信がないから
6. 人とコミュニケーションをとるのが苦手だから
7. お金がないから
8. 時間がないから
9. その他 ()

【全欄にお聞きします。】

問37 あなたは、結婚に対してどのようなイメージを持っていますか。(○はいくつでも)

1. 好きな人と絆を深められ幸せそう
2. 心遣いや経済面で安定した生活が送れる
3. お金がかかりそう
4. 家事や子育て等の負担が増える
5. 社会的責任が重くなる
6. 親戚との付き合い等面倒が増える
7. 特にない・わからない
8. その他 ()

問38 あなたにとって、結婚に繋がると思う出会いのシーンは、次のうちどれですか。(○はいくつでも)
※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけをお選びください。

1. 職場・バイト先
2. 家族・知人の紹介
3. 学校・大学
4. 趣味を共有する場
5. 合コン、飲み会
6. 婚活イベント
7. インターネット、SNS
8. マッチングアプリ
9. その他 ()

5 子育てに対する考え方についてうかがいます

問39 あなたはこの地域で子育てを行いたいと思いますか。 (〇は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない
4. そう思わない

問40 あなたにとって「①希望のこどもの人数」と「②実際に持つつもりの子どもの人数」は何人ですか。

※お子さんがおられる方は、②実際に持つつもりの子どもの人数（現在のお子さんの数も含む）を記入してください。

※お子さんを持つつもりがない方は、①②に0人と記入してください。（数字でご記入ください。）

① 希望のこどもの人数 人 ② 実際に持つつもりの子どもの人数 人

【問40で、①と②ともに「0人」と回答した方や、②実際に持つつもりの子どもの数より、①希望のこども数が多い方のみ、お答えください。】

※例：②実際に持つつもりの子どもの数が2人、①希望のこども数が3人、など

問41 どのような環境が望まばもう1人以上の子どもの数を持ちたいと思いますか。 (〇はいくつでも)

1. 不安や課題は特になく、家族と前向きにもう1人以上の子どもの数を持ちたいと考えている
2. 保育所等こどもを預かってくれる環境が望まば持ちたい
3. 子育てや教育に関する経済的負担が軽減できれば持ちたい
4. 家族の理解（パートナーの子育てへの積極的参加など）が望まば持ちたい
5. 労働環境（働くところが見つかると）が望まば持ちたい
6. その他（）

【全欄にお聞きします。】

問42 こどもを持つことや子育てに対して前向きになれると思う要素や行政に求める支援施策は何ですか。 (〇は3つまで)

1. 安定した雇用機会の提供
2. 家計の安定に対する支援の充実（補助や手当等）
3. 住宅に対する補助や支援の充実
4. 保育所等預け先に対する給費の充実
5. 育児休業等、こどもを持つ方が働く環境に対する支援の充実
6. 不妊治療に関する補助や支援の充実
7. パートナーが積極的に育児に関与すること
8. 企業・事業所の福利厚生者の充実（収入の保障や休暇制度）
9. 両親の雇力が得られやすいこと
10. 育児体験（指っこやおむつ替え、一緒に遊ぶなど）などふれあいの機会の創出
11. その他（）
12. 特にない・わからない

- 12 -

6 住まいについてうかがいます

問43 あなたは小野町に今後住みたいと思いますか。または、一時期町外に転出して小野町に（〇は1つ）
住みたいと思いますか。

1. そう思う
2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない
4. そう思わない

問44 将来の住む地域（居住地）を決める際に重要視することは何ですか。 (〇は3つまで)

1. 地元であること
2. 両親やきょうだいが近くにいること
3. 友人・知人が近くにいること
4. 就職先が充実していること
5. 交通の便が良いこと
6. 自然が豊かであること
7. 娯楽・レジャー施設が充実していること
8. 買い物などの利便性がよいこと
9. 子育て環境が良いこと
10. 医療・介護施設が充実していること
11. その他（）
12. 特にない・わからない

7 小野町の施策やこどもまんなか社会についてうかがいます

こどもまんなか社会とは、すべてのこどもや若者たちが幸せに暮らせるように、常にこどもや若者の今とこれからにとって最もよいことは何かを考え、社会全体で応援して支える社会のことです。

問45 あなたは以下について、どのように思いますか。 (それぞれ〇は1つ)

	とても 思う	まあ 思う	まあ 思わない	とても 思わない	思わ ない
ア こどもまんなか社会の実現に向かっている	1	2	3	4	5
イ こども政策に関して自身の意見が聞かれても らえている	1	2	3	4	5
ウ 経済、社会、こども・子育てに強い社会の 実現に向かっている	1	2	3	4	5
エ こどもは権利の主体である	1	2	3	4	5
オ 障がいのあるこども・若者、発達に特性のある こども・若者の地域社会への参加・包摂（イン クルージョン）が推進されている	1	2	3	4	5
カ こども・若者の心身の健康等についての情報 提供やこころのケアが十分だ	1	2	3	4	5
キ 自分の将来についての人生設計（ライフプラ ン）について考えたことがある	1	2	3	4	5
ク 社会において、共働き・共育で（家庭内で男 女ともに仕事や家事、子育てに参画するこ と）が推進されている	1	2	3	4	5

- 13 -

144

小野町

小中学生アンケート調査（保護者・小学5年生・中学2年生向け）

若者アンケート調査（18～39 歳向け）

令和8年1月

小野町役場 子育て支援課

〒963-3401 福島県田村郡小野町大字小野新町字中通2

TEL：0247-72-2212 FAX：0247-72-2313
